

毛呂山町総合振興計画  
住民意向調査等結果報告書

令和6年3月

毛呂山町

## 目次

<b>第1編 住民意向調査</b> .....	<b>1</b>
<b>第1章 調査の概要</b> .....	<b>2</b>
1. 調査の目的 .....	2
2. 調査の方法 .....	2
3. 回収結果 .....	2
4. 報告書の見方 .....	2
<b>第2章 住民意向調査結果の概要</b> .....	<b>3</b>
1. 回答者の属性 .....	3
2. まちの暮らしやすさについて .....	4
3. 毛呂山町の現状について .....	5
4. まちづくりや行政サービス等について .....	6
5. 日常の買い物等について .....	6
6. 地域活動について .....	7
7. 健幸づくりについて .....	7
8. 超高齢社会への取り組みについて .....	7
9. スポーツ・レクリエーション活動について .....	8
10. 公共施設について .....	8
11. ICTの活用状況などについて .....	9
12. 18歳～39歳の方への設問 .....	10
13. 学生の方への設問 .....	11
<b>第3章 調査結果</b> .....	<b>12</b>
1. 回答者の属性 .....	12
2. まちの暮らしやすさについて .....	17
3. 毛呂山町の現状について .....	27
4. まちづくりや行政サービス等について .....	34
5. 日常の買い物等について .....	40
6. 地域活動について .....	42
7. 健幸づくりについて .....	43
8. 超高齢社会への取り組みについて .....	44
9. スポーツ・レクリエーション活動について .....	45
10. 公共施設について .....	47
11. ICTの活用状況などについて .....	53
12. 18歳～39歳の方への設問 .....	57
13. 学生の方への設問 .....	66
<b>第2編 転入者・転出者アンケート</b> .....	<b>70</b>
1. 調査の概要 .....	71
2. 転入者アンケート結果 .....	72
3. 転出者アンケート結果 .....	79

第3編 子育て世帯アンケート調査 .....	87
1. 調査の概要 .....	88
2. 調査結果 .....	89
(1) 町内4小学校に就学予定の保護者を対象としたアンケート.....	89
(2) 町内小中学校6校のPTA 役員を対象としたアンケート.....	93
資料編 (調査票) .....	97



# 第1編

## 住民意向調査

# 第1章 調査の概要

## 1. 調査の目的

令和7年度から始まる、第六次毛呂山町総合振興計画を策定するにあたり、町民の皆様の日常生活や今後のまちづくりの方向性などについてのお考えを把握するために、住民意向調査を実施しました。

## 2. 調査の方法

- (1) 調査地域 町内全域
- (2) 調査対象 町内在住の満18歳以上の男女
- (3) 標本数 2,000人(男性・女性各1,000人)
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から層化無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送配付・郵送及びWEB回収
- (6) 調査期間 令和5年9月6日(水)～9月29日(金)

## 3. 回収結果

- (1) 配布数 2,000件
- (2) 有効回収数 694件(郵送回収 495件 WEB回収 199件)
- (3) 有効回収率 34.7%

## 4. 報告書の見方

- (1) 集計表の回答比率は小数第2位を四捨五入し、第1位まで表示しています。  
従って合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答(選択肢からいくつでも選ぶ形式)の質問では回答比率が100.0%を超える場合があります。
- (2) 本文図表及び集計表のnは回答者数を表しています。設問ごとに回答者数(n)を基数として比率を算出しています。
- (3) 本文図表においては、回答選択肢の表示は適宜語句を簡略化している場合があります。

## 第2章 住民意向調査結果の概要

### 1. 回答者の属性

◇回答者数694件のうち、「男性」が330件（47.6%）、「女性」が353件（50.9%）です。

◇年齢別では、「10歳代」が5.5%、「20歳代」7.9%、「30歳代」9.1%、「40歳代」10.7%、「50歳代」11.2%、「60歳代」17.4%、「70歳以上」37.8%（うち「75歳以上」18.4%）で、30歳代以下が前回比で8.3%高くなっています。

◇職業別では、「無職（年金のみでの生活も含む）」が35.4%で最も高く、次いで「会社員」（22.0%）、「パートタイマー、アルバイト」（13.4%）です。

◇地域別では、中央地域が61.5%と高く、東部地域（30.7%）、西部地域は7.2%と10%以下です。個別の地域では、前久保南や中央、目白台が高くなっています。

◇居住年数別では、「20年以上」の割合が50.9%と半数を超え、同居家族の状況では、「親子（2世代）」が45.7%で最も高くなっています。

■高齢者の回答割合が高く、全体の回答結果には高齢者の意見が強く反映されています。

■若者の意見を反映する工夫が必要です。

■中央地域の人々の回答割合が高く、全体の回答結果には地域性を考慮する必要があります。

## 2. まちの暮らしやすさについて

◇地域の住み心地では、「非常に住みやすい」「やや住みよい」を合わせると、78.2%の人が「住みやすい」と回答しています。また、30歳代以下の若い年齢層においても、「住みやすい」との割合が74.3%となっています。

◇定住意向では、「ずっと住み続けたい」と「当分の間住み続けたい」を合わせると76.1%の人が「住み続けたい」と回答しています。一方、13.5%の人が転出の意向を持っており、30歳代以下でやや高く、地域別では東部地域で高くなっています。

◇「住み続けたい」理由では、「気温が温暖で災害も少ない」(38.4%)、「買い物に便利」(31.1%)、「医療機関が充実している」(29.4%)などが高くなっています。「買い物に便利」が前回比で約10%高くなっていますが、中央地域以外の地域では高くありません。

一方、「教育環境が充実している」(0.4%)、「子育て環境が充実している」(0.9%)「介護施設・サービスが充実している」(1.3%)は低くなっています。

◇「転出したい」理由では、「電車やバスの便が悪く、通勤・通学に不便である」(47.9%)、「遊ぶところや買い物に不便である」(37.2%)などが高くなっています。特に「電車やバスの便が悪く、通勤・通学に不便である」では前回比で約18%高くなっています。

◇「転出したい」先としては、「その他」(23.4%)、「東京都」(19.1%)、「川越市」と「その他県内」(18.1%)となっています。

◇IターンやUターンかについては、「どちらにもあてはまらない」が69.0%、「Iターン」が21.9%、「Uターン」が7.1%となっています。「Iターン」の割合は、中央地域や住み続けたいとの意向がある人で高くなっています。

◇「Iターン」の人が、移住する上で最も重要視した点は、「住宅の取得」が50.0%と半数を占め、「Uターン」と回答した人が、再び毛呂山町に戻ってきた理由では、「出産・子育て」と「住宅の取得」「実家の都合(親の世話や介護以外)」がそれぞれ18.4%となりました。

■住みやすく、ずっと住み続けたいと考える人の割合が高いことから、住みやすさを積極的にPRすることが必要です。

■公共交通の利便性向上が必要です。

■住宅の取得を目的に移住する人が多いことから、利便性の高い市街地整備が効果的です。



### 3. 毛呂山町の現状について

◇「第五次毛呂山町総合振興計画」の施策についての満足度の評価について、『満足（満足＋やや満足）』が多かったものと『不満（不満＋やや不満）』が多かったものは、下表の通りです。

『満足（満足＋やや満足）』	『不満（不満＋やや不満）』
2-カ 消防・救急体制の充実	1-ア 市街地や駅周辺の整備
3-ケ 救急医療体制の充実	1-ウ 身近な生活道路の整備
3-コ 各種健康診査などの保健サービス	4-イ 商店街を中心とした町内産業の活性化
6-ケ 町役場のサービス（職員の対応）	1-イ 都市計画道路・県道などの主要道路の整備
2-シ ごみの減量化や再資源化の促進及びごみ処理体制	1-ケ 公園・緑地の整備及び管理
2-ア 自然環境の保全	4-エ 観光PR及び観光施設の整備

■満足な施策は「安全で快適なまちを創る」「健やかで安心に暮らせるまちを創る」内の施策が多いことから、引き続き安心・安全で住みやすいまちを目指す取組を推進することが望まれます。

■不満な施策は「里山の環境を活かした都市基盤を創る」「活力と夢のある産業のまちを創る」内の施策が上位となっていることから、都市基盤整備と産業の活性化を図る取組が必要です。

◇「第五次毛呂山町総合振興計画」の施策についての重要度の評価について、『重要（重要＋やや重要）』が多かったものと『（あまり）重要ではない』が多かったものは、下表の通りです。

『重要（重要＋やや重要）』	『（あまり）重要ではない』
3-ケ 救急医療体制の充実	6-エ 地域間交流や国際交流の推進
2-エ 防災対策	6-ウ 区（自治会）など地域活動の推進
1-ウ 身近な生活道路の整備	1-カ 民間バスの利便性向上
2-カ 消防・救急体制の充実	5-カ スポーツ・レクリエーション活動（軽スポーツ教室など）
3-コ 各種健康診査などの保健サービス	6-オ 住民参画のまちづくり

■重要度が高い施策は「安全で快適なまちを創る」「健やかで安心に暮らせるまちを創る」内の施策が特に高く、安心・安全なまちを目指す取組が求められています。

■（あまり）重要でない施策は「みんなで築くまちを創る」内の施策が多くなっていますが、優先順位を踏まえつつメリハリをつけて推進する必要があります。

## 4. まちづくりや行政サービス等について

◇行政は住民の声を反映しているかについては、「反映している」の合計が28.8%に対し、「反映していない」の合計が39.3%と、反映していない割合が10.5%高く、前回よりもその差が拡大しています。

◇町に対する意見や要望等を伝える手段としては、「直接役場に伝える（窓口・電話）」（48.0%）、「区長へ伝える」（25.8%）、「投書または書面郵送」（21.8%）となっています。  
30歳代以下では「SNS」、40歳代では「電子メール」が最も高くなっています。

◇まちづくりの役割分担では、「町と住民の役割分担を定め、住民参加を進めながら協働で行う」との回答が57.3%と半数以上となっており、全年齢層で最も高くなっています。

◇まちの行政サービスにふさわしいあり方としては、「ある程度の負担増はやむを得ないので、行政サービスを維持してほしい」（42.9%）が最も高くなっています。

◇行政情報の入手方法としては、「広報もろやま」（60.8%）、「ホームページ」（16.6%）、「SNS」（11.4%）となっています。「広報もろやま」の割合が高くなっていますが、前回に比べ「ホームページ」の閲覧や「SNS」の利用も高くなっており、回覧板は大きく低下しています。

■住民の声が行政に反映されていないと感じている割合が高く、住民の意見を反映させる取組を充実させるとともに、町の考え方を丁寧にわかりやすく説明することが必要です。

■「広報もろやま」は重要な情報収集手段となっていますが、SNS等による情報収集も高まっており、より充実した情報発信が必要です。

## 5. 日常の買い物等について

◇買い物の利便性については、「便利である」と「特に不便を感じない」を合わせると75.1%の人が不便を感じていません。特に「便利である」との回答が前回比で約10%高くなっています。中央地域では「便利である」との割合が42.2%と高い一方、西部地域では「少し不便である」が30.0%、東部地域では「不便である」との割合が17.8%となっており、地域差が見られます。

◇買い物が不便な理由としては、「近くにお店がない」（68.1%）、「公共交通（もろバス含む）の利便性が悪い」（36.1%）となっています。

■買い物の利便性については、地域差が大きいことから、地域性を考慮した取組が必要です。

## 6. 地域活動について

◇地域活動の参加状況では、「参加しているものはない」（45.8%）、参加しているものでは「自治会・町内会活動」（43.7%）、「地域のボランティア活動」（7.5%）などとなっています。40歳代以下では「参加しているものはない」、50歳代以上では「自治会・町内会活動」が高くなっています。また、住み続けたい意向の人では「自治会・町内会活動」が高くなっています。

■若い世代を中心に地域活動への参加状況は低くなっており、若者の継続的な参加につながる取組を企画する必要があります。また、住み続けたいという意向と地域活動への参加意欲は相関関係があると考えられることから、住み続けたい意向のまちづくりが大切です。

## 7. 健幸づくりについて

◇健幸づくりについて町が取り組むべきサービスとしては、「各種健（検）診や健康相談の充実」（46.7%）、「高齢者の介護予防や自立支援事業の充実」（43.7%）、「子どもたちが安全に遊べる場所や公園の充実」（42.7%）が高くなっています。

年齢別では40歳代以下の子育て世代、地域別では西部地域・東部地域、定住意向別では転出意向の人で「子どもたちが安全に遊べる場所や公園の充実」が高くなっています。

■子育て世代や転出希望者で「子どもたちが安全に遊べる場所や公園の充実」の割合が高いことから、住み続けたいまちにするためにも公園などを充実させることが重要です。

## 8. 超高齢社会への取り組みについて

◇超高齢化社会を支えていくために町が取り組むべきこととしては、「自宅や地元で受けられる介護保険サービスの充実」（16.1%）、「相談窓口の充実」（16.0%）、「介護をしている家族への支援」（14.3%）が高くなっています。「相談窓口の充実」が前回比で約5%高くなっています。

■前回よりも「相談窓口の充実」を求める声が多くなっており、相談体制の更なる充実が求められます。

## 9. スポーツ・レクリエーション活動について

◇スポーツ・レクリエーション活動の機会については、「ない」（42.5%）、「週に3回以上」（15.9%）となっています。「年に数回程度」も含め、スポーツ・レクリエーション活動をしている割合は56.2%となっています。

年齢別では60歳代以上の層で比較的スポーツ・レクリエーション活動の機会が多くなっています。

◇スポーツをしなかった理由としては、「仕事や家事・育児で忙しくて時間の余裕がないから」（32.5%）が高くなっています。

年齢別では、30歳代以下で「特に理由はない」、40歳代から60歳代では「仕事や家事・育児で忙しくて時間の余裕がないから」が高くなっています。

■健康意識の醸成を図るとともに、忙しい中でも取り組みやすいスポーツやレクリエーション活動の周知・啓発が必要です。

## 10. 公共施設について

◇「よく利用している」「たまに利用している」「ごくたまに利用している」を合わせて、利用頻度の高い施設は「図書館」（34.8%）、「総合公園(体育館、グラウンド、テニスコート）」（21.4%）、「東公民館」（20.5%）となっています。「利用したことがない」施設では、「弓道場」（83.7%）、「老人福祉センター山根荘」（80.5%）、「川角公園テニスコート」（78.1%）となっています。

◇利用しない理由としては、全ての施設において「利用する機会や必要性がないため」が50%前後、「利用したいと思わないため」が20%前後となっています。

◇「どちらかというと優先度が高い」を含めた「優先度が高い」施設としては、「学校施設(小学校、中学校、学校給食センター、教育センター）」（70.7%）、「保健衛生施設(保健センター）」（70.2%）、「子育て関連施設(保育所、児童館、学童保育所等）」（68.5%）となっています。「どちらかというと優先度が低い」を含めた「優先度が低い」施設としては「レクリエーション施設(オートキャンプ場）」（20.6%）、「産業施設(農産物加工センター、搾汁棟）」（18.0%）となっています。

◇優先度が低い理由としては、「一部の人にしか使われていなそうだから」や「なくても支障がなさそうだから」の割合が比較的高くなっています。

◇公共施設の総合的、長期的な保全・活用のために実施すべき方策として、「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」を合わせた「実施すべき」の割合が高い方策は「更新の際はいくつかの施設をまとめて建設（合築）し、より使いやすい施設にする」（74.7%）、「施設の建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する」（70.9%）となっています。

一方、「どちらかというを実施すべきでない」と「実施すべきでない」を合わせた「実施すべきでない」の割合が高い方策は、「他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を増やす」（59.2%）、「現在無料の施設も、可能な限り有料化する」（55.5%）などとなっています。

■ 公共施設は住民にとって重要なインフラの一つですが、財政上の負担も大きいことから、公共施設等総合管理計画等に示された方針や、住民の意向を踏まえた適切な対策を実施していく必要があります。

## 11. ICTの活用状況などについて

◇ ICT機器を活用している割合は80.7%となっています。

30歳代以下では94.2%、70歳以上でも66.4%が活用しています。

◇ 活用の程度では、「メールやLINE等の連絡手段として活用できる」（88.2%）や「インターネットで情報を入手できる」（79.3%）に対し、「インターネットで行政への各種届出などができる」は40.0%となっています。

◇ 活用目的としては、「友人や家族との連絡手段」（92.3%）や「情報収集（ニュース・趣味など）」（82.0%）などが高くなっており、「行政サービスの利用」は24.8%となっています。

◇ デジタル化を進める上で力を入れてほしい取り組みとしては、「ICTを活用した災害時等における対応力の強化」（47.6%）、「各種証明書の発行手数料等のキャッシュレス化」（35.7%）などが高くなっています。

40歳代以下の子育て世代では「ICTを活用した小・中学校での教育内容の充実」、60歳代以上では「スマホ教室の開催などによるデジタル活用支援」の割合が比較的高くなっています。

■ ICT機器の活用は高齢者にも広がっていますが、活用内容の質的向上や利便性を高めるためには、一層の活用支援やサービスの向上が必要です。

## 12. 18歳～39歳の方への設問

◇婚姻状況では、71.2%の人が「独身」です。

◇結婚していない理由では、「まだ若すぎる」(41.4%)、「結婚したいと思える相手がいない」(31.5%)、「出会う機会、きっかけがない」(27.9%)などが高くなっています。

◇結婚に対する将来の希望としては、「結婚の予定はないが、結婚したい」(45.9%)が前回に比べ約9.0%低くなっています。また、「今後、ずっと独身でいたい」が2.0%増加し7.2%となっています。

◇行政が積極的に取り組むべき結婚支援策としては、「結婚祝い金などの経済的支援」(50.0%)、「若い夫婦への住まいの支援」(49.4%)などが高くなっています。また、「行政がやる必要はない」が12.8%となっています。

「結婚祝い金などの経済的支援」「若い夫婦への住まいの支援」ともに、前回より大きく増加しています。

◇子どもが「いる」人は25.6%となっており、子育てしやすいまちについては、「そう思う」(12.5%)と「どちらかといえば、そう思う」(47.5%)を合わせて、60.0%の人が「そう思う」となっています。

一方、「あまりそう思わない」(17.5%)、「そう思わない」(15.0%)を合わせた32.5%の人が「思わない」となっており、前回に比べやや増加しています。

◇安心して妊娠・出産できるような施策として重要なこととしては、「出産費用の助成で自己負担の軽減をすること」(67.9%)、「妊娠中の健診費用の助成で自己負担の軽減をすること」(44.9%)などが高くなっています。

◇子育てに関して力を入れるべきサービスとしては、「児童手当や医療費の助成など子育てに係る金銭的なサポートの充実」(61.5%)、「幼稚園・保育所・認定こども園・学童保育所などの教育・保育サービスの充実」(56.4%)などが高くなっています。

◇教育に関して力を入れるべきことについては、「学校の施設及び設備の整備・改修による教育環境の充実」(38.5%)、「いじめや不登校の解決に向けた取組の充実」(34.0%)などが高くなっています。

■結婚に対する意識の変化が見られることから、更なる少子化が危惧されます。結婚や出産、子育てに関しては経済的な支援が求められており、安心して結婚、出産、子育てができる、満足度の高い環境を提供する施策が必要です。

■教育に関しては、「いじめや不登校の解決に向けた取組の充実」が前回より減少しているものの2番目に高くなっており、引き続き対策の強化が必要です。

### 13. 学生の方への設問

◇学生の通学先としては、「埼玉県内」(51.0%)、「毛呂山町内」(13.7%)、「東京都内」(31.4%)などとなっています。

◇進学や就職後の住まいの希望としては、「毛呂山町から転出して進学・就職したい」が49.0%と約半数となり、「町内に住みながら進学・就職したい」は25.5%となっています。

◇将来毛呂山町に戻って暮らしたいかについては、「戻る気はまったくくない」(44.0%)、「毛呂山町以外で働き、一定の時期がきたら戻る(戻りたい)」と「戻りたいが、生活する場としては不便なので戻らない(戻らない予定)」がともに20.0%となっています。「戻る気はまったくくない」と「戻らない(戻らない予定)」を合わせると72.0%の人が戻らないとなっています。

◇将来町に戻って暮らそうとする理由としては、「生まれてから住んでいて愛着がある」(11.8%)、「豊かな自然に恵まれている」(9.8%)などが高くなっています。

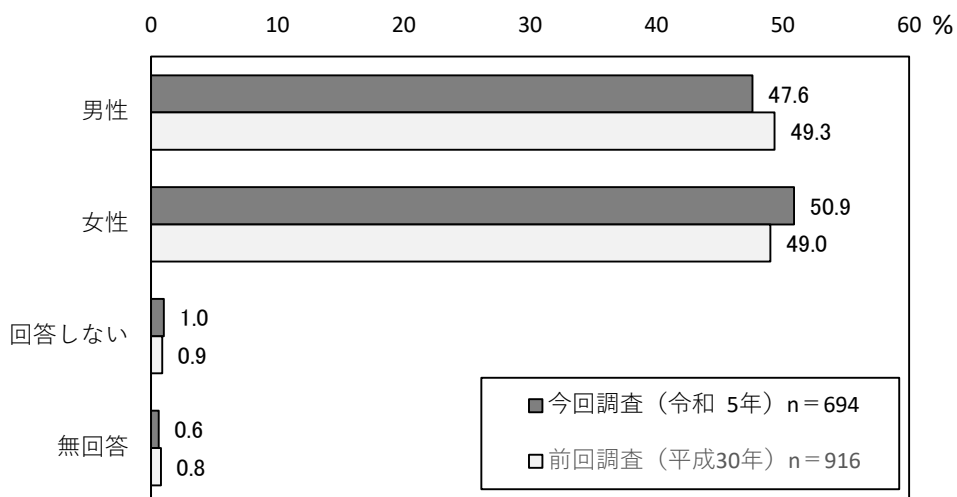
■進学や就職の際に約半数の人が町外への転出を希望しており、将来戻りたいと考える若者の割合も低くなっています。仕事や生活の面で利便性と魅力を兼ね備えたまちづくりが必要です。

## 第3章 調査結果

### 1. 回答者の属性

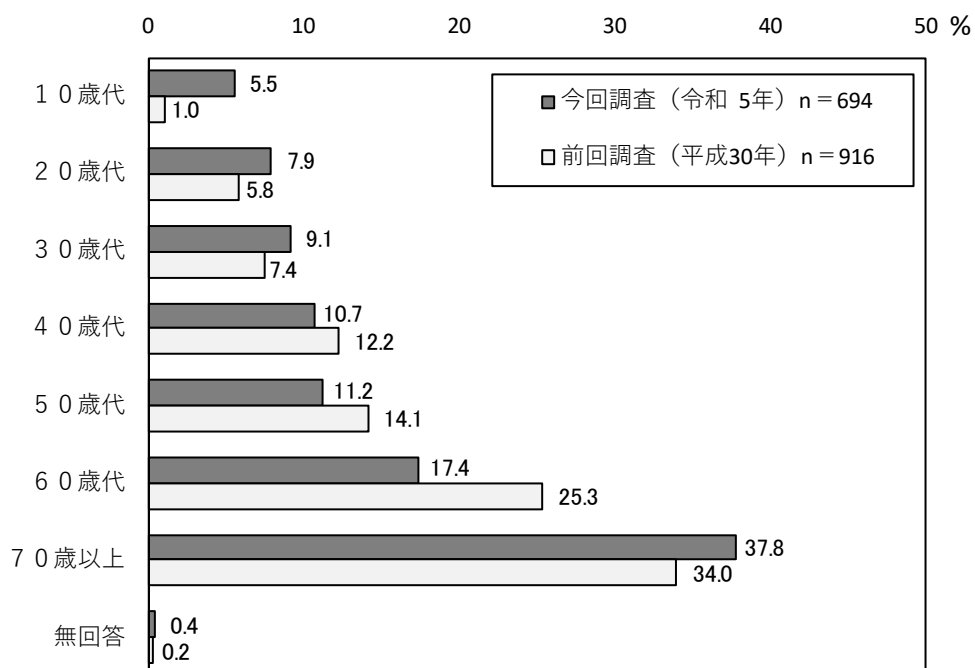
問1 あなたの性別をお答えください。(1つだけに○)

性別は、「男性」47.6%、「女性」50.9%となっています。



問2 あなたの年齢は次のどれですか。(1つだけに○)

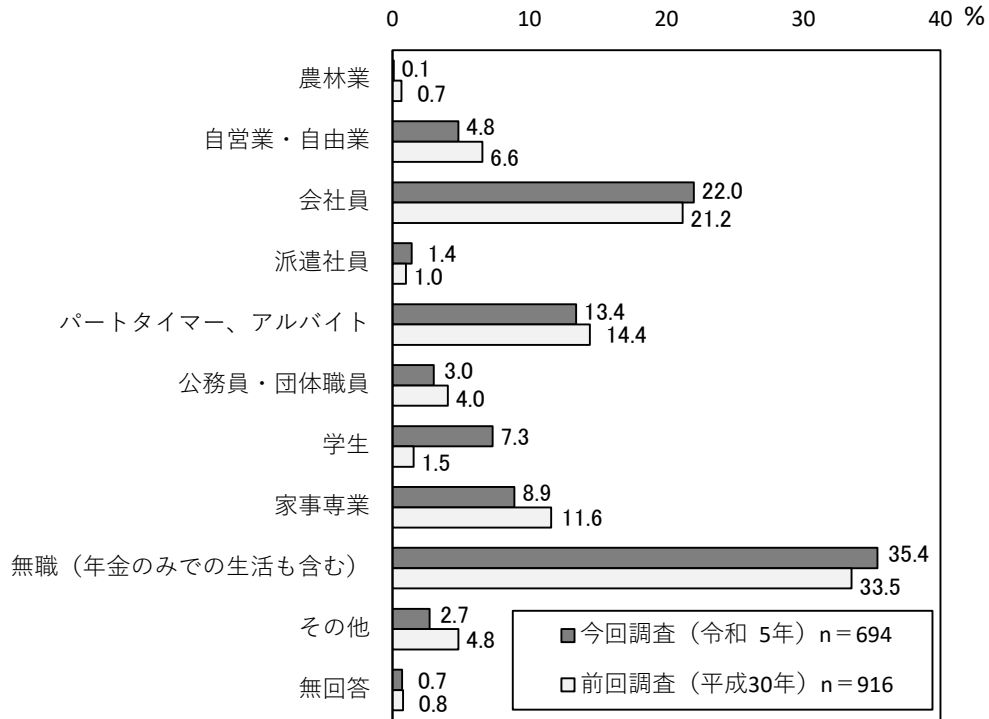
年齢は、「10歳代」が5.5%、「20歳代」が7.9%、「30歳代」が9.1%、「40歳代」が10.7%、「50歳代」が11.2%、「60歳代」が17.4%、「70歳以上」が37.8%となっています。前回と比較して、30歳代以下の若い世代の割合が高くなっています。





問3 あなたの職業は次のどれですか。(1つだけに○)

職業では、「無職(年金のみでの生活も含む)」が35.4%で最も高く、次いで「会社員」(22.0%)、「パートタイマー、アルバイト」(13.4%)となっています。

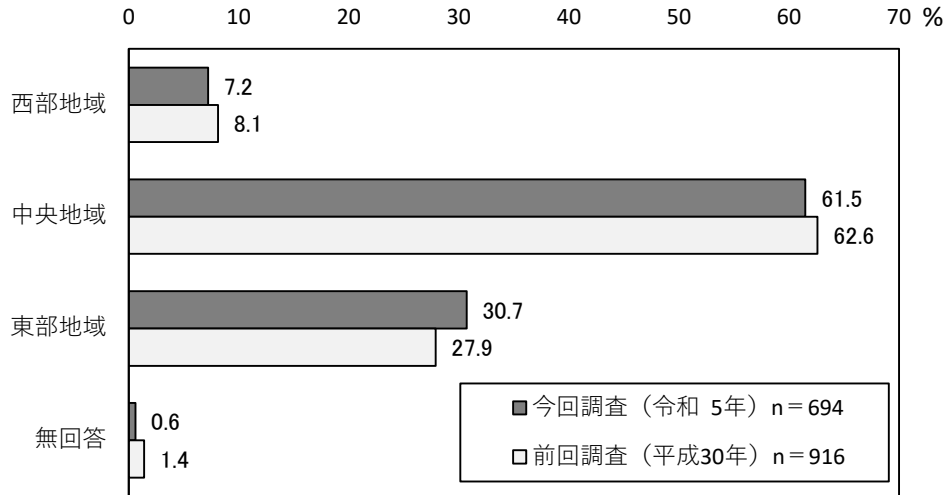


[上段:人 下段:%]	問3 職業											
	合計	農林業	自営業・自由業	会社員	派遣社員	パートタイマー、アルバイト	公務員・団体職員	学生	家事専業	無職(年金のみでの生活も含む)	その他	無回答
全体	694 100.0	1 0.1	33 4.8	153 22.0	10 1.4	93 13.4	21 3.0	51 7.3	62 8.9	246 35.4	19 2.7	5 0.7
年齢	30歳代以下	156 100.0	1 0.6	1 0.6	51 32.7	1 0.6	20 12.8	5 3.2	51 32.7	6 3.8	9 5.8	10 6.4
	40歳代	74 100.0	0 0.0	7 9.5	40 54.1	3 4.1	12 16.2	3 4.1	0 0.0	5 6.8	2 2.7	2 0.0
	50歳代	78 100.0	0 0.0	6 7.7	34 43.6	1 1.3	16 20.5	8 10.3	0 0.0	7 9.0	4 5.1	2 2.6
	60歳代	121 100.0	0 0.0	6 5.0	22 18.2	0 0.0	27 22.3	3 2.5	0 0.0	15 12.4	44 36.4	3 2.5
	70歳代以上	262 100.0	0 0.0	13 5.0	6 2.3	5 1.9	18 6.9	2 0.8	0 0.0	29 11.1	186 71.0	2 0.8
	居住地域	西部地域	50 100.0	0 0.0	3 6.0	10 20.0	0 0.0	6 12.0	1 2.0	2 4.0	5 10.0	21 42.0
中央地域	427 100.0	1 0.2	20 4.7	89 20.8	8 1.9	47 11.0	16 3.7	28 6.6	42 9.8	161 37.7	13 3.0	
東部地域	213 100.0	0 0.0	10 4.7	54 25.4	2 0.9	40 18.8	4 1.9	21 9.9	14 6.6	63 29.6	4 1.9	
定住意向	住み続けたい	528 100.0	0 0.0	25 4.7	107 20.3	8 1.5	72 13.6	19 3.6	28 5.3	48 9.1	209 39.6	10 1.9
	転出したい	94 100.0	0 0.0	4 4.3	29 30.9	1 1.1	11 11.7	1 1.1	20 21.3	9 9.6	14 14.9	5 5.3
	わからない	68 100.0	1 1.5	4 5.9	17 25.0	1 1.5	10 14.7	1 1.5	3 4.4	3 4.4	22 32.4	4 5.9

問4 あなたが住んでいる地域は次のどれですか。(1つだけに○)

地域別では、中央地域が61.5%と高く、東部地域(30.7%)、西部地域は7.2%と10%以下となっています。個別の地域では、前久保南や中央、目白台が高くなっています。

目白台では、「転出したい」人の割合が高くなっています。



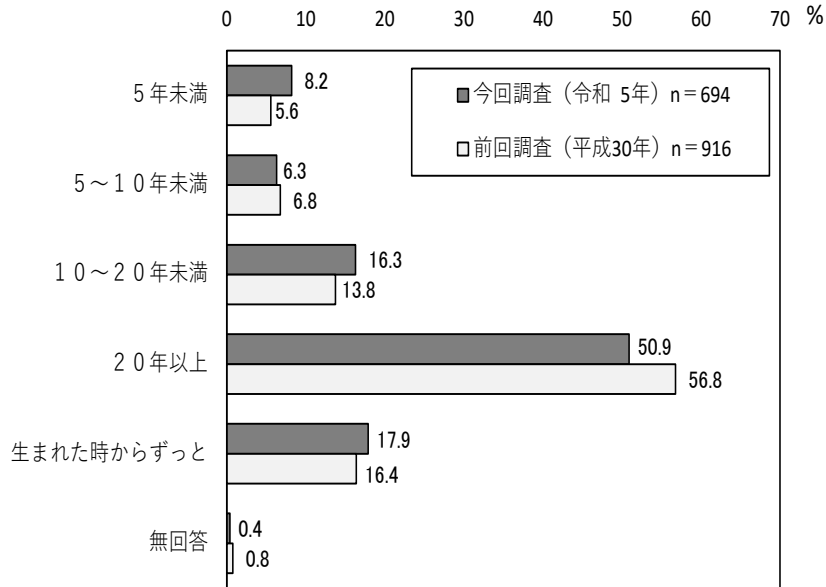
西部地域	滝ノ入、阿諏訪、大谷木、葛貫、権現堂、宿谷
中央地域	毛呂本郷、小田谷、長瀬、前久保、前久保南、岩井、岩井西、岩井東、平山、若山、中央、南台
東部地域	川角、苦林、大類、西大久保、市場、下川原、西戸、箕和田、旭台、目白台

上段:人 下段:%	問4 居住地域															
	合計	旭台	阿諏訪	市場	岩井	岩井西	岩井東	大谷木	大類	川角	小田谷	権現堂	西戸	下川原	宿谷	滝ノ入
全体	694	12	6	28	13	32	27	21	8	32	16	0	21	34	0	12
	100.0	1.7	0.9	4.0	1.9	4.6	3.9	3.0	1.2	4.6	2.3	0.0	3.0	4.9	0.0	1.7
年齢	30歳代以下	156	1	3	9	2	8	10	2	1	5	4	0	7	5	0
		100.0	0.6	1.9	5.8	1.3	5.1	6.4	1.3	0.6	3.2	2.6	0.0	4.5	3.2	0.0
	40歳代	74	3	0	4	2	4	3	2	1	4	1	0	1	4	0
		100.0	4.1	0.0	5.4	2.7	5.4	4.1	2.7	1.4	5.4	1.4	0.0	1.4	5.4	0.0
	50歳代	78	4	0	1	3	3	5	3	1	3	2	0	2	4	0
	100.0	5.1	0.0	1.3	3.8	3.8	6.4	3.8	1.3	3.8	2.6	0.0	2.6	5.1	0.0	
定住意向	住み続けたい	528	9	5	18	12	24	19	19	7	28	11	0	12	21	0
		100.0	1.7	0.9	3.4	2.3	4.5	3.6	3.6	1.3	5.3	2.1	0.0	2.3	4.0	0.0
	転出したい	94	1	0	4	1	5	7	0	0	3	4	0	3	8	0
	100.0	1.1	0.0	4.3	1.1	5.3	7.4	0.0	0.0	3.2	4.3	0.0	3.2	8.5	0.0	
わからない	68	2	1	6	0	3	1	2	1	1	1	0	6	5	0	
	100.0	2.9	1.5	8.8	0.0	4.4	1.5	2.9	1.5	1.5	1.5	0.0	8.8	7.4	0.0	

上段:人 下段:%	問4 居住地域														
	合計	中央	葛貫	長瀬	苦林	西大久保	平山	前久保	前久保南	南台	箕和田	目白台	毛呂本郷	若山	無回答
全体	694	69	11	28	3	13	24	11	85	44	1	61	34	44	4
	100.0	9.9	1.6	4.0	0.4	1.9	3.5	1.6	12.2	6.3	0.1	8.8	4.9	6.3	0.6
年齢	30歳代以下	156	9	3	4	1	3	6	0	23	8	1	19	13	9
		100.0	5.8	1.9	2.6	0.6	1.9	3.8	0.0	14.7	5.1	0.6	12.2	8.3	5.8
	40歳代	74	5	2	1	0	2	3	3	5	3	0	10	4	7
		100.0	6.8	2.7	1.4	0.0	2.7	4.1	4.1	6.8	4.1	0.0	13.5	5.4	9.5
	50歳代	78	4	1	4	0	1	3	3	9	3	0	12	2	4
	100.0	5.1	1.3	5.1	0.0	1.3	3.8	3.8	11.5	3.8	0.0	15.4	2.6	5.1	
定住意向	住み続けたい	528	58	6	24	2	10	18	8	66	38	1	39	25	33
		100.0	11.0	1.1	4.5	0.4	1.9	3.4	1.5	12.5	7.2	0.2	7.4	4.7	6.3
	転出したい	94	5	2	3	1	1	3	0	10	3	0	19	6	5
	100.0	5.3	2.1	3.2	1.1	1.1	3.2	0.0	10.6	3.2	0.0	20.2	6.4	5.3	
わからない	68	6	3	0	0	2	3	3	7	3	0	3	3	5	
	100.0	8.8	4.4	0.0	0.0	2.9	4.4	4.4	10.3	4.4	0.0	4.4	4.4	7.4	

問5 あなたは毛呂山町に何年お住まいですか。(1つだけに○)

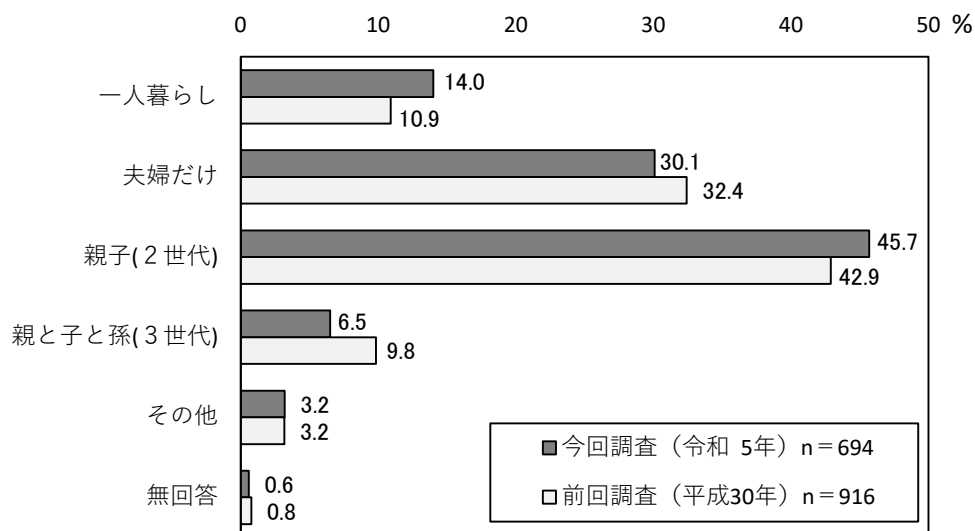
居住年数別では、「20年以上」の割合が50.9%と半数を超え、次いで「生まれた時からずっと」(17.9%)、「10~20年未満」(16.3%)となっています。30歳代以下では「生まれた時からずっと」が最も高く、40歳代では「10~20年未満」、50歳代以上の人は年代が上がるにつれ「20年以上」との割合が高くなっています。また、転出したいと回答した人の中でも、「20年以上」が最も高くなっています。



[ 上段:人 下段:% ]		問5 居住年数						
		合計	5年未満	5~10年未満	10~20年未満	20年以上	生まれた時からずっと	無回答
全体		694	57	44	113	353	124	3
		100.0	8.2	6.3	16.3	50.9	17.9	0.4
年齢	30歳代以下	156	32	16	36	32	39	1
		100.0	20.5	10.3	23.1	20.5	25.0	0.6
	40歳代	74	10	11	29	17	7	0
		100.0	13.5	14.9	39.2	23.0	9.5	0.0
	50歳代	78	2	7	19	32	18	0
		100.0	2.6	9.0	24.4	41.0	23.1	0.0
60歳代	121	5	4	7	77	28	0	
		100.0	4.1	3.3	5.8	63.6	23.1	0.0
	70歳代以上	262	8	6	22	195	31	0
	100.0	3.1	2.3	8.4	74.4	11.8	0.0	
居住地域	西部地域	50	4	2	4	22	18	0
		100.0	8.0	4.0	8.0	44.0	36.0	0.0
	中央地域	427	40	27	46	248	65	1
	100.0	9.4	6.3	10.8	58.1	15.2	0.2	
東部地域	213	13	15	63	81	41	0	
		100.0	6.1	7.0	29.6	38.0	19.2	0.0
定住意向	住み続けたい	528	38	31	76	282	100	1
		100.0	7.2	5.9	14.4	53.4	18.9	0.2
	転出したい	94	13	6	26	36	13	0
	100.0	13.8	6.4	27.7	38.3	13.8	0.0	
わからない	68	6	6	11	33	11	1	
		100.0	8.8	8.8	16.2	48.5	16.2	1.5

問6 あなたを含め、現在、同居されているご家族の構成は次のうちどれにあたりますか。  
(1つだけに○)

同居家族の状況では、「親子(2世代)」が45.7%で最も高く、次いで「夫婦だけ」(30.1%)、「一人暮らし」(14.0%)となっています。「親と子と孫(3世代)」は6.5%と低くなっています。中央地域では「一人暮らし」の割合が、他地域よりも高くなっています。

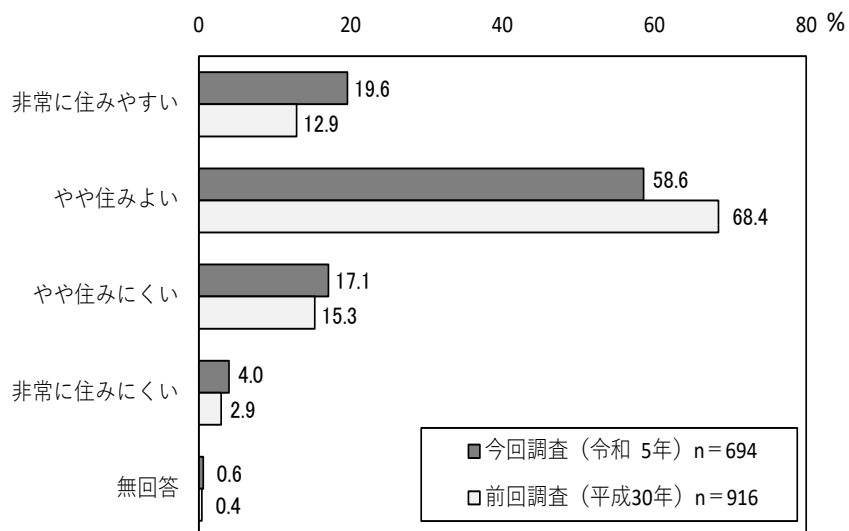


[上段:人 下段:%]		問6 家族構成						
		合計	一人暮らし	夫婦だけ	親子(2世代)	親と子と孫(3世代)	その他	無回答
全体		694	97	209	317	45	22	4
		100.0	14.0	30.1	45.7	6.5	3.2	0.6
年齢	30歳代以下	156	18	6	118	8	5	1
		100.0	11.5	3.8	75.6	5.1	3.2	0.6
	40歳代	74	10	9	47	7	1	0
		100.0	13.5	12.2	63.5	9.5	1.4	0.0
	50歳代	78	8	19	41	6	3	1
		100.0	10.3	24.4	52.6	7.7	3.8	1.3
60歳代	121	19	40	48	7	7	0	
		100.0	15.7	33.1	39.7	5.8	5.8	0.0
	262	42	135	62	17	6	0	
	100.0	16.0	51.5	23.7	6.5	2.3	0.0	
居住地	西部地域	50	5	14	25	3	3	0
		100.0	10.0	28.0	50.0	6.0	6.0	0.0
	中央地域	427	75	131	185	23	12	1
	100.0	17.6	30.7	43.3	5.4	2.8	0.2	
東部地域	213	17	64	106	19	7	0	
		100.0	8.0	30.0	49.8	8.9	3.3	0.0
	定住意向	528	66	166	242	36	16	2
	100.0	12.5	31.4	45.8	6.8	3.0	0.4	
転出したい	94	19	21	48	4	2	0	
		100.0	20.2	22.3	51.1	4.3	2.1	0.0
	わからない	68	12	19	27	5	4	1
	100.0	17.6	27.9	39.7	7.4	5.9	1.5	

## 2. まちの暮らしやすさについて

問7 あなたがお住まいの「地域」の住み心地はどうか。(1つだけに○)

地域の住み心地では、「やや住みよい」の割合が58.6%で最も高く、「非常に住みやすい」の割合も前回に比べ約7%高く19.6%となっています。「非常に住みやすい」「やや住みよい」を合わせると、78.2%の人が「住みやすい」と回答しています。また、30歳代以下の若い年齢層においても、「住みやすい」との割合が74.3%となっています。

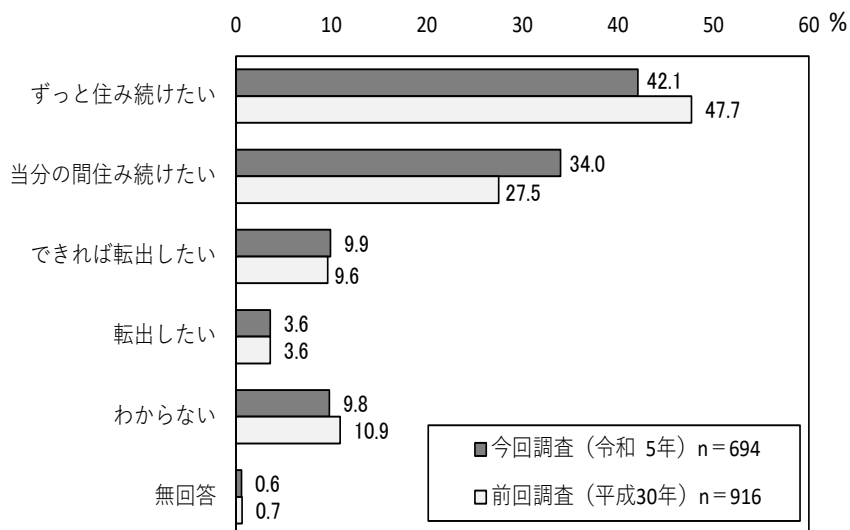


[上段:人 下段:%]		問7 居住地域の住み心地					
		合計	非常に住みやすい	やや住みよい	やや住みにくい	非常に住みにくい	無回答
全体		694 100.0	136 19.6	407 58.6	119 17.1	28 4.0	4 0.6
年齢	30歳代以下	156 100	30 19.2	86 55.1	32 20.5	8 5.1	0 0
	40歳代	74 100.0	17 23.0	35 47.3	17 23.0	5 6.8	0 0.0
	50歳代	78 100.0	13 16.7	47 60.3	13 16.7	4 5.1	1 1.3
	60歳代	121 100.0	22 18.2	73 60.3	23 19.0	3 2.5	0 0.0
	70歳代以上	262 100.0	54 20.6	164 62.6	33 12.6	8 3.1	3 1.1
居住地域	西部地域	50 100.0	7 14.0	30 60.0	11 22.0	2 4.0	0 0.0
	中央地域	427 100.0	102 23.9	260 60.9	57 13.3	5 1.2	3 0.7
	東部地域	213 100.0	27 12.7	114 53.5	50 23.5	21 9.9	1 0.5
定住意向	住み続けたい	528 100.0	130 24.6	335 63.4	56 10.6	5 0.9	2 0.4
	転出したい	94 100.0	0 0.0	30 31.9	44 46.8	20 21.3	0 0.0
	わからない	68 100.0	6 8.8	40 58.8	18 26.5	3 4.4	1 1.5

問8 あなたは、今後も毛呂山町に住み続けたいとお考えですか。(1つだけに○)

定住意向では、「ずっと住み続けたい」が42.1%で最も高く、次いで「当分の間住み続けたい」(34.0%)となっています。「できれば転出したい」「転出したい」を合わせると13.5%の人が転出の意向を持っています。

転出意向は、年齢別では30歳代以下でやや高く、地域別では東部地域で高くなっています。



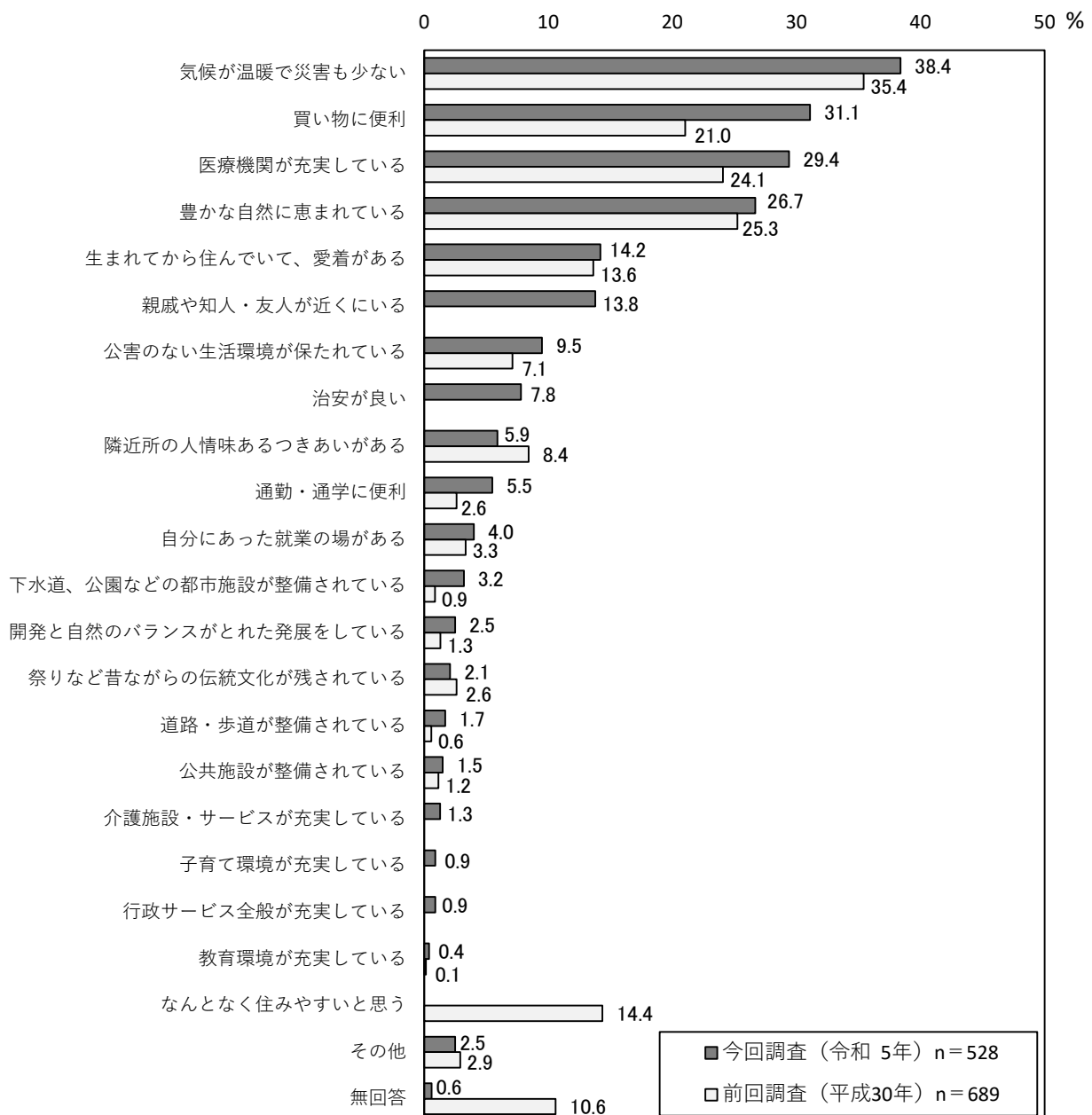
[上段:人 下段:%]		問8 定住意向						
		合計	ずっと住み続けたい	当分の間住み続けたい	できれば転出したい	転出したい	わからない	無回答
全体		694 100.0	292 42.1	236 34.0	69 9.9	25 3.6	68 9.8	4 0.6
年齢	30歳代以下	156 100.0	29 18.6	69 44.2	24 15.4	15 9.6	18 11.5	1 0.6
	40歳代	74 100.0	18 24.3	34 45.9	11 14.9	4 5.4	7 9.5	0 0.0
	50歳代	78 100.0	25 32.1	32 41.0	12 15.4	3 3.8	6 7.7	0 0.0
	60歳代	121 100.0	66 54.5	31 25.6	8 6.6	2 1.7	14 11.6	0 0.0
	70歳代以上	262 100.0	153 58.4	69 26.3	14 5.3	1 0.4	22 8.4	3 1.1
	居住地	西部地域	50 100.0	28 56.0	14 28.0	1 2.0	1 2.0	6 12.0
中央地域		427 100.0	183 42.9	153 35.8	41 9.6	11 2.6	35 8.2	4 0.9
東部地域		213 100.0	80 37.6	67 31.5	27 12.7	13 6.1	26 12.2	0 0.0

【問8で「1」あるいは「2」とお答えの方限定】

問8-1 毛呂山町に住み続けたいと思う理由は何ですか。(2つ以内に〇)

「ずっと住み続けたい」または「当分の間住み続けたい」と回答した人による「住み続けたい」理由では、「気温が温暖で災害も少ない」との回答が最も高く38.4%、次いで「買い物に便利」(31.1%)、「医療機関が充実している」(29.4%)となっています。「買い物に便利」が前回比で約10%高くなったほか、特に上位の回答が高くなっています。ただ、「買い物に便利」は中央地域で高くなっていますが、その他の地域では高いとは言えません。

一方、「教育環境が充実している」(0.4%)、「子育て環境が充実している」(0.9%)「介護施設・サービスが充実している」(1.3%)は、住み続けたい理由としては低くなっています。



上段:人 下段:%		問8-1 住み続けたい理由											
		合計	豊かな自然に恵まれている	気候が温暖で災害も少ない	公害のない生活環境が保たれている	開発と自然のバランスがとれた発展をしている	道路・歩道が整備されている	公共施設が整備されている	下水道、公園などの都市施設が整備されている	祭りなど昔ながらの伝統文化が残されている	親戚や知人・友人が近くにいる	隣近所の人情味あふつきあがある	自分にあった就業の場がある
全体		528 100.0	141 26.7	203 38.4	50 9.5	13 2.5	9 1.7	8 1.5	17 3.2	11 2.1	73 13.8	31 5.9	21 4.0
年齢	30歳代以下	98 100.0	36 36.7	22 22.4	9 9.2	2 2.0	3 3.1	2 2.0	2 2.0	0 0.0	17 17.3	2 2.0	5 5.1
	40歳代	52 100.0	13 25.0	14 26.9	2 3.8	1 1.9	2 3.8	1 1.9	2 3.8	1 1.9	8 15.4	0 0.0	5 9.6
	50歳代	57 100.0	18 31.6	22 38.6	6 10.5	3 5.3	2 3.5	1 1.8	0 0.0	0 0.0	4 7.0	1 1.8	4 7.0
	60歳代	97 100.0	23 23.7	41 42.3	7 7.2	2 2.1	0 0.0	0 0.0	3 3.1	1 1.0	21 21.6	10 10.3	4 4.1
	70歳代以上	222 100.0	50 22.5	103 46.4	26 11.7	5 2.3	2 0.9	4 1.8	10 4.5	9 4.1	23 10.4	18 8.1	3 1.4
	居住地	西部地域	42 100.0	20 47.6	12 28.6	3 7.1	1 2.4	1 2.4	1 2.4	1 2.4	2 4.8	10 23.8	4 9.5
	中央地域	336 100.0	79 23.5	128 38.1	36 10.7	7 2.1	5 1.5	5 1.5	9 2.7	5 1.5	41 12.2	15 4.5	12 3.6
	東部地域	147 100.0	40 27.2	61 41.5	11 7.5	5 3.4	3 2.0	2 1.4	7 4.8	4 2.7	21 14.3	12 8.2	8 5.4

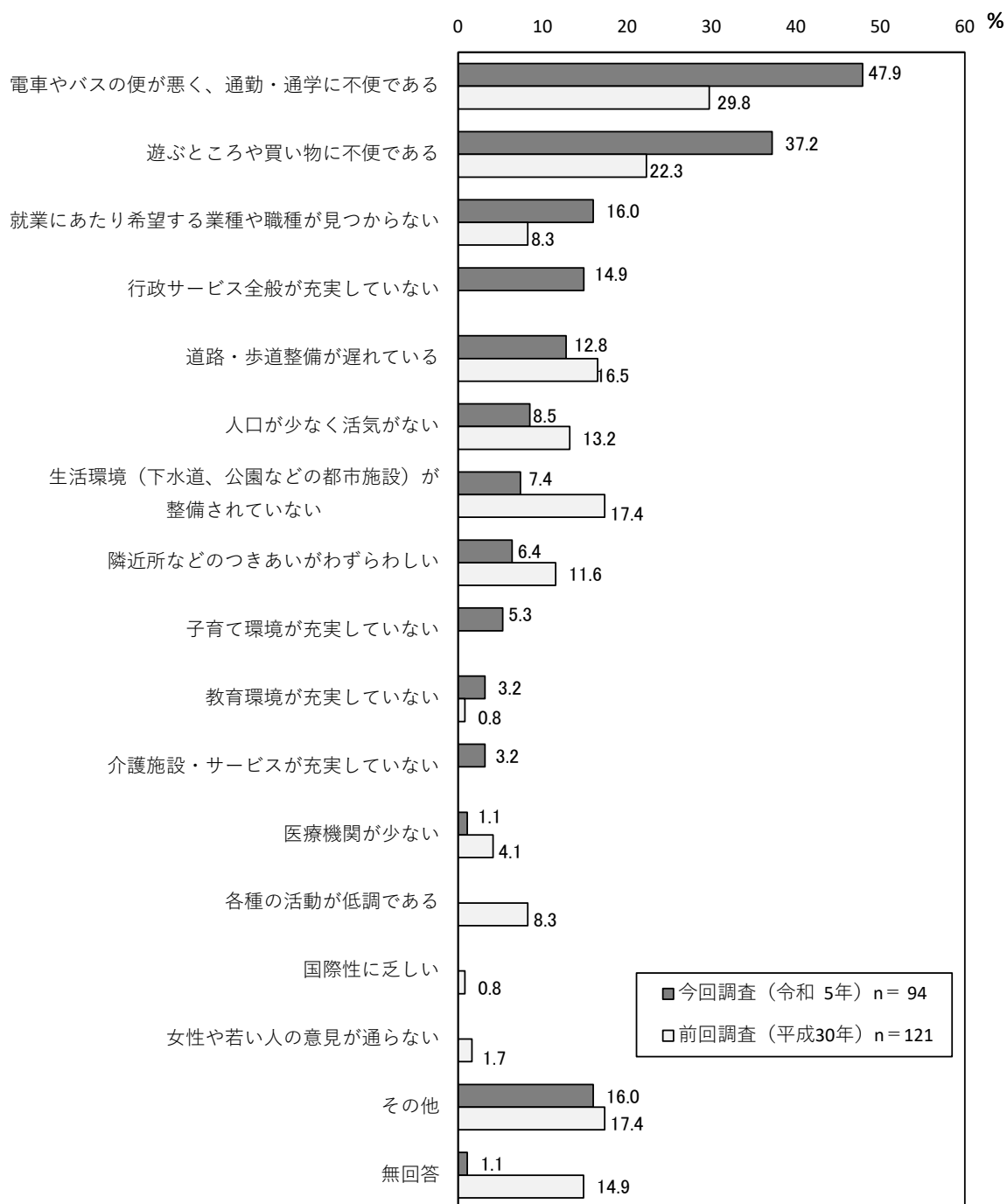
上段:人 下段:%		問8-1 住み続けたい理由											
		合計	買い物に便利	通勤・通学に便利	医療機関が充実している	教育環境が充実している	子育て環境が充実している	介護施設・サービスが充実している	行政サービス全般が充実している	治安が良い	生まれてから住んでいて、愛着がある	その他	無回答
全体		528 100.0	164 31.1	29 5.5	155 29.4	2 0.4	5 0.9	7 1.3	5 0.9	41 7.8	75 14.2	13 2.5	3 0.6
年齢	30歳代以下	98 100.0	22 22.4	18 18.4	18 18.4	0 0.0	2 2.0	0 0.0	1 1.0	13 13.3	18 18.4	4 4.1	0 0.0
	40歳代	52 100.0	17 32.7	5 9.6	18 34.6	1 1.9	2 3.8	0 0.0	1 1.9	2 3.8	4 7.7	3 5.8	0 0.0
	50歳代	57 100.0	13 22.8	4 7.0	10 17.5	0 0.0	1 1.8	0 0.0	0 0.0	4 7.0	10 17.5	2 3.5	0 0.0
	60歳代	97 100.0	29 29.9	0 0.0	22 22.7	0 0.0	0 0.0	2 2.1	0 0.0	9 9.3	17 17.5	2 2.1	1 1.0
	70歳代以上	222 100.0	83 37.4	2 0.9	87 39.2	1 0.5	0 0.0	5 2.3	3 1.4	13 5.9	25 11.3	2 0.9	2 0.9
	居住地	西部地域	42 100.0	6 14.3	0 0.0	12 28.6	0 0.0	1 2.4	0 0.0	0 0.0	2 4.8	7 16.7	1 2.4
	中央地域	336 100.0	147 43.8	20 6.0	108 32.1	1 0.3	1 0.3	6 1.8	2 0.6	24 7.1	39 11.6	6 1.8	2 0.6
	東部地域	147 100.0	11 7.5	9 6.1	35 23.8	1 0.7	3 2.0	1 0.7	3 2.0	15 10.2	29 19.7	6 4.1	1 0.7



【問8で「3」あるいは「4」とお答えの方限定】

問8-2 毛呂山町から転出したいと思う理由は何ですか。(2つ以内に〇)

「できれば転出したい」または「転出したい」と回答した人による「転出したい」理由では、「電車やバスの便が悪く、通勤・通学に不便である」が最も高く47.9%、次いで「遊ぶところや買い物に不便である」(37.2%)、「就業にあたり希望する業種や職種が見つからない」(16.0%)となっています。特に「電車やバスの便が悪く、通勤・通学に不便である」では前回比で約18%、「遊ぶところや買い物に不便である」は約15%高くなっています。

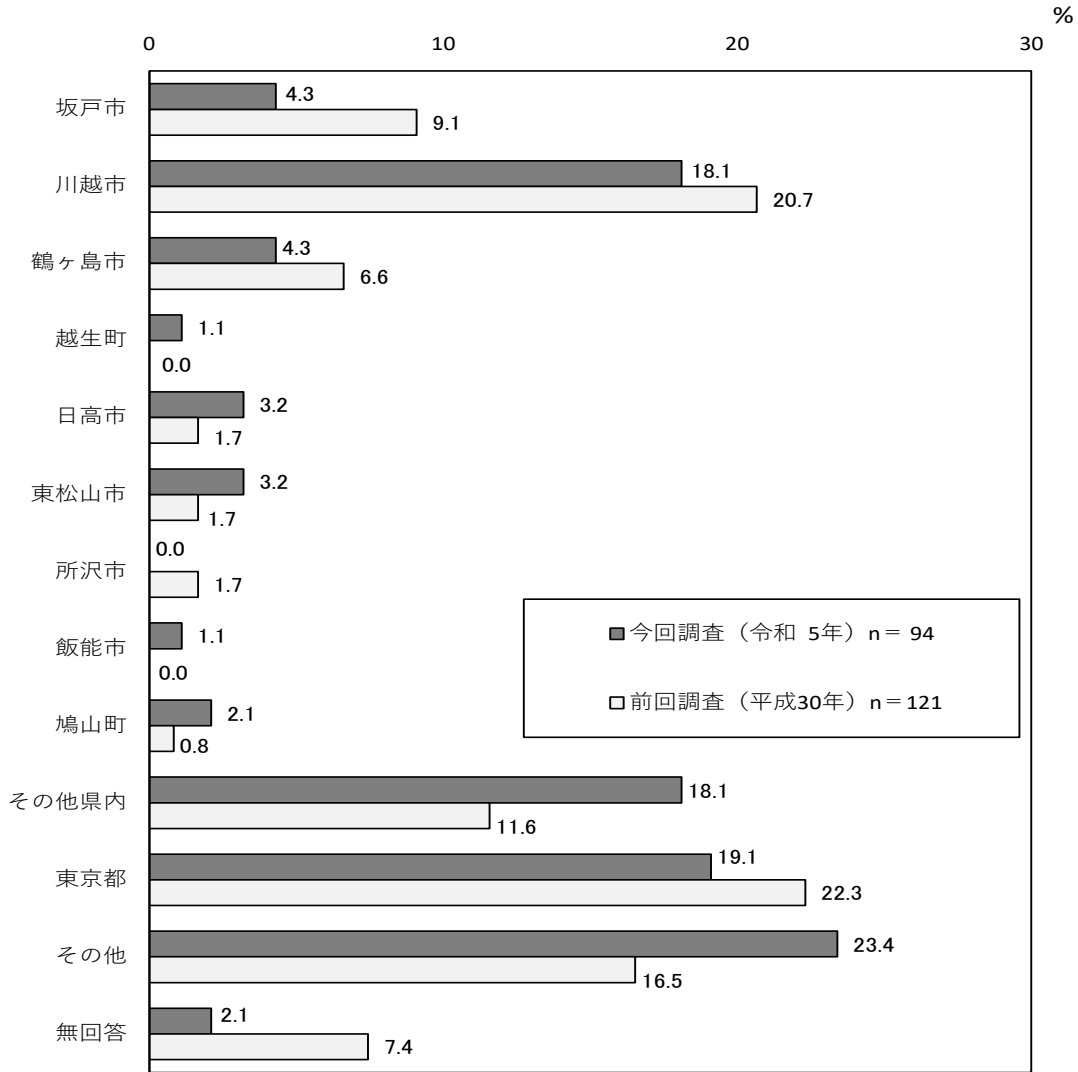


- ・「隣近所などのつきあいがわずらわしい」、前回は「慣習などのつきあいがわずらわしい」
- ・「就業にあたり希望する業種や職種が見つからない」、前回は「仕事が少なく自分にあった就業の場が見つからない」
- ・「道路・歩道整備が遅れている」、前回は「市街地整備が遅れている」

[ 上段:人 下段:% ]		問8-2 移転したい理由														
		合計	人口が少 なく活気 がない	隣近所な どのつき あいがわ ずらわし い	就業にあ たり希望 する業種 や職種が 見つから ない	遊ぶところ や買い物 に不便で ある	道路・歩 道整備が 遅れてい る	電車やバ スの便が 悪く、通 勤・通学 に不便で ある	生活環境 (下水道、 公園など の都市施 設)が整備 されてい ない	医療機関 が少ない	教育環境 が充実し ていない	子育て環 境が充実 していない	介護施 設・サー ビスが充 実してい ない	行政サー ビス全般 が充実し ていない	その他	無回答
全体		94	8	6	15	35	12	45	7	1	3	5	3	14	15	1
		100.0	8.5	6.4	16.0	37.2	12.8	47.9	7.4	1.1	3.2	5.3	3.2	14.9	16.0	1.1
年 齢	30歳代以下	39	2	0	9	20	4	22	3	0	2	3	0	3	2	1
		100.0	5.1	0.0	23.1	51.3	10.3	56.4	7.7	0.0	5.1	7.7	0.0	7.7	5.1	2.6
	40歳代	15	3	1	3	2	3	4	0	0	1	2	0	1	5	0
		100.0	20.0	6.7	20.0	13.3	20.0	26.7	0.0	0.0	6.7	13.3	0.0	6.7	33.3	0.0
	50歳代	15	0	1	2	3	4	10	1	0	0	0	0	3	3	0
		100.0	0.0	6.7	13.3	20.0	26.7	66.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0
60歳代	10	2	1	1	5	0	4	1	1	0	0	2	2	3	0	
	100.0	20.0	10.0	10.0	50.0	0.0	40.0	10.0	10.0	0.0	0.0	20.0	20.0	30.0	0.0	
70歳代以上	15	1	3	0	5	1	5	2	0	0	0	1	5	2	0	
	100.0	6.7	20.0	0.0	33.3	6.7	33.3	13.3	0.0	0.0	0.0	6.7	33.3	13.3	0.0	
居 住 地 域	西部地域	2	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	
		100	0.0	0.0	50	50	50	0.0	0.0	0.0	50	0.0	0.0	0.0	0.0	
	中央地域	52	7	4	10	15	6	24	3	0	2	3	2	9	10	
		100	13.5	7.7	19.2	28.8	11.5	46.2	5.8	0.0	3.8	5.8	3.8	17.3	19.2	
東部地域	40	1	2	4	19	5	21	4	1	1	1	1	5	5		
	100	2.5	5	10	47.5	12.5	52.5	10	2.5	2.5	2.5	2.5	12.5	12.5		

問8-3 どこに転出したいと思いますか。(1つだけに○)

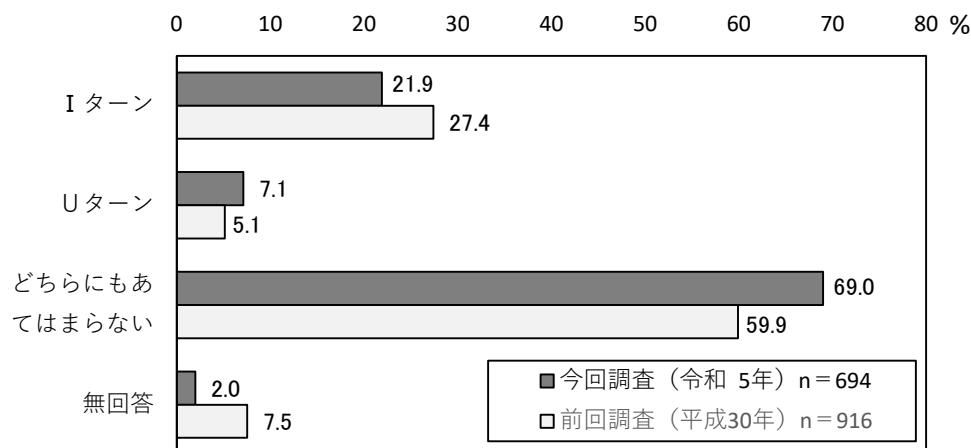
「できれば転出したい」または「転出したい」と回答した人による「転出したい」先としては、「その他」が最も高く23.4%、次いで「東京都」(19.1%)、「川越市」と「その他県内」(18.1%)となっています。



[上段:人 下段:%]	問8-3 希望する転出先														
	合計	坂戸市	川越市	鶴ヶ島市	越生町	日高市	東松山市	所沢市	飯能市	鳩山町	その他県内	東京都	その他	無回答	
全体	94 100.0	4 4.3	17 18.1	4 4.3	1 1.1	3 3.2	3 3.2	0 0.0	1 1.1	2 2.1	17 18.1	18 19.1	22 23.4	2 2.1	
年齢	30歳代以下	39 100.0	3 7.7	9 23.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6	0 0.0	8 20.5	12 30.8	5 12.8	1 2.6	
	40歳代	15 100.0	0 0.0	2 13.3	0 0.0	1 6.7	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	1 3.0	0 0.0	7 46.7	0 0.0	
	50歳代	15 100.0	0 0.0	3 20.0	1 6.7	0 0.0	1 6.7	1 6.7	0 0.0	0 0.0	2 13.3	3 20.0	4 26.7	0 0.0	
	60歳代	10 100.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 20.0	2 0.0	4 40.0	1 10.0	
	70歳代以上	15 100.0	0 0.0	2 13.3	2 13.3	0 0.0	2 13.3	1 6.7	0 0.0	0 0.0	1 13.3	2 20.0	3 13.3	2 13.3	0 0.0
	居住地	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
中央地域	52 100.0	2 3.8	8 15.4	0 0.0	1 1.9	3 5.8	2 3.8	0 0.0	1 1.9	1 1.9	10 19.2	10 19.2	14 26.9	0 0.0	
東部地域	40 100.0	2 5.0	9 22.5	4 10.0	0 0.0	0 0.0	1 2.5	0 0.0	0 0.0	1 2.5	6 15.0	7 17.5	8 20.0	2 5.0	

問9 あなたは、次のどれにあてはまりますか。(1つだけに○)

IターンやUターンかについては、「どちらにもあてはまらない」が69.0%、「Iターン」が21.9%、「Uターン」が7.1%となっています。「Iターン」の割合は、地域別では中央地域、住み続けたいとの意向の人で高くなっています。

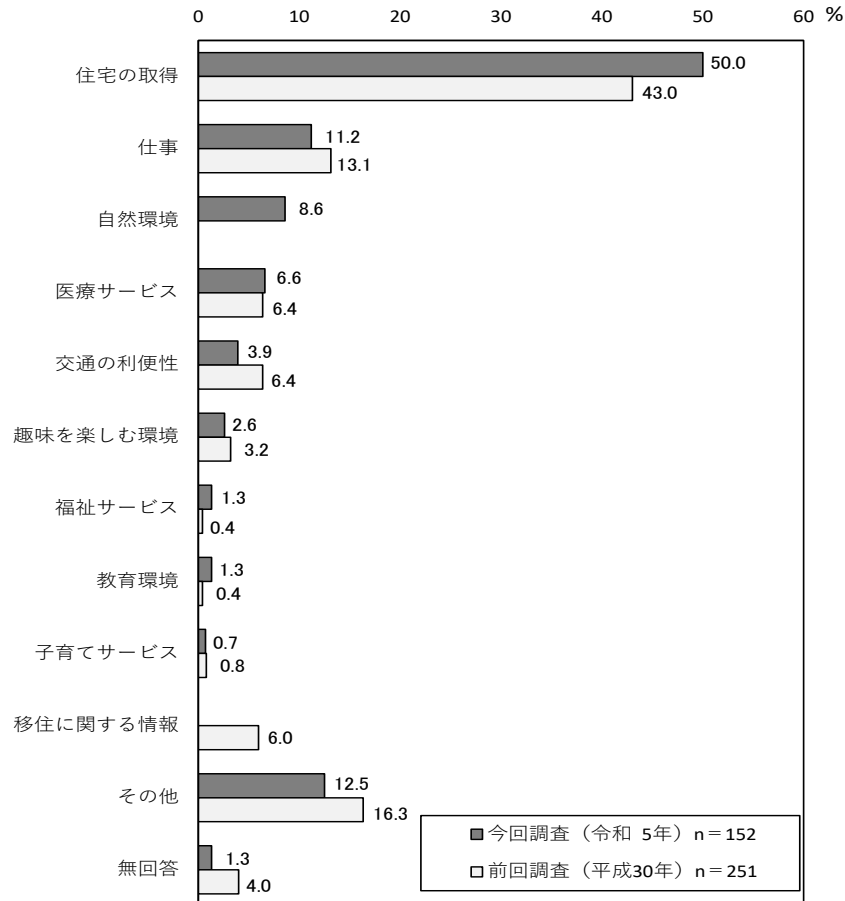


[上段:人 下段:%]		問9 Iターン・Uターンの状況				
		合計	Iターン	Uターン	どちらにもあてはまらない	無回答
全体		694 100.0	152 21.9	49 7.1	479 69.0	14 2.0
年齢	30歳代以下	156 100.0	17 10.9	15 9.6	123 78.8	1 0.6
	40歳代	74 100.0	12 16.2	14 18.9	48 64.9	0 0.0
	50歳代	78 100.0	21 26.9	3 3.8	54 69.2	0 0.0
	60歳代	121 100.0	21 17.4	7 5.8	89 73.6	4 3.3
	70歳代以上	262 100.0	81 30.9	10 3.8	162 61.8	9 3.4
	居住地域	西部地域	50 100.0	4 8.0	5 10.0	40 80.0
中央地域		427 100.0	109 25.5	26 6.1	283 66.3	9 2.1
東部地域		213 100.0	39 18.3	17 8.0	153 71.8	4 1.9
定住意向	住み続けたい	528 100.0	124 23.5	39 7.4	354 67.0	11 2.1
	転出したい	94 100.0	12 12.8	7 7.4	74 78.7	1 1.1
	わからない	68 100.0	15 22.1	3 4.4	50 73.5	0 0.0

【問9で「1」とお答えの方限定】

問9-1 毛呂山町に移住を決める上で、最も重要視した点はどれですか。(1つだけ〇)

「1ターン」と回答した人が、移住する上で最も重要視した点は、「住宅の取得」が50.0%と半数を占め、次いで「仕事」(11.2%)、「自然環境」(8.6%)となっています。



上段:人 下段:%		問9-1 移住を決める上で、最も重要視した点											
		合計	仕事	住宅の取得	自然環境	医療サービス	福祉サービス	教育環境	子育てサービス	交通の利便性	趣味を楽しむ環境	その他	無回答
全体		152 100.0	17 11.2	76 50.0	13 8.6	10 6.6	2 1.3	2 1.3	1 0.7	6 3.9	4 2.6	19 12.5	2 1.3
年齢	30歳代以下	17 100.0	3 17.6	7 41.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	0 0.0	1 5.9	0 0.0	5 29.4	0 0.0
	40歳代	12 100.0	1 8.3	2 16.7	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	1 8.3	0 0.0	6 50.0	0 0.0
	50歳代	21 100.0	1 4.8	14 66.7	3 14.3	2 9.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.8	0 0.0
	60歳代	21 100.0	4 19.0	10 47.6	1 4.8	1 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.8	1 19.0	0 0.0
	70歳代以上	81 100.0	8 9.9	43 53.1	8 9.9	7 8.6	2 2.5	1 1.2	0 0.0	4 4.9	3 3.7	3 3.7	2 2.5
居住地域	西部地域	4 100.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
	中央地域	109 100.0	14 12.8	59 54.1	6 5.5	6 5.5	2 1.8	2 1.8	0 0.0	5 4.6	3 2.8	11 10.1	1 0.9
	東部地域	39 100.0	2 5.1	17 43.6	6 15.4	3 7.7	0 0.0	0 0.0	1 2.6	1 2.6	1 2.6	7 17.9	1 2.6
定住意向	住み続けたい	124 100.0	15 12.1	56 45.2	12 9.7	10 8.1	2 1.6	1 0.8	1 0.8	6 4.8	3 2.4	16 12.9	2 1.6
	転出したい	12 100.0	2 16.7	8 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0
	わからない	15 100.0	0 0.0	11 73.3	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	2 13.3	0 0.0

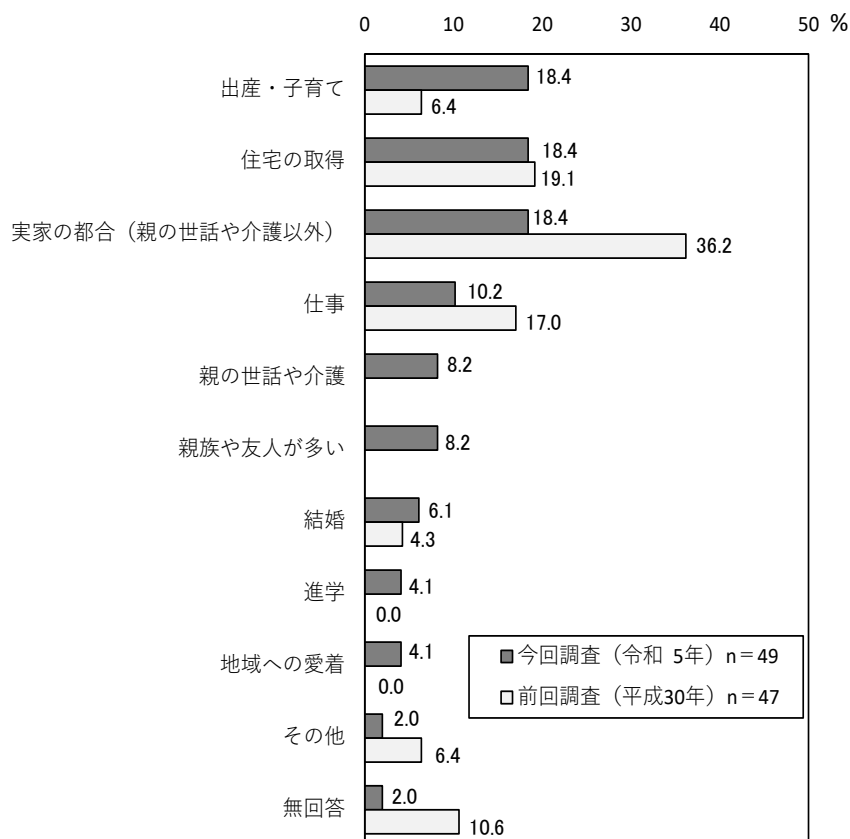
・「住宅の取得」、前回は「くらしの場所の確保」

【問9で「2」とお答えの方限定】

問9-2 毛呂山町以外に転出した後に、再び毛呂山町に戻ってきた理由は何ですか。

(1つだけに○)

「Uターン」と回答した人が、再び毛呂山町に戻ってきた理由では、「出産・子育て」と「住宅の取得」「実家の都合（親の世話や介護以外）」がそれぞれ18.4%となっています。



[ 上段:人 下段:% ]		問9-2 Uターンの理由											
		合計	進学	仕事	結婚	出産・子育て	住宅の取得	親の世話や介護	実家の都合(親の世話や介護以外)	親族や友人が多い	地域への愛着	その他	無回答
全体	49 100.0	2 4.1	5 10.2	3 6.1	9 18.4	9 18.4	4 8.2	9 18.4	4 8.2	2 4.1	1 2.0	1 2.0	
年齢	30歳代以下	15 100.0	1 6.7	3 20.0	2 13.3	3 20.0	2 13.3	1 6.7	1 6.7	1 6.7	0 0.0	0 0.0	1 6.7
	40歳代	14 100.0	1 7.1	0 0.0	1 7.1	3 21.4	3 21.4	3 21.4	1 7.1	1 7.1	0 0.0	1 7.1	0 0.0
	50歳代	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	60歳代	7 100.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3	3 42.9	0 0.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0
	70歳代以上	10 100.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	3 30.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0
居住地	西部地域	5 100.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	中央地域	26 100.0	0 0.0	2 7.7	1 3.8	7 26.9	3 11.5	1 3.8	5 19.2	3 11.5	2 7.7	1 3.8	1 3.8
	東部地域	17 100.0	2 11.8	1 5.9	2 11.8	1 5.9	5 29.4	2 11.8	3 17.6	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
定住意向	住み続けたい	39 100.0	2 5.1	4 10.3	3 7.7	7 17.9	7 17.9	2 5.1	6 15.4	4 10.3	2 5.1	1 2.6	1 2.6
	転出したい	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0	2 28.6	3 42.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	わからない	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

・「実家の都合（親の世話や介護以外）」「親の世話や介護」、前回は「実家の都合」  
 ・「住宅の取得」、前回は「住宅の都合」

### 3. 毛呂山町の現状について

問10 毛呂山町では令和2年3月に「第五次毛呂山町総合振興計画後期基本計画・第2期総合戦略」を策定し、「輝く緑 輝く瞳 輝くまち もろやま」の実現に向けて、6つの基本方向に基づいて各種施策を推進しています。現在、皆様が日常的にお感じになっていることで、これらの施策について「現在の状況に満足しているか」という満足度と、「重要と考えるか」という重要度の評価をお願いします。（満足度、重要度それぞれ1つだけに○）

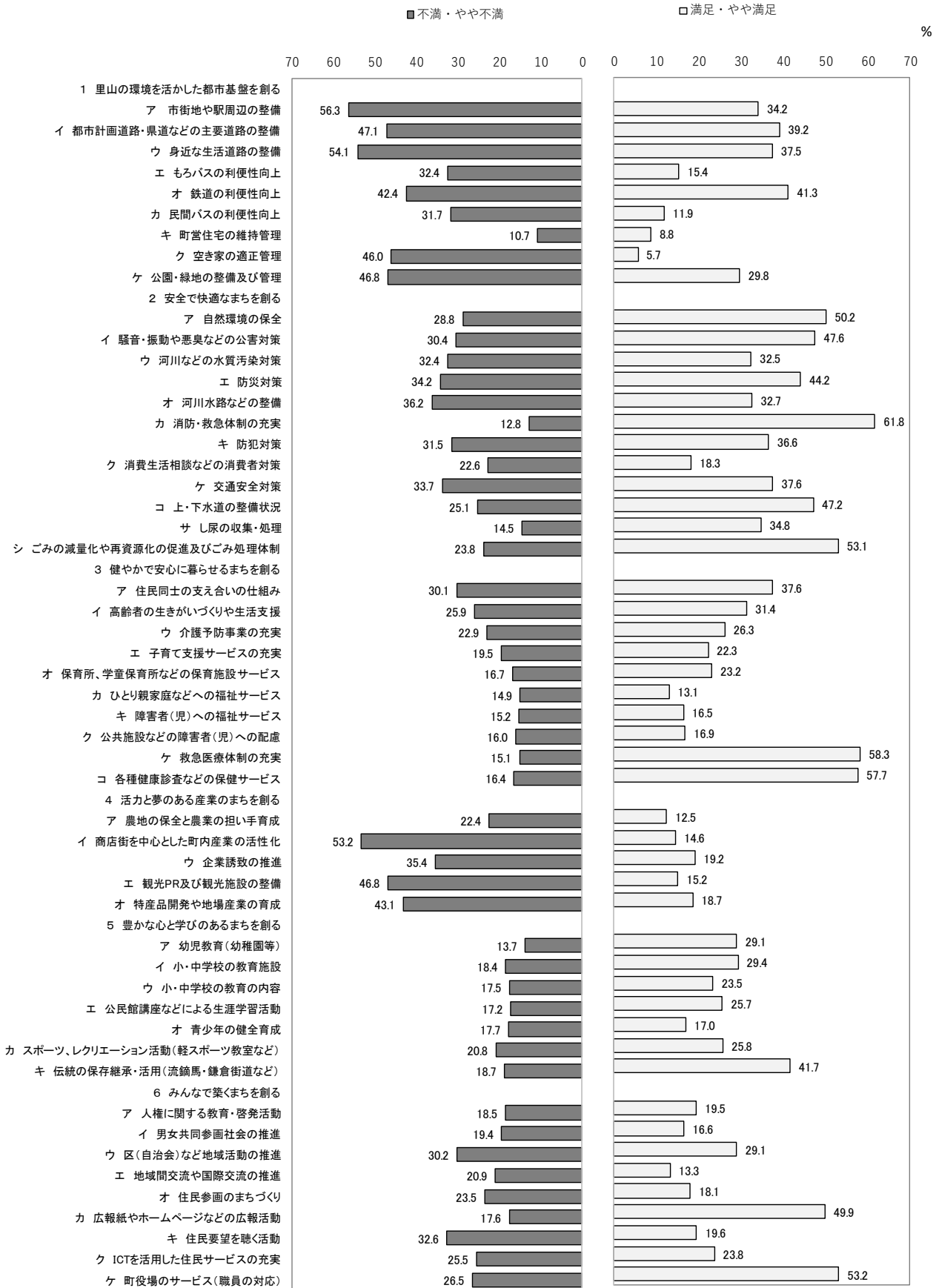
#### 【満足度】

全体で満足度が最も高い施策は「消防・救急体制の充実」が61.8%、次いで「救急医療体制の充実」(58.3%)となっています。一方、不満・やや不満な施策は「市街地や駅周辺の整備」が56.3%、次いで「身近な生活道路の整備」(54.1%)となっています。「安全で快適なまちを創る」施策は比較的満足度が高く、「活力と夢のある産業のまちを創る」施策は満足度が低くなっています。

#### 【重要度】

全体で重要度が最も高い施策は「救急医療体制の充実」が87.2%、次いで「防災対策」(84.1%)、「身近な生活道路の整備」と「消防・救急体制の充実」(83.9%)となっています。一方、(あまり)重要ではない施策は全て20%以下となっており、「地域間交流や国際交流の推進」が19.5%、次いで「区(自治会)など地域活動の推進」(18.9%)、「民間バスの利便性向上」(15.8%)となっています。

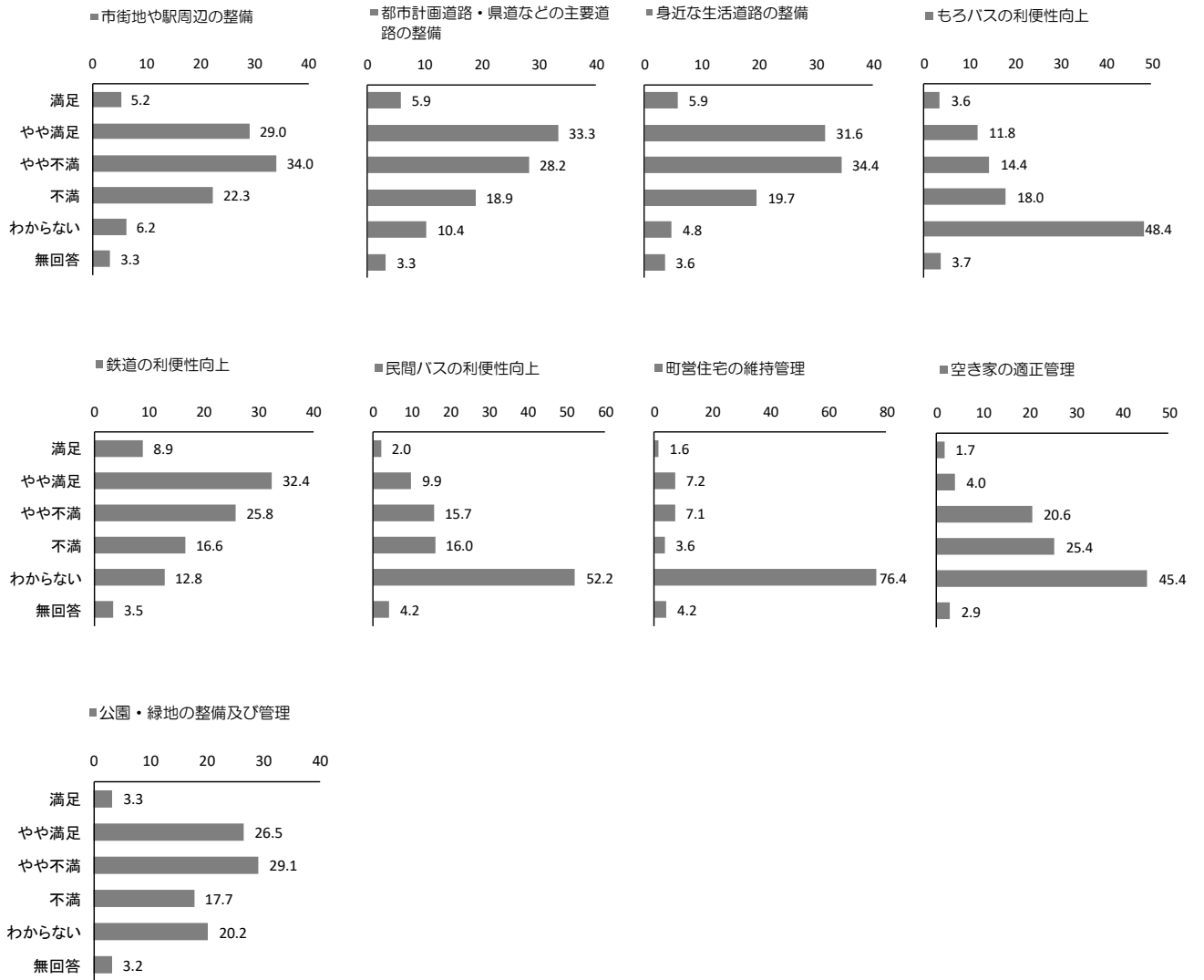
【満足度】



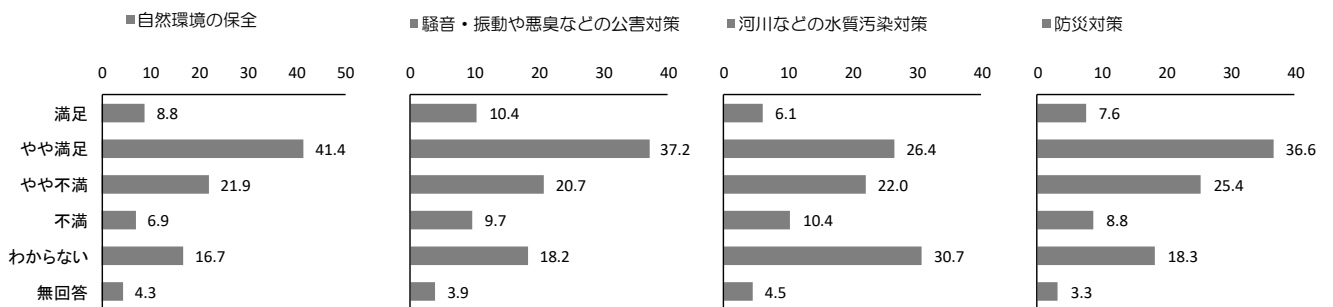


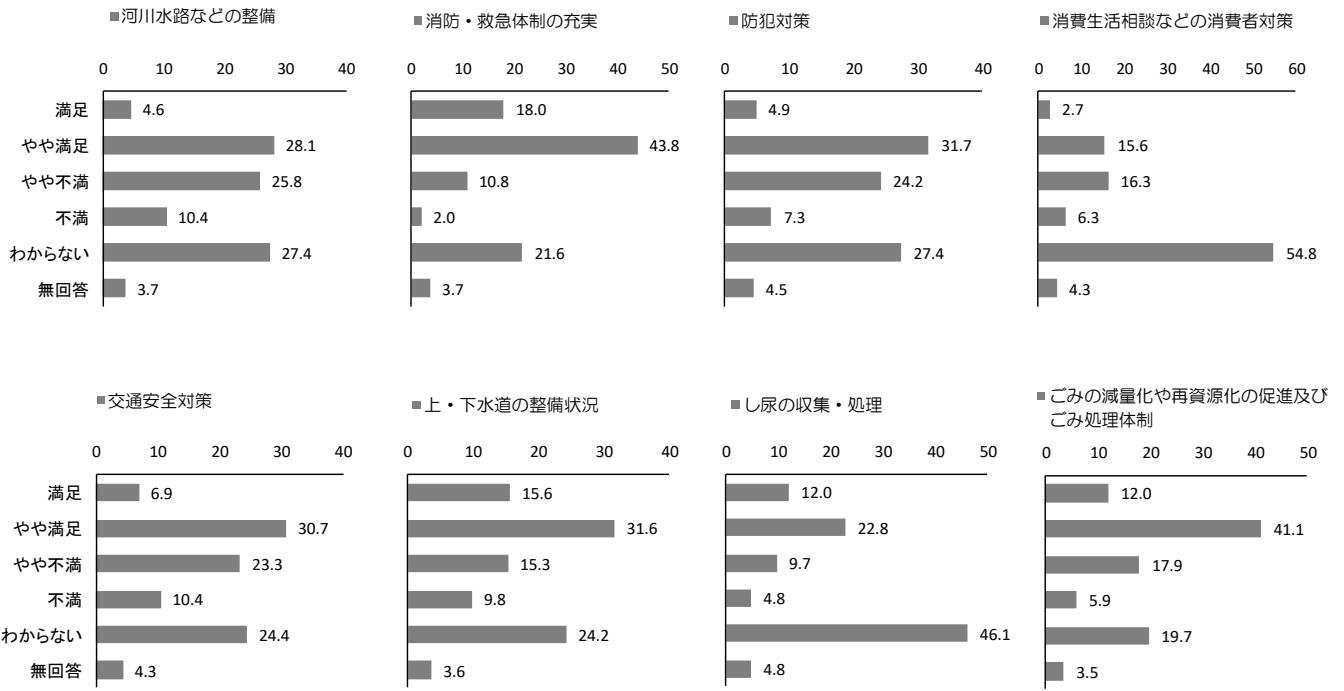
【満足度】

1. 里山の環境を活かした都市基盤を創る

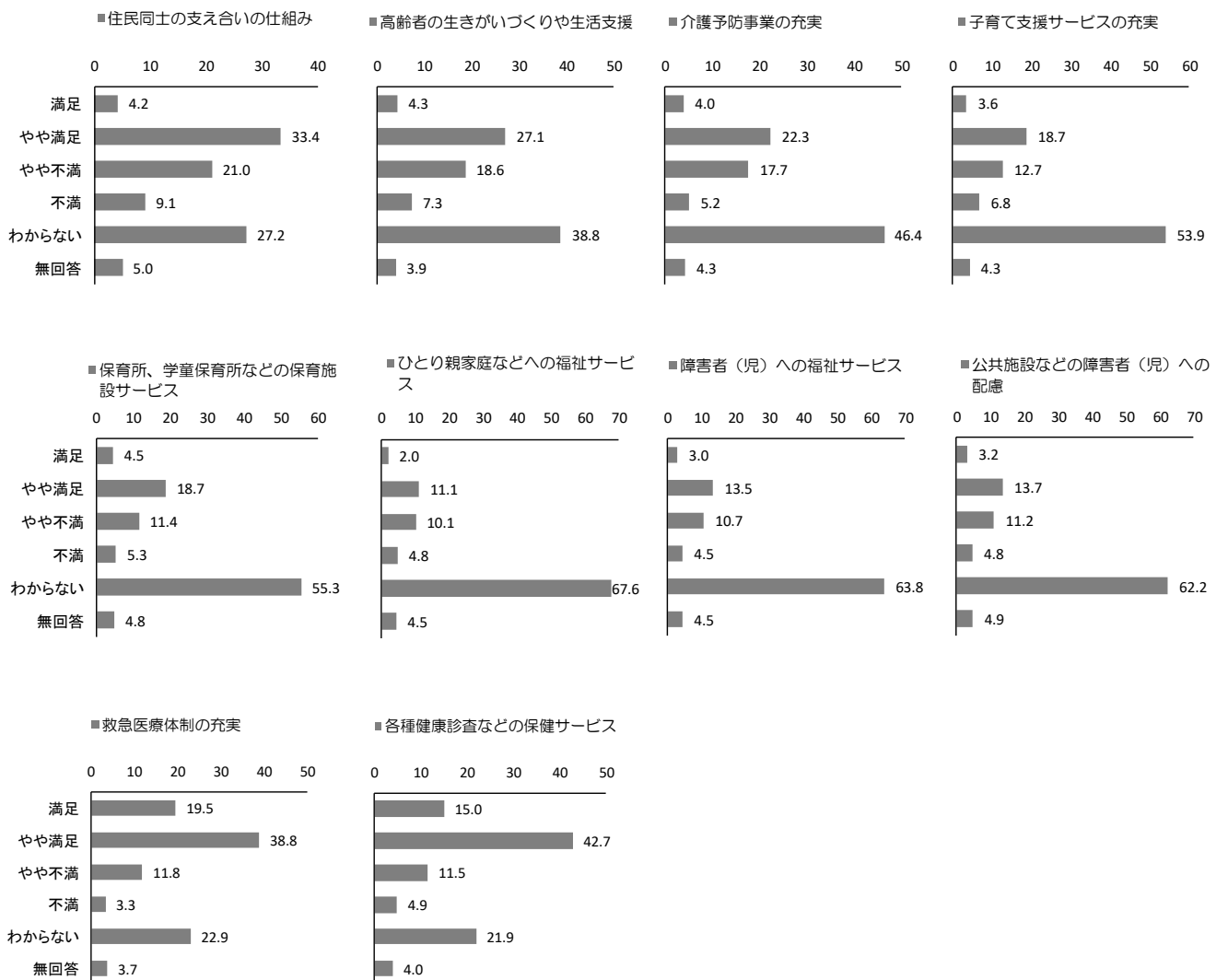


2. 安全で快適なまちを創る

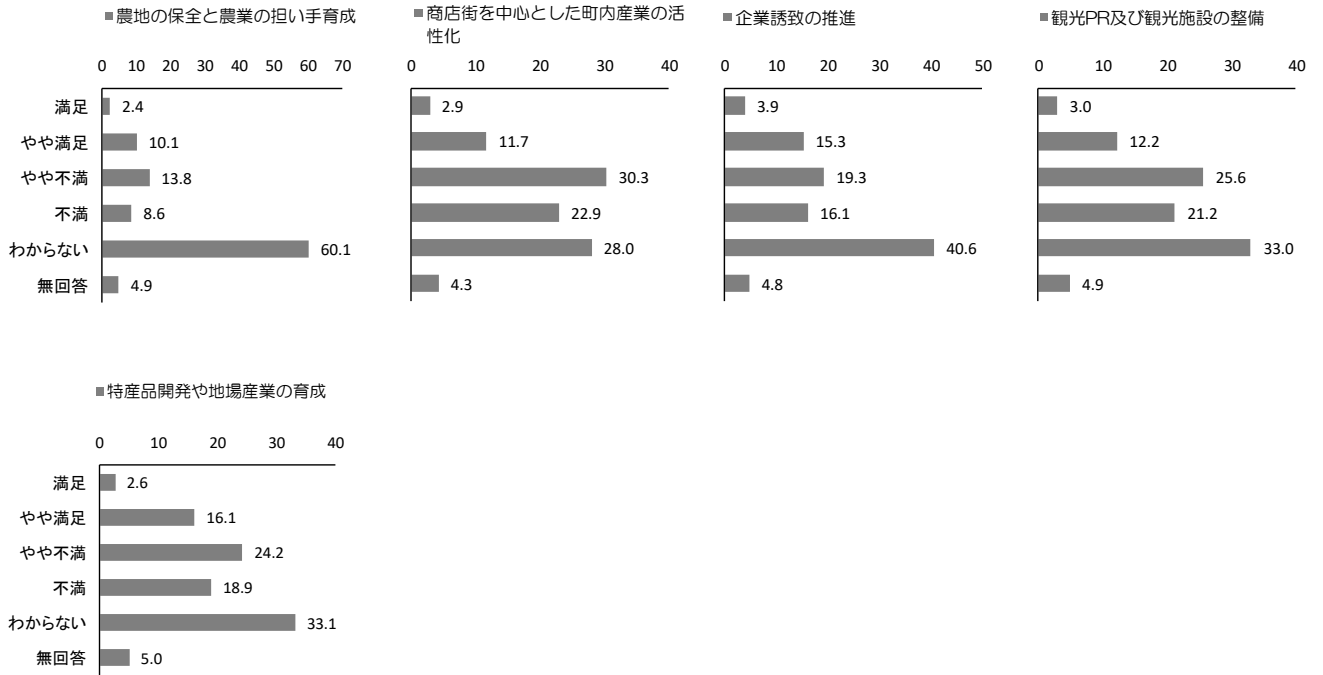




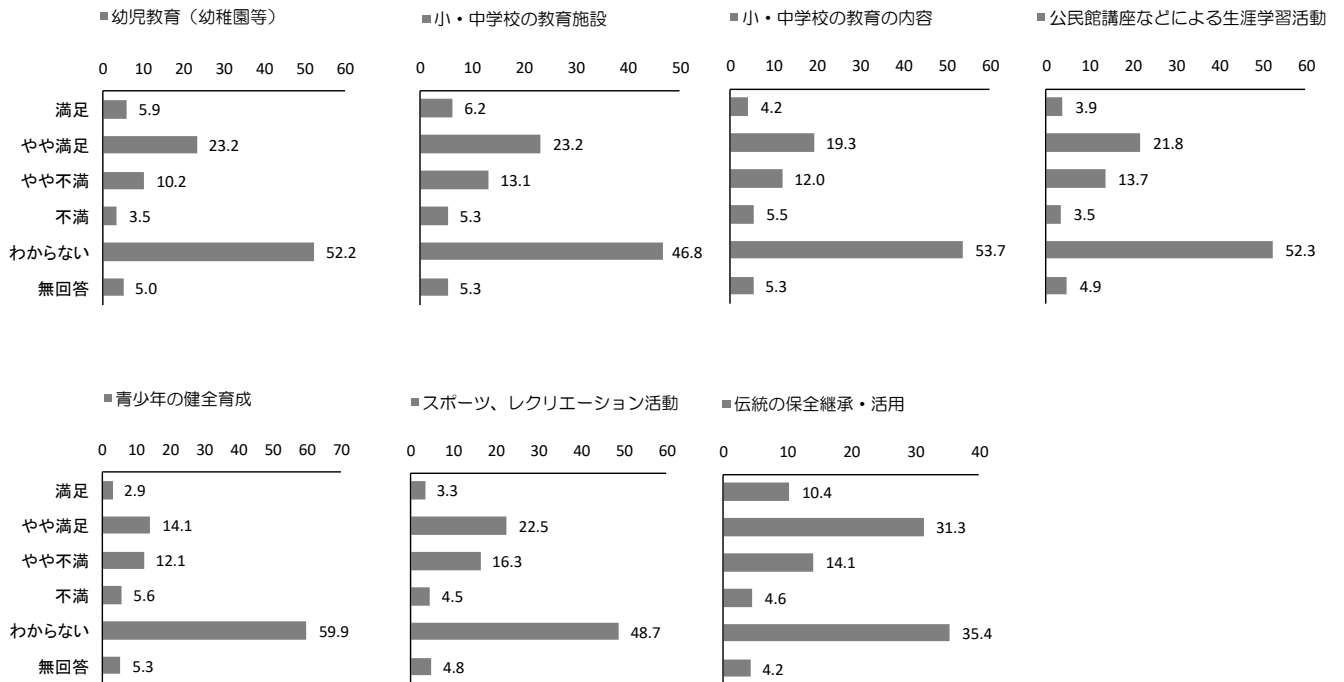
### 3. 健やかで安心に暮らせるまちを創る



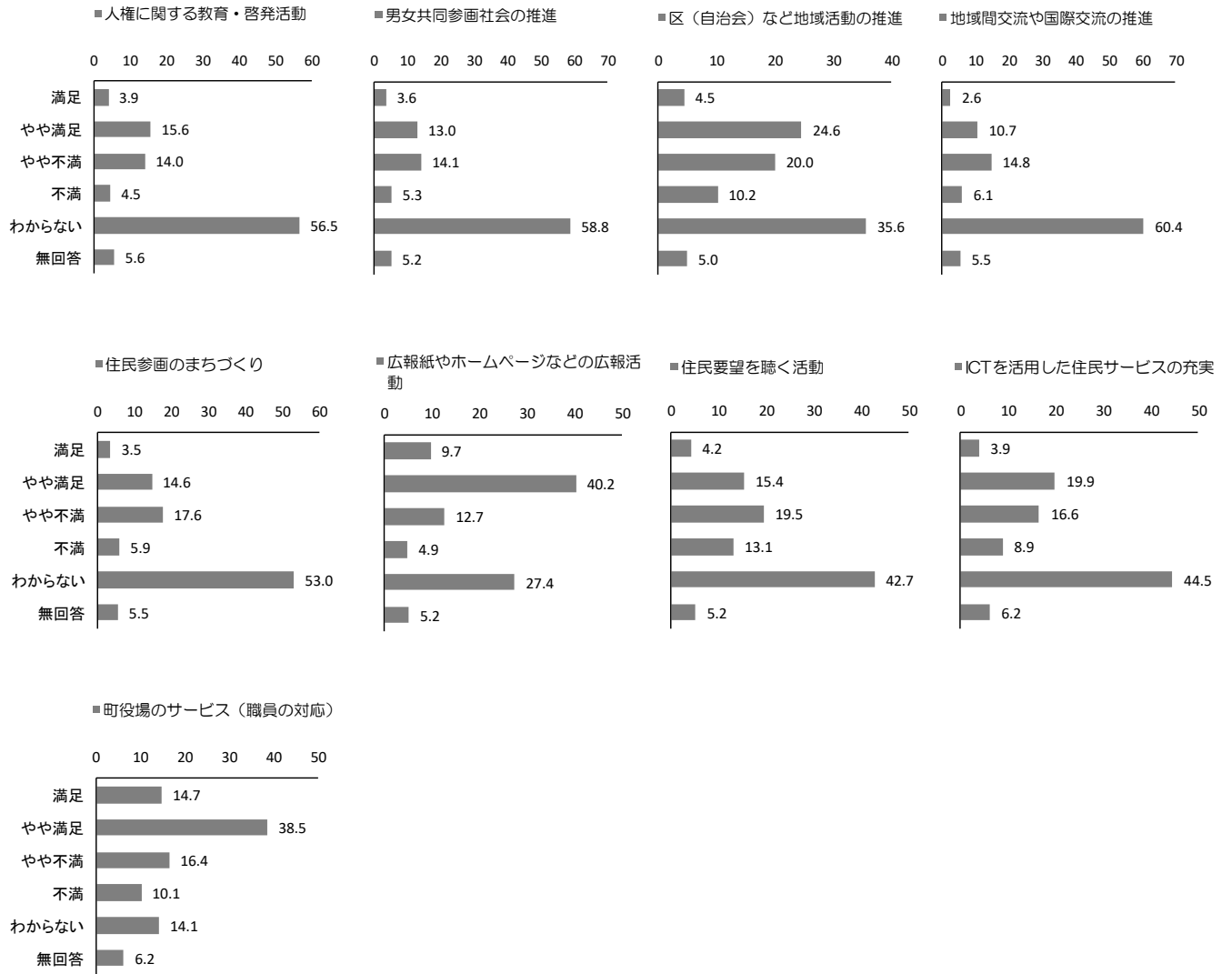
#### 4. 活力と夢のある産業のまちを創る



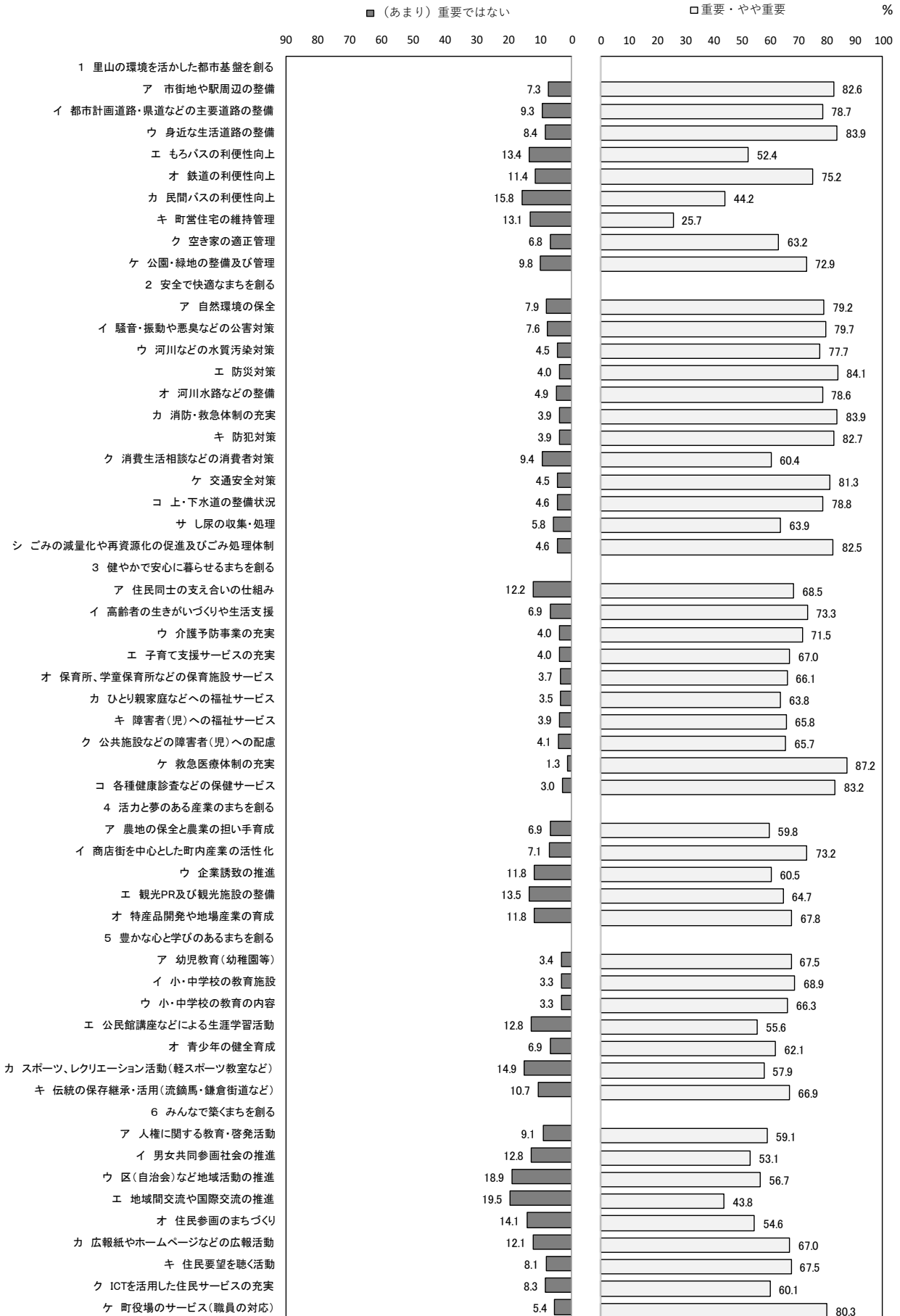
#### 5. 豊かな心と学びのあるまちを創る



## 6. みんなで築くまちを創る



【重要度】

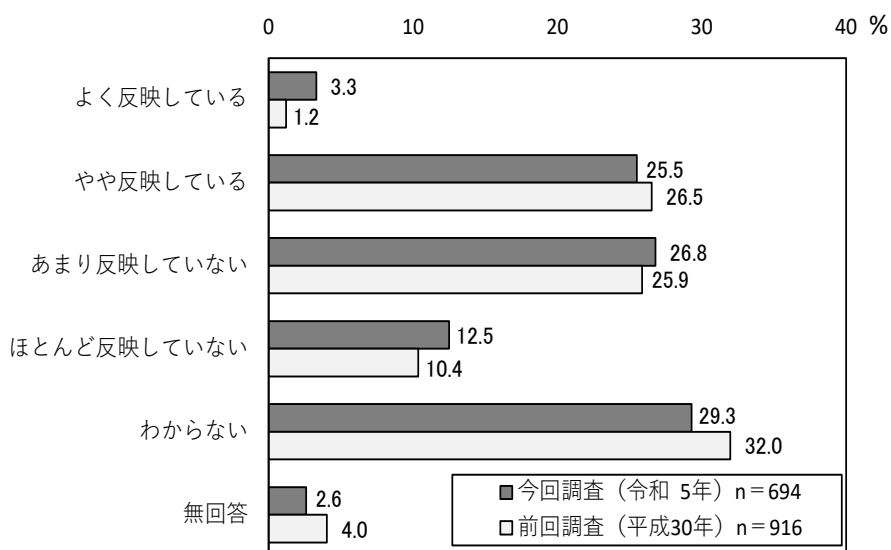


## 4. まちづくりや行政サービス等について

問11 あなたは、現在の町行政は住民の声を反映していると思いますか。(1つだけに○)

行政は住民の声を反映しているかについては、「よく反映している」は3.3%、「やや反映している」が25.5%、「あまり反映していない」が26.8%、「ほとんど反映していない」が12.5%となっています。

「反映している」の合計が28.8%に対し、「反映していない」の合計が39.3%と、反映していない割合が10.5%高くなっており、前回よりもその差が拡大しています。

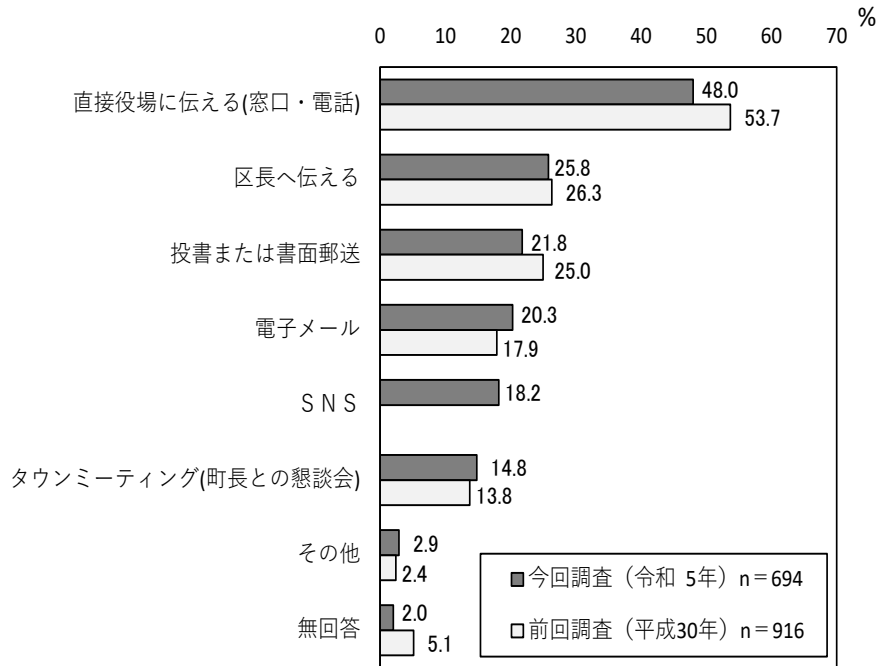


[上段:人 下段:%]		問11 町行政は住民の声を反映しているか						
		合計	よく反映している	やや反映している	あまり反映していない	ほとんど反映していない	わからない	無回答
全体		694	23	177	186	87	203	18
		100.0	3.3	25.5	26.8	12.5	29.3	2.6
年齢	30歳以下	156	9	29	35	26	55	2
		100.0	5.8	18.6	22.4	16.7	35.3	1.3
	40歳代	74	1	13	20	14	26	0
		100.0	1.4	17.6	27.0	18.9	35.1	0.0
	50歳代	78	3	23	17	13	20	2
		100.0	3.8	29.5	21.8	16.7	25.6	2.6
60歳代	121	2	29	36	13	37	4	
	100.0	1.7	24.0	29.8	10.7	30.6	3.3	
70歳代以上	262	8	83	77	20	65	9	
	100.0	3.1	31.7	29.4	7.6	24.8	3.4	
居住地域	西部地域	50	3	12	11	7	17	0
		100.0	6.0	24.0	22.0	14.0	34.0	0.0
	中央地域	427	11	114	123	48	120	11
	100.0	2.6	26.7	28.8	11.2	28.1	2.6	
東部地域	213	9	51	50	30	66	7	
	100.0	4.2	23.9	23.5	14.1	31.0	3.3	
定住意向	住み続けたい	528	21	149	144	50	150	14
		100.0	4.0	28.2	27.3	9.5	28.4	2.7
	転出したい	94	2	13	23	27	29	0
	100.0	2.1	13.8	24.5	28.7	30.9	0.0	
わからない	68	0	14	17	10	24	3	
	100.0	0.0	20.6	25.0	14.7	35.3	4.4	

問12 あなたは、町行政に対する意見や要望、相談がある場合、どのような方法で伝えるのがよいと思いますか。(2つ以内に○)

町に対して意見や要望等を伝える手段としては、「直接役場に伝える(窓口・電話)」が48.0%と最も高く、次いで「区長へ伝える」(25.8%)、「投書または書面郵送」(21.8%)となっています。

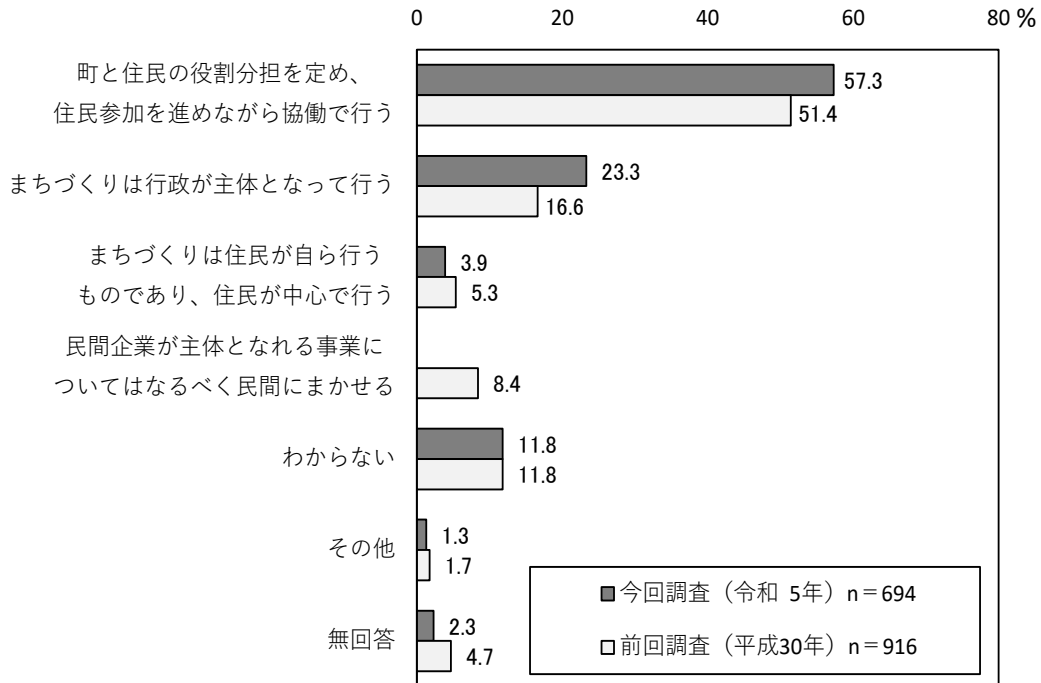
30歳代以下では「SNS」、40歳代では「電子メール」が最も高くなっています。



[ 上段:人 下段:% ]		問12 意見や要望、相談の伝達方法								
		合計	タウンミーティング (町長との懇談会)	区長へ伝える	投書または書面郵送	直接役場に伝える (窓口・電話)	電子メール	SNS	その他	無回答
全体		694 100.0	103 14.8	179 25.8	151 21.8	333 48.0	141 20.3	126 18.2	20 2.9	14 2.0
年齢	30歳代以下	156 100.0	25 16.0	10 6.4	40 25.6	47 30.1	48 30.8	69 44.2	5 3.2	1 0.6
	40歳代	74 100.0	10 13.5	10 13.5	17 23.0	24 32.4	25 33.8	21 28.4	4 5.4	0 0.0
	50歳代	78 100.0	8 10.3	16 20.5	16 20.5	41 52.6	22 28.2	19 24.4	1 1.3	1 1.3
	60歳代	121 100.0	20 16.5	43 35.5	26 21.5	63 52.1	24 19.8	10 8.3	1 0.8	3 2.5
	70歳代以上	262 100.0	40 15.3	100 38.2	52 19.8	157 59.9	22 8.4	7 2.7	8 3.1	8 3.1
居住地域	西部地域	50 100.0	8 16.0	20 40.0	8 16.0	28 56.0	10 20.0	6 12.0	0 0.0	0 0.0
	中央地域	427 100.0	65 15.2	110 25.8	102 23.9	202 47.3	89 20.8	76 17.8	14 3.3	8 1.9
	東部地域	213 100.0	30 14.1	48 22.5	41 19.2	101 47.4	42 19.7	44 20.7	5 2.3	6 2.8
定住意向	住み続けたい	528 100.0	75 14.2	151 28.6	112 21.2	270 51.1	98 18.6	90 17.0	13 2.5	10 1.9
	転出したい	94 100.0	20 21.3	16 17.0	24 25.5	24 25.5	30 31.9	26 27.7	6 6.4	0 0.0
	わからない	68 100.0	8 11.8	11 16.2	14 20.6	38 55.9	13 19.1	10 14.7	1 1.5	2 2.9

問13 まちづくりの役割分担に関して、どう思いますか。(1つだけに○)

まちづくりの役割分担では、「町と住民の役割分担を定め、住民参加を進めながら協働で行う」との回答が57.3%と半数以上となっており、全年齢層で最も高くなっています。



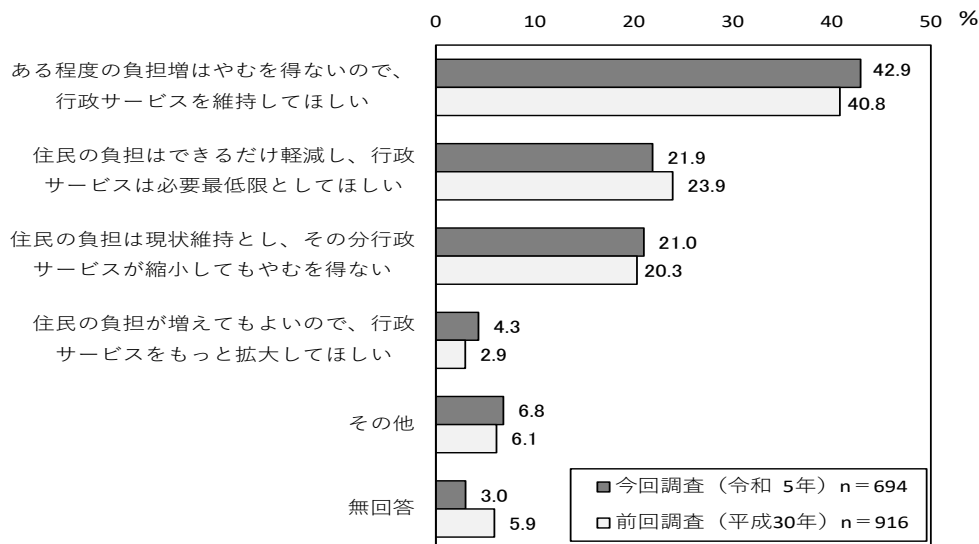
[ 上段:人 下段:% ]		問13 まちづくりの役割分担						
		合計	まちづくりは住民が自ら行うものであり、住民が中心で行う	町と住民の役割分担を定め、住民参加を進めながら協働で行う	まちづくりは行政が主体となって行う	わからない	その他	無回答
全体		694	27	398	162	82	9	16
		100.0	3.9	57.3	23.3	11.8	1.3	2.3
年齢	30歳代以下	156	11	74	47	21	2	1
		100	7.1	47.4	30.1	13.5	1.3	0.6
	40歳代	74	3	27	25	14	4	1
		100.0	4.1	36.5	33.8	18.9	5.4	1.4
	50歳代	78	2	48	18	8	1	1
		100.0	2.6	61.5	23.1	10.3	1.3	1.3
60歳代		121	3	78	23	13	1	3
		100.0	2.5	64.5	19.0	10.7	0.8	2.5
	70歳代以上	262	8	170	48	26	1	9
	100.0	3.1	64.9	18.3	9.9	0.4	3.4	
居住地域	西部地域	50	3	25	12	8	1	1
		100.0	6.0	50.0	24.0	16.0	2.0	2.0
	中央地域	427	16	254	93	50	6	8
	100.0	3.7	59.5	21.8	11.7	1.4	1.9	
東部地域		213	8	117	55	24	2	7
		100.0	3.8	54.9	25.8	11.3	0.9	3.3
定住意向	住み続けたい	528	18	321	117	55	6	11
		100.0	3.4	60.8	22.2	10.4	1.1	2.1
	転出したい	94	6	45	28	15	0	0
		100.0	6.4	47.9	29.8	16.0	0.0	0.0
わからない		68	3	31	17	11	3	3
		100.0	4.4	45.6	25.0	16.2	4.4	4.4



問14 現在、毛呂山町を含め、日本全体で急速に少子高齢化が進み、税を負担する人が減る一方、行政サービスを受ける人は今後も増えていくことが予想されます。このような状況の中、あなたは毛呂山町の行政サービスのあり方として、どのような方法がふさわしいと考えますか。あなたのお考えに最も近いものをお答えください。（1つだけに○）

まちの行政サービスにふさわしいあり方としては、「ある程度の負担増はやむを得ないので、行政サービスを維持してほしい」が42.9%と最も高く、「住民の負担はできるだけ軽減し、行政サービスは必要最低限としてほしい」（21.9%）、「住民の負担は現状維持とし、その分行政サービスが縮小してもやむを得ない」（21.0%）がほぼ同じ割合となっています。

全ての年齢層で「ある程度の負担増はやむを得ないので、行政サービスを維持してほしい」の割合が最も高く、転出意向の人では「住民の負担はできるだけ軽減し、行政サービスは必要最低限としてほしい」との割合が最も高くなっています。

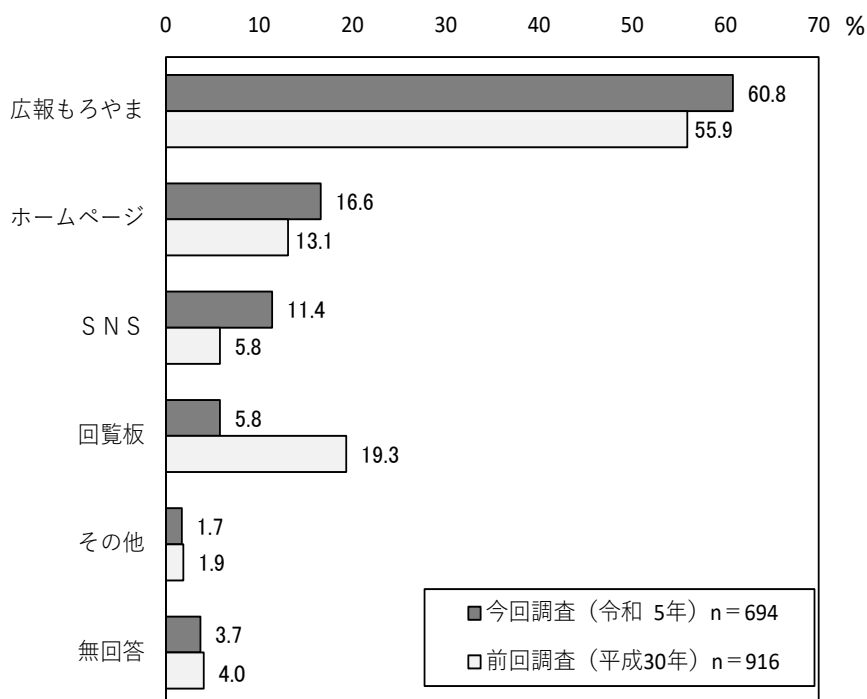


[ 上段:人 下段:% ]		問14 町の行政サービスの方あり方						
		合計	住民の負担が増え てもよい ので、行政サービスをもっと 拡大してほしい	ある程度 の負担増 はやむを 得ないので、行政サービス を維持してほしい	住民の負担は現状 維持とし、 その分行政サービスが縮小 してもやむを得ない	住民の負担はできるだけ 軽減し、行政サービスは必要 最低限としてほしい	その他	無回答
全体		694 100.0	30 4.3	298 42.9	146 21.0	152 21.9	47 6.8	21 3.0
年齢	30歳代以下	156 100.0	13 8.3	64 41.0	31 19.9	34 21.8	13 8.3	1 0.6
	40歳代	74 100.0	2 2.7	25 33.8	20 27.0	15 20.3	11 14.9	1 1.4
	50歳代	78 100.0	3 3.8	35 44.9	18 23.1	16 20.5	4 5.1	2 2.6
	60歳代	121 100.0	3 2.5	54 44.6	26 21.5	26 21.5	8 6.6	4 3.3
	70歳代以上	262 100.0	9 3.4	120 45.8	51 19.5	60 22.9	11 4.2	11 4.2
	居住地	西部地域	50 100.0	3 6.0	21 42.0	10 20.0	14 28.0	1 2.0
	中央地域	427 100.0	17 4.0	190 44.5	98 23.0	84 19.7	27 6.3	11 2.6
	東部地域	213 100.0	10 4.7	87 40.8	38 17.8	52 24.4	18 8.5	8 3.8
定住意向	住み続けたい	528 100.0	23 4.4	247 46.8	108 20.5	103 19.5	31 5.9	16 3.0
	転出したい	94 100.0	7 7.4	24 25.5	24 25.5	28 29.8	10 10.6	1 1.1
	わからない	68 100.0	0 0.0	25 36.8	14 20.6	21 30.9	5 7.4	3 4.4

問15 あなたは、毛呂山町の行政情報をどのような手段で入手したいと思いますか。  
(1つだけに○)

行政情報の入手方法としては、「広報もろやま」が60.8%で最も高く、次いで「ホームページ」(16.6%)、「SNS」(11.4%)となっています。広報の割合が高くなっていますが、前回比では「ホームページ」の閲覧や「SNS」の利用も高くなっており、「回覧板」は大きく低下しています。

「SNS」は30歳代以下、「ホームページ」は40歳代が最も高くなっています。



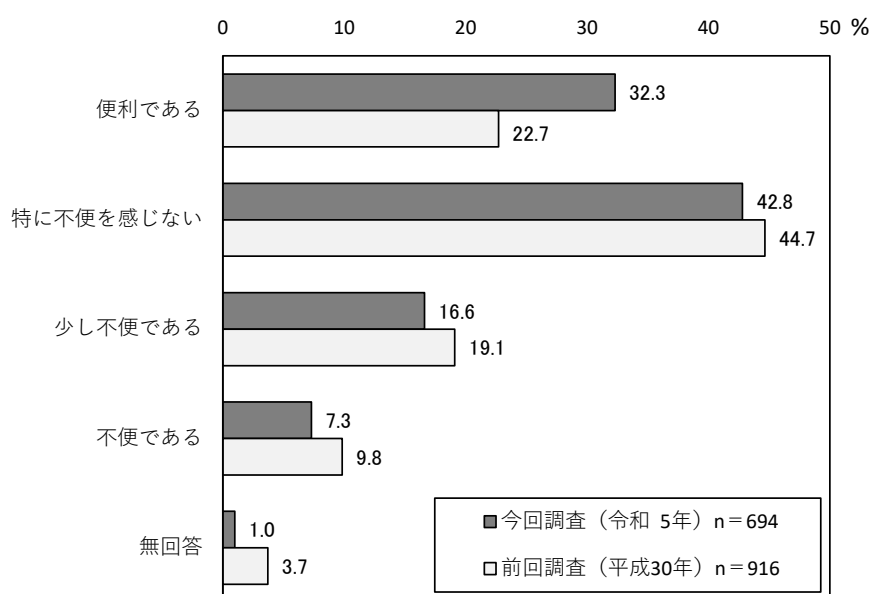
[ 上段:人 下段:% ]		問15 町の行政情報の入手方法						
		合計	広報もろやま	回覧板	ホームページ	SNS	その他	無回答
全体		694 100.0	422 60.8	40 5.8	115 16.6	79 11.4	12 1.7	26 3.7
年齢	30歳代以下	156 100.0	54 34.6	9 5.8	36 23.1	51 32.7	4 2.6	2 1.3
	40歳代	74 100.0	31 41.9	3 4.1	24 32.4	11 14.9	1 1.4	4 5.4
	50歳代	78 100.0	44 56.4	2 2.6	17 21.8	10 12.8	1 1.3	4 5.1
	60歳代	121 100.0	87 71.9	7 5.8	17 14.0	4 3.3	3 2.5	3 2.5
	70歳代以上	262 100.0	205 78.2	19 7.3	20 7.6	3 1.1	3 1.1	12 4.6
	居住地域	西部地域	50 100.0	34 68.0	3 6.0	6 12.0	5 10.0	0 0.0
中央地域		427 100.0	268 62.8	24 5.6	65 15.2	49 11.5	7 1.6	14 3.3
東部地域		213 100.0	118 55.4	13 6.1	43 20.2	25 11.7	4 1.9	10 4.7
定住意向	住み続けたい	528 100.0	341 64.6	29 5.5	80 15.2	49 9.3	8 1.5	21 4.0
	転出したい	94 100.0	43 45.7	7 7.4	19 20.2	21 22.3	2 2.1	2 2.1
	わからない	68 100.0	36 52.9	3 4.4	16 23.5	9 13.2	2 2.9	2 2.9

## 5. 日常の買い物等について

問16 あなたのご家庭で、日常生活に必要なもの（食料品等）の買い物等の便利さはどう感じますか。（1つだけに○）

日常生活に必要な買い物の利便性については、「便利である」と「特に不便を感じない」を合わせると75.1%の人が不便を感じていません。特に「便利である」との回答が前回比で約10%高くなっており、「少し不便である」「不便である」との割合はともに低下しています。

地域別では、全ての地域で「特に不便を感じない」との割合が最も高くなっていますが、中央地域では「便利である」との割合が42.2%と高い一方、西部地域では「少し不便である」が30.0%、東部地域では「不便である」との割合が17.8%となっており、地域差が見られます。

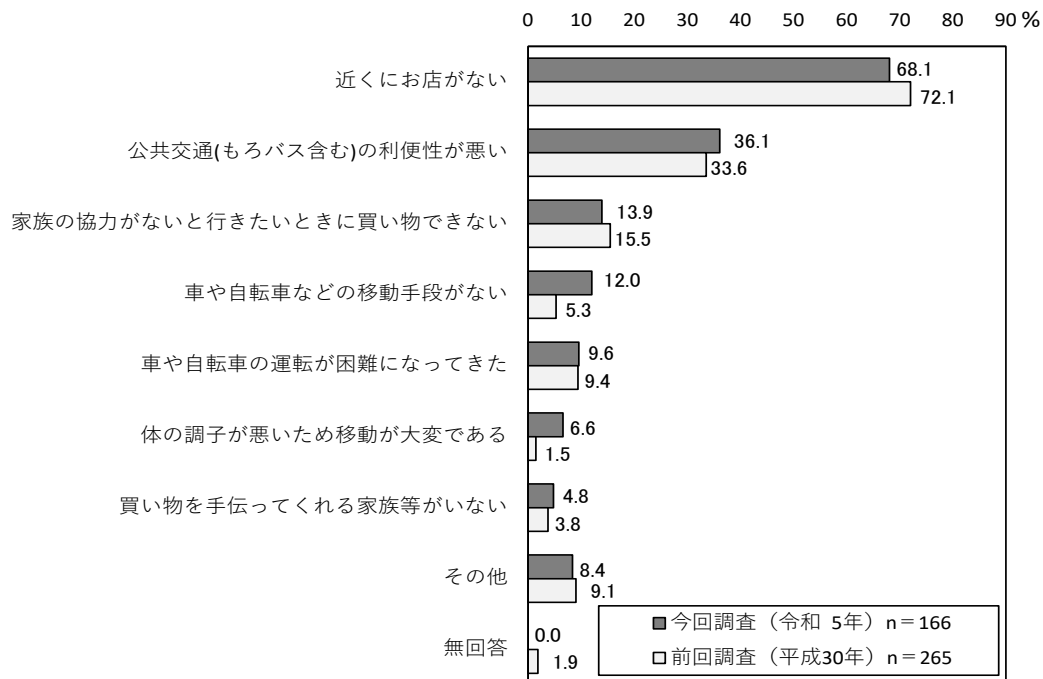


[ 上段:人 下段:% ]		問16 買い物等の便利さについて					
		合計	便利である	特に不便を感じない	少し不便である	不便である	無回答
全体		694	224	297	115	51	7
		100.0	32.3	42.8	16.6	7.3	1.0
年齢	30歳代以下	156	49	70	26	11	0
		100.0	31.4	44.9	16.7	7.1	0.0
	40歳代	74	26	33	11	4	0
		100.0	35.1	44.6	14.9	5.4	0.0
	50歳代	78	29	30	14	4	1
		100.0	37.2	38.5	17.9	5.1	1.3
居住地	西部地域	50	10	22	15	3	0
		100.0	20.0	44.0	30.0	6.0	0.0
	中央地域	427	180	187	48	9	3
		100.0	42.2	43.8	11.2	2.1	0.7
	東部地域	213	34	86	51	38	4
	100.0	16.0	40.4	23.9	17.8	1.9	
定住意向	住み続けたい	528	192	229	76	24	7
		100.0	36.4	43.4	14.4	4.5	1.3
	転出したい	94	15	35	26	18	0
		100.0	16.0	37.2	27.7	19.1	0.0
	わからない	68	16	32	11	9	0
		100.0	23.5	47.1	16.2	13.2	0.0

【問16で「3」あるいは「4」とお答えの方限定】

問16-1 特に不便に感じていることは何ですか。(2つ以内に○)

「少し不便である」「不便である」と回答した人の理由としては、「近くにお店がない」が最も高く68.1%、次いで「公共交通（もろバス含む）の利便性が悪い」（36.1%）となっています。



[上段:人] [下段:%]		問16-1 買い物等で特に不便に感じていること									
		合計	近くにお店がない	車や自転車などの移動手段がない	車や自転車の運転が困難になってきた	公共交通(もろバス含む)の利便性が悪い	体の調子が悪いため移動が大変である	家族の協力がないと行きたいときに買い物できない	買い物を手伝ってくれる家族等がない	その他	無回答
全体		166 100.0	113 68.1	20 12.0	16 9.6	60 36.1	11 6.6	23 13.9	8 4.8	14 8.4	0 0.0
年齢	30歳代以下	37 100.0	28 75.7	4 10.8	0 0.0	8 21.6	2 5.4	5 13.5	0 0.0	5 13.5	0 0.0
	40歳代	15 100.0	13 86.7	1 6.7	0 0.0	5 33.3	0 0.0	2 13.3	1 6.7	1 6.7	0 0.0
	50歳代	18 100.0	12 66.7	2 11.1	1 5.6	8 44.4	0 0.0	1 5.6	0 0.0	2 11.1	0 0.0
	60歳代	34 100.0	25 73.5	3 8.8	3 8.8	12 35.3	2 5.9	2 5.9	2 5.9	5 14.7	0 0.0
	70歳代以上	60 100.0	34 56.7	10 16.7	12 20.0	26 43.3	7 11.7	13 21.7	5 8.3	1 1.7	0 0.0
居住地域	西部地域	18 100.0	13 72.2	2 11.1	3 16.7	3 16.7	1 5.6	3 16.7	1 5.6	1 5.6	0 0.0
	中央地域	57 100.0	23 40.4	11 19.3	5 8.8	24 42.1	6 10.5	10 17.5	4 7.0	10 17.5	0 0.0
	東部地域	89 100.0	76 85.4	7 7.9	8 9.0	32 36.0	4 4.5	10 11.2	3 3.4	3 3.4	0 0.0
定住意向	住み続けたい	100 100.0	65 65.0	7 7.0	13 13.0	37 37.0	8 8.0	12 12.0	5 5.0	9 9.0	0 0.0
	転出したい	44 100.0	32 72.7	11 25.0	0 0.0	17 38.6	1 2.3	8 18.2	3 6.8	4 9.1	0 0.0
	わからない	20 100.0	16 80.0	2 10.0	2 10.0	5 25.0	1 5.0	3 15.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0

- ・「公共交通（もろバス含む）の利便性が悪い」、前回は「バス・鉄道の利便性が悪い」
- ・「体の調子が悪いため移動が大変である」、前回は「バス・鉄道の乗降が体力的にきつい」

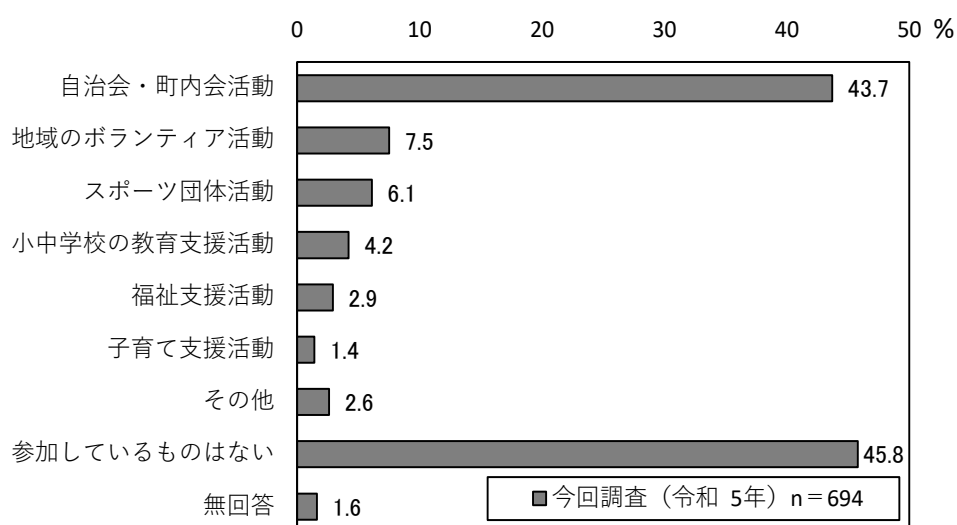
## 6. 地域活動について

問17 あなたは日頃、どのような地域活動に参加していますか。

(あてはまるものすべてに○)

地域活動の参加状況では、「参加しているものはない」との割合が45.8%となっていますが、参加しているものでは「自治会・町内会活動」が43.7%のほか、「地域のボランティア活動」(7.5%)、「スポーツ団体活動」(6.1%)となっています。

40歳代以下では「参加しているものはない」、50歳代以上では「自治会・町内会活動」が最も高くなっています。また、住み続けたい意向の人では「自治会・町内会活動」が最も高くなっています。



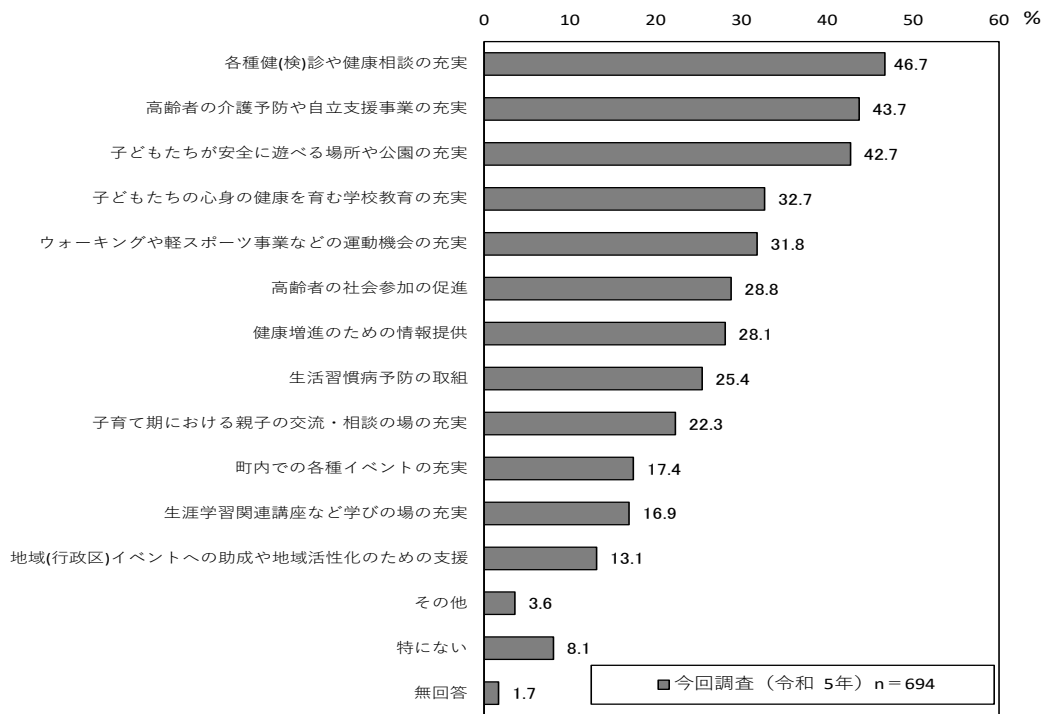
[ 上段:人 下段:% ]		問17 参加している地域活動									
		合計	自治会・ 町内会活動	小中学校 の教育支 援活動	子育て支 援活動	スポーツ 団体活動	福祉支援 活動	地域のボ ランティア 活動	その他	参加して いるもの はない	無回答
全体		694 100.0	303 43.7	29 4.2	10 1.4	42 6.1	20 2.9	52 7.5	18 2.6	318 45.8	11 1.6
年齢	30歳代以下	156 100.0	27 17.3	13 8.3	3 1.9	7 4.5	3 1.9	8 5.1	4 2.6	109 69.9	0 0.0
	40歳代	74 100.0	28 37.8	10 13.5	0 0.0	4 5.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	41 55.4	1 1.4
	50歳代	78 100.0	40 51.3	0 0.0	0 0.0	2 2.6	1 1.3	2 2.6	1 1.3	34 43.6	1 1.3
	60歳代	121 100.0	70 57.9	4 3.3	3 2.5	9 7.4	4 3.3	13 10.7	3 2.5	39 32.2	3 2.5
	70歳代以上	262 100.0	136 51.9	2 0.8	4 1.5	20 7.6	12 4.6	29 11.1	10 3.8	95 36.3	5 1.9
	居住 地域	西部地域	50 100.0	20 40.0	1 2.0	2 4.0	3 6.0	1 2.0	6 12.0	1 2.0	26 52.0
中央地域		427 100.0	187 43.8	18 4.2	7 1.6	28 6.6	14 3.3	33 7.7	11 2.6	198 46.4	5 1.2
東部地域		213 100.0	92 43.2	10 4.7	1 0.5	11 5.2	5 2.3	12 5.6	6 2.8	94 44.1	5 2.3
定住 意向	住み続けたい	528 100.0	256 48.5	26 4.9	10 1.9	35 6.6	16 3.0	43 8.1	13 2.5	216 40.9	9 1.7
	転出したい	94 100.0	20 21.3	2 2.1	0 0.0	7 7.4	1 1.1	5 5.3	4 4.3	62 66.0	0 0.0
	わからない	68 100.0	25 36.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 4.4	3 4.4	1 1.5	39 57.4	2 2.9

## 7. 健幸づくりについて

問18 毛呂山町では、住民一人ひとりが世代や障害の有無に関わらず、健康で幸せに暮らせるまち(=健幸づくりのまち)の推進を目指すため、令和5年3月27日に「健幸づくりのまち」宣言を行いました。現在、この宣言に基づき、住民一人ひとりが健康で幸せに暮らせるまちづくりを推進するための各種施策を展開しています。住民が心身ともに健康で生き生きと暮らせるまちづくりを推進していくために、毛呂山町が取り組むべきサービスは何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

健幸づくりについて町が取り組むべきサービスとしては、「各種健(検)診や健康相談の充実」が46.7%と最も高く、次いで「高齢者の介護予防や自立支援事業の充実」(43.7%)、「子どもたちが安全に遊べる場所や公園の充実」(42.7%)となっています。

年齢別では40歳代以下の子育て世代、地域別では西部地域・東部地域、定住意向別では転出意向の人で「子どもたちが安全に遊べる場所や公園の充実」の割合が最も高くなっています。

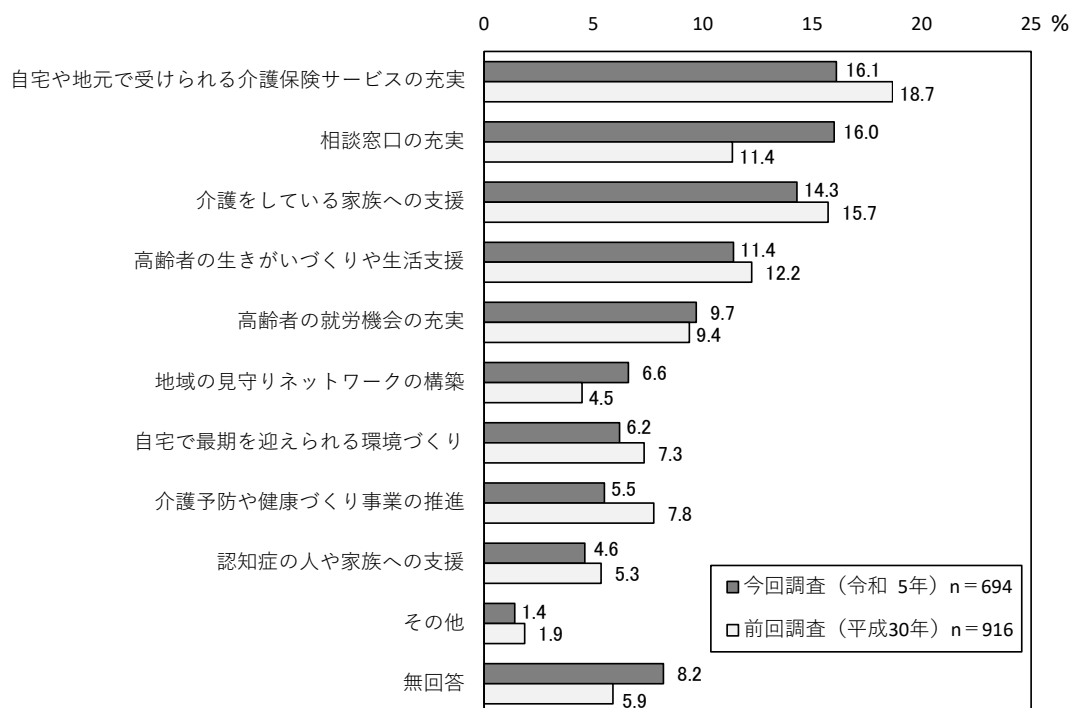


上段:人 下段:%	問18 健康で生き生きと暮らすため、町が取り組むべきサービス																
	合計	ウォーキングや軽スポーツ事業などの運動機会の充実	各種健(検)診や健康相談の充実	健康増進のための情報提供	高齢者の介護予防や自立支援事業の充実	生活習慣病予防の取組	高齢者の社会参加の促進	生涯学習関連講座など学びの場の充実	町内での各種イベントの充実	地域(行政区)イベントへの助成や地域活性化のための支援	子どもたちの心身の健康を育む学校教育の充実	子育て期における親子の交流・相談の場の充実	子どもたちが安全に遊べる場所や公園の充実	その他	特にない	無回答	
全体	694 100.0	221 31.8	324 46.7	195 28.1	303 43.7	176 25.4	200 28.8	117 16.9	121 17.4	91 13.1	227 32.7	155 22.3	296 42.7	25 3.6	56 8.1	12 1.7	
年齢	30歳代以下	156 100.0	51 32.7	75 48.1	39 25.0	45 28.8	43 27.6	32 20.5	25 16.0	39 25.0	23 14.7	70 44.9	59 37.8	90 57.7	7 4.5	18 11.5	0 0.0
	40歳代	74 100.0	22 29.7	35 47.3	14 18.9	27 36.5	18 24.3	22 29.7	15 20.3	13 17.6	8 10.8	23 31.1	12 16.2	36 48.6	4 5.4	9 12.2	0 0.0
	50歳代	78 100.0	25 32.1	34 43.6	25 32.1	40 51.3	25 32.1	21 26.9	15 19.2	17 21.8	13 16.7	30 38.5	19 24.4	30 38.5	2 2.6	9 11.5	1 1.3
	60歳代	121 100.0	33 27.3	56 46.3	31 25.6	54 44.6	32 26.4	41 33.9	15 12.4	15 12.4	16 13.2	35 28.9	26 21.5	52 43.0	4 3.3	8 6.6	5 4.1
	70歳代以上	262 100.0	90 34.4	123 46.9	85 32.4	136 51.9	57 21.8	84 32.1	47 17.9	37 14.1	31 11.8	68 26.0	38 14.5	87 33.2	8 3.1	12 4.6	5 1.9
居住地	西部地域	50 100.0	16 32.0	22 44.0	12 24.0	21 42.0	9 18.0	14 28.0	4 8.0	15 30.0	6 12.0	16 32.0	12 24.0	23 46.0	2 4.0	3 6.0	0 0.0
	中央地域	427 100.0	152 35.6	213 49.9	122 28.6	202 47.3	118 27.6	132 30.9	78 18.3	71 16.6	60 14.1	139 32.6	94 22.0	179 41.9	15 3.5	28 6.6	8 1.9
	東部地域	213 100.0	52 24.4	87 40.8	59 27.7	78 36.6	48 22.5	52 24.4	35 16.4	35 16.4	25 11.7	70 32.9	47 22.1	92 43.2	8 3.8	25 11.7	4 1.9
定住意向	住み続けたい	528 100.0	176 33.3	249 47.2	163 30.9	244 46.2	133 25.2	160 30.3	88 16.7	95 18.0	69 13.1	174 33.0	119 22.5	223 42.2	14 2.7	34 6.4	10 1.9
	転出したい	94 100.0	27 28.7	43 45.7	20 21.3	42 44.7	29 30.9	26 27.7	21 22.3	16 17.0	15 16.0	33 35.1	28 29.8	46 48.9	8 8.5	11 11.7	0 0.0
	わからない	68 100.0	15 22.1	31 45.6	12 17.6	17 25.0	14 20.6	14 20.6	8 11.8	9 13.2	6 8.8	20 29.4	8 11.8	26 38.2	3 4.4	10 14.7	2 2.9

## 8. 超高齢社会への取り組みについて

問19 あなたは、超高齢社会を支えていくために、毛呂山町が特に取り組むべきことは何だと思  
いますか。(1つだけに○)

超高齢化社会を支えていくために町が取り組むべきこととしては、「自宅や地元で受けられる介護  
保険サービスの充実」が16.1%と最も高く、次いで「相談窓口の充実」(16.0%)、「介護を  
している家族への支援」(14.3%)となっています。「相談窓口の充実」が前回比で約5%高くな  
っています。



		問19 超高齢化社会に必要な町の取り組み											
上段:人 下段:%	合計	相談窓口 の充実	高齢者の 就労機 会の充 実	介護予防 や健康 づくり 事業の 推進	自宅や地 元で受 けられ る介護 保険サ ービス の充実	介護をし ている家 族への 支援	地域の見 守りネッ トワーク の構築	認知症の 人や家族 への支援	自宅で最 期を迎え られる環 境づくり	高齢者の 生きがい づくりや 生活支援	その他	無回答	
		全体	694 100.0	111 16.0	67 9.7	38 5.5	112 16.1	99 14.3	46 6.6	32 4.6	43 6.2	79 11.4	10 1.4
年齢	30歳代以下	156 100.0	19 12.2	18 11.5	14 9.0	14 9.0	11 7.7	10 7.1	7 4.5	13 8.3	7 4.5	8 5.1	
	40歳代	74 100.0	10 13.5	12 16.2	3 4.1	11 14.9	12 16.2	7 9.5	2 2.7	5 6.8	5 6.8	1 8.1	
	50歳代	78 100.0	12 15.4	13 16.7	2 2.6	18 23.1	13 16.7	2 2.6	1 1.3	3 3.8	10 12.8	0 0.0	4 5.1
	60歳代	121 100.0	26 21.5	8 6.6	7 5.8	21 17.4	11 9.1	12 9.9	4 3.3	8 6.6	13 10.7	0 0.0	11 9.1
	70歳代以上	262 100.0	44 16.8	16 6.1	12 4.6	48 18.3	28 10.7	15 5.7	14 5.3	20 7.6	38 14.5	2 0.8	25 9.5
	居住 地域	西部地域	50 100.0	9 18.0	4 8.0	1 2.0	8 16.0	5 10.0	6 12.0	5 10.0	1 2.0	9 18.0	0 0.0
中央地域		427 100.0	64 15.0	41 9.6	33 7.7	71 16.6	58 13.6	27 6.3	22 5.2	26 6.1	47 11.0	6 1.4	32 7.5
東部地域		213 100.0	37 17.4	22 10.3	4 1.9	33 15.5	36 16.9	13 6.1	5 2.3	16 7.5	22 10.3	4 1.9	21 9.9
定住 意向	住み続けたい	528 100.0	91 17.2	53 10.0	32 6.1	86 16.3	69 13.1	33 6.3	23 4.4	36 6.8	59 11.2	6 1.1	40 7.6
	転出したい	94 100.0	12 12.8	10 10.6	4 4.3	10 10.6	20 21.3	7 7.4	4 4.3	4 4.3	14 14.9	3 3.2	6 6.4
	わからない	68 100.0	8 11.8	4 5.9	2 2.9	14 20.6	10 14.7	5 7.4	5 7.4	3 4.4	6 8.8	1 1.5	10 14.7

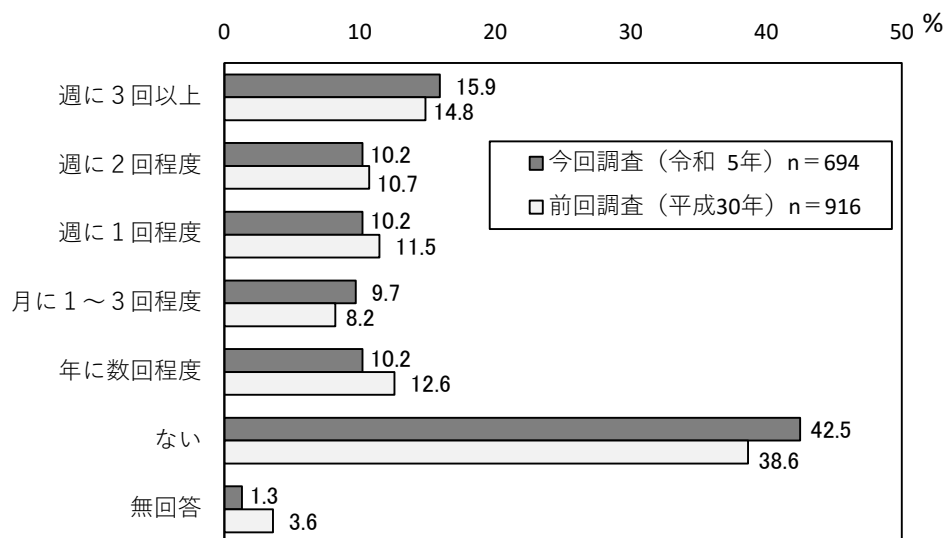


## 9. スポーツ・レクリエーション活動について

問20 あなたは、過去1年間に、スポーツ・レクリエーション活動をする機会がどのくらいありましたか。(1つだけに○)

スポーツ・レクリエーション活動の機会については、「ない」が42.5%と最も高く、次いで「週に3回以上」(15.9%)となっています。「年に数回程度」も含め、スポーツ・レクリエーション活動をしている割合は56.2%となっています。

年齢別では60歳代以上の層で比較的スポーツ・レクリエーション活動の機会が多くなっています。



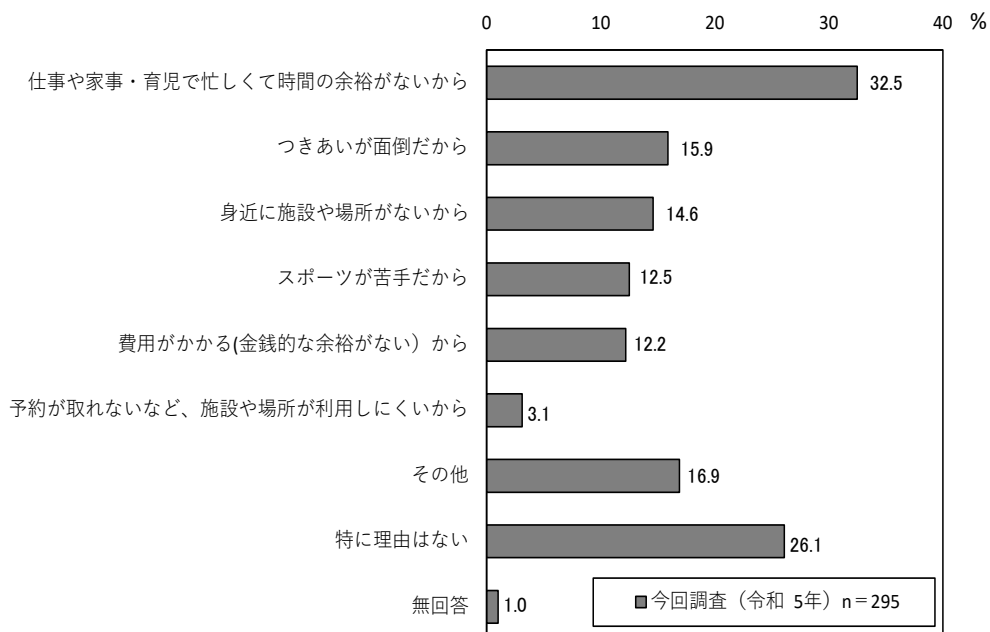
[上段:人 下段:%]		問20 過去1年間ににおけるスポーツ・レクリエーション活動の頻度							
		合計	週に3回以上	週に2回程度	週に1回程度	月に1~3回程度	年に数回程度	ない	無回答
全体		694 100.0	110 15.9	71 10.2	71 10.2	67 9.7	71 10.2	295 42.5	9 1.3
年齢	30歳代以下	156 100.0	22 14.1	13 8.3	15 9.6	17 10.9	25 16.0	64 41.0	0 0.0
	40歳代	74 100.0	5 6.8	5 6.8	8 10.8	7 9.5	12 16.2	35 47.3	2 2.7
	50歳代	78 100.0	6 7.7	6 7.7	5 6.4	13 16.7	10 12.8	38 48.7	0 0.0
	60歳代	121 100.0	21 17.4	12 9.9	14 11.6	12 9.9	11 9.1	49 40.5	2 1.7
	70歳代以上	262 100.0	56 21.4	35 13.4	29 11.1	18 6.9	13 5.0	107 40.8	4 1.5
居住地	西部地域	50 100.0	7 14.0	6 12.0	6 12.0	3 6.0	9 18.0	18 36.0	1 2.0
	中央地域	427 100.0	75 17.6	42 9.8	46 10.8	39 9.1	40 9.4	180 42.2	5 1.2
	東部地域	213 100.0	27 12.7	23 10.8	19 8.9	25 11.7	22 10.3	94 44.1	3 1.4
定住意向	住み続けたい	528 100.0	86 16.3	63 11.9	57 10.8	52 9.8	49 9.3	214 40.5	7 1.3
	転出したい	94 100.0	16 17.0	5 5.3	7 7.4	11 11.7	13 13.8	42 44.7	0 0.0
	わからない	68 100.0	8 11.8	3 4.4	7 10.3	3 4.4	8 11.8	37 54.4	2 2.9

【問20で「6」とお答えの方限定】

問20-1 あなたが、スポーツをしなかった理由（障壁になっていること）はなんですか。  
（あてはまるものすべてに○）

スポーツをしなかった理由としては、「仕事や家事・育児で忙しくて時間の余裕がないから」が32.5%で最も高く、次いで「特に理由はない」（26.1%）、「その他」（16.9%）となっています。

年齢別では、30歳代以下で「特に理由はない」、40歳代から60歳代では「仕事や家事・育児で忙しくて時間の余裕がないから」が最も高くなっています。

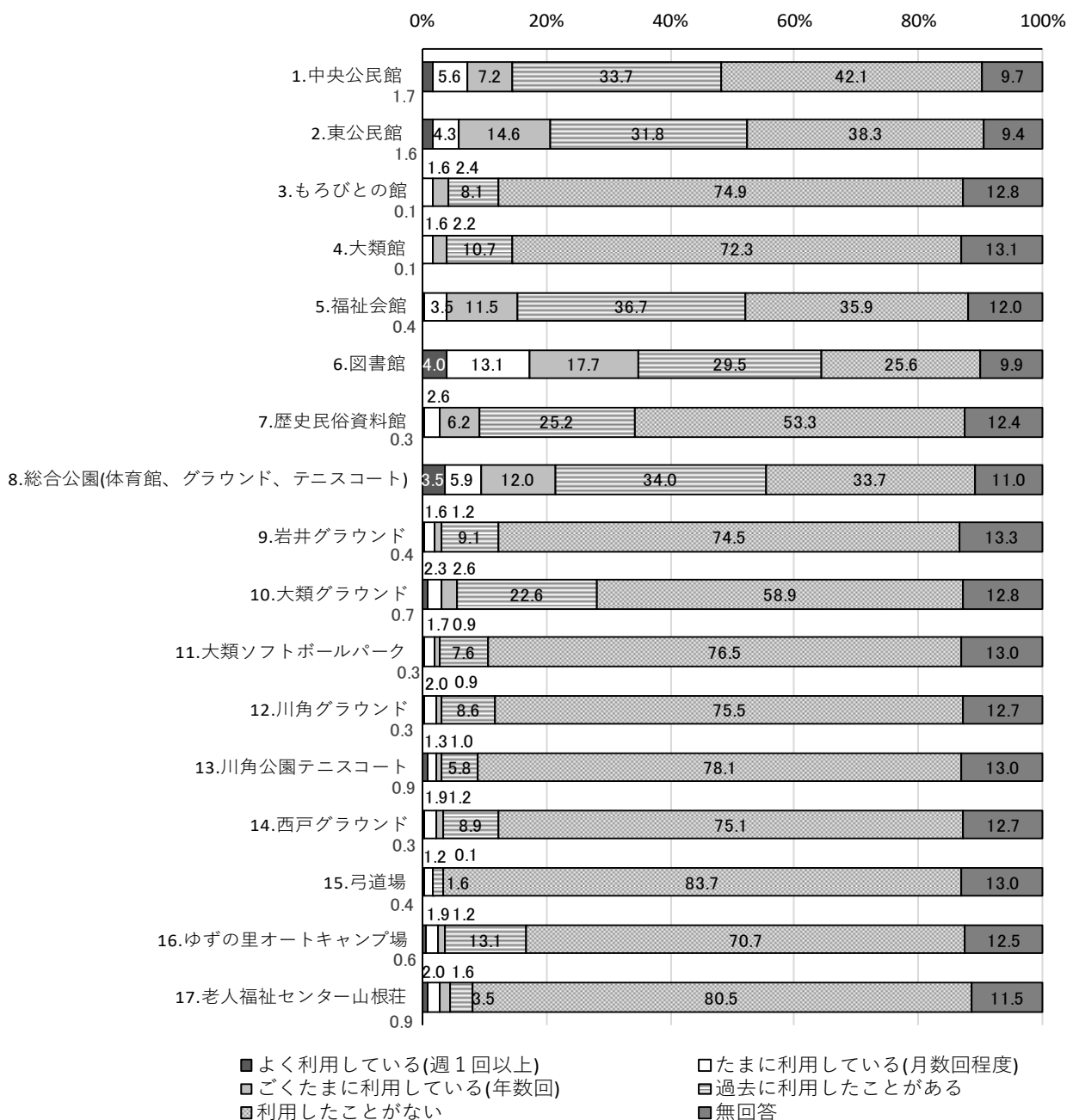


上段:人 下段:%	問20-1 スポーツをしなかった理由										
	合計	仕事や家事・育児で忙しくて時間の余裕がないから	費用がかかる(金銭的な余裕がない)から	身近に施設や場所がないから	予約が取れないなど、施設や場所が利用しにくいから	つきあいが面倒だから	スポーツが苦手だから	その他	特に理由はない	無回答	
全体	295 100.0	96 32.5	36 12.2	43 14.6	9 3.1	47 15.9	37 12.5	50 16.9	77 26.1	3 1.0	
年齢	30歳代以下	64 100.0	17 26.6	7 10.9	7 10.9	3 4.7	8 12.5	9 14.1	6 9.4	24 37.5	0 0.0
	40歳代	35 100.0	22 62.9	10 28.6	6 17.1	1 2.9	7 20.0	4 11.4	2 5.7	6 17.1	0 0.0
	50歳代	38 100.0	21 55.3	8 21.1	5 13.2	0 0.0	9 23.7	5 13.2	2 5.3	6 15.8	0 0.0
	60歳代	49 100.0	18 36.7	3 6.1	7 14.3	3 6.1	4 8.2	7 14.3	10 20.4	12 24.5	0 0.0
	70歳代以上	107 100.0	17 15.9	8 7.5	18 16.8	2 1.9	19 17.8	12 11.2	30 28.0	28 26.2	3 2.8
居住地域	西部地域	18 100.0	6 33.3	1 5.6	0 0.0	1 5.6	0 0.0	2 11.1	4 22.2	6 33.3	0 0.0
	中央地域	180 100.0	55 30.6	22 12.2	24 13.3	3 1.7	29 16.1	26 14.4	38 21.1	44 24.4	2 1.1
	東部地域	94 100.0	33 35.1	13 13.8	18 19.1	5 5.3	18 19.1	8 8.5	8 8.5	26 27.7	1 1.1
定住意向	住み続けたい	214 100.0	66 30.8	24 11.2	32 15.0	3 1.4	31 14.5	30 14.0	37 17.3	60 28.0	1 0.5
	転出したい	42 100.0	21 50.0	9 21.4	7 16.7	1 2.4	9 21.4	1 2.4	5 11.9	8 19.0	1 2.4
	わからない	37 100.0	9 24.3	3 8.1	4 10.8	5 13.5	7 18.9	6 16.2	8 21.6	7 18.9	1 2.7

## 10. 公共施設について

問21 あなたは、公共施設をどのくらい利用していますか。対象施設ごとに「①利用頻度」から1つ選び、番号に○をつけてください。

「よく利用している」「たまに利用している」「ごくたまに利用している」を合わせて、最も利用されている施設は「6.図書館」で34.8%、次いで「8.総合公園(体育館、グラウンド、テニスコート)」(21.4%)、「2.東公民館」(20.5%)となっています。「利用したことがない」は、特定の人  
が利用する施設もありますが、「15.弓道場」が83.7%で最も高く、次いで「17.老人福祉センター山根荘」(80.5%)、「13.川角公園テニスコート」(78.1%)となっています。

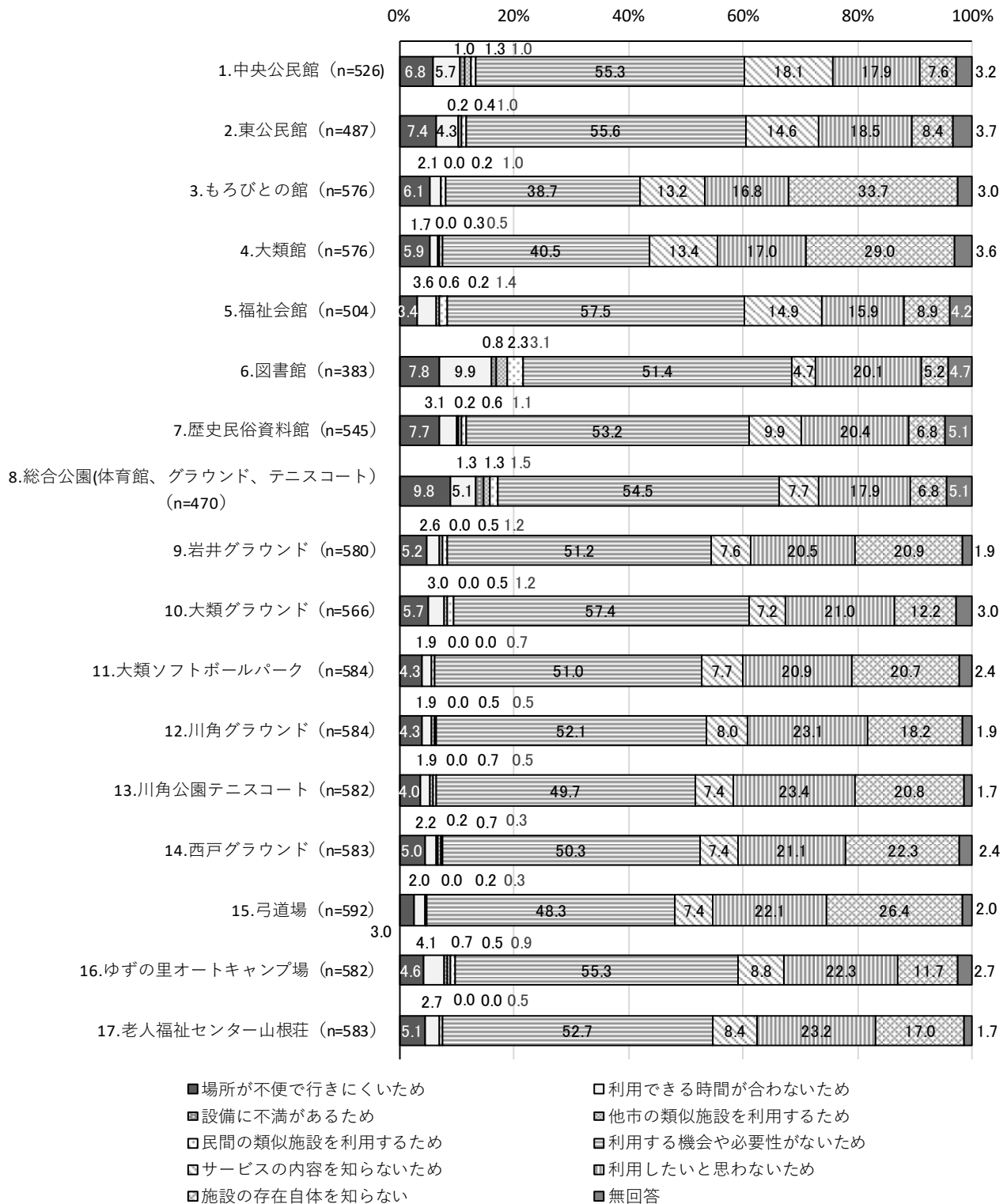


【「①利用頻度」で「4」または「5」を選択した方限定】

問21 ②利用しない理由からその理由を選んで、番号に○をつけてください。

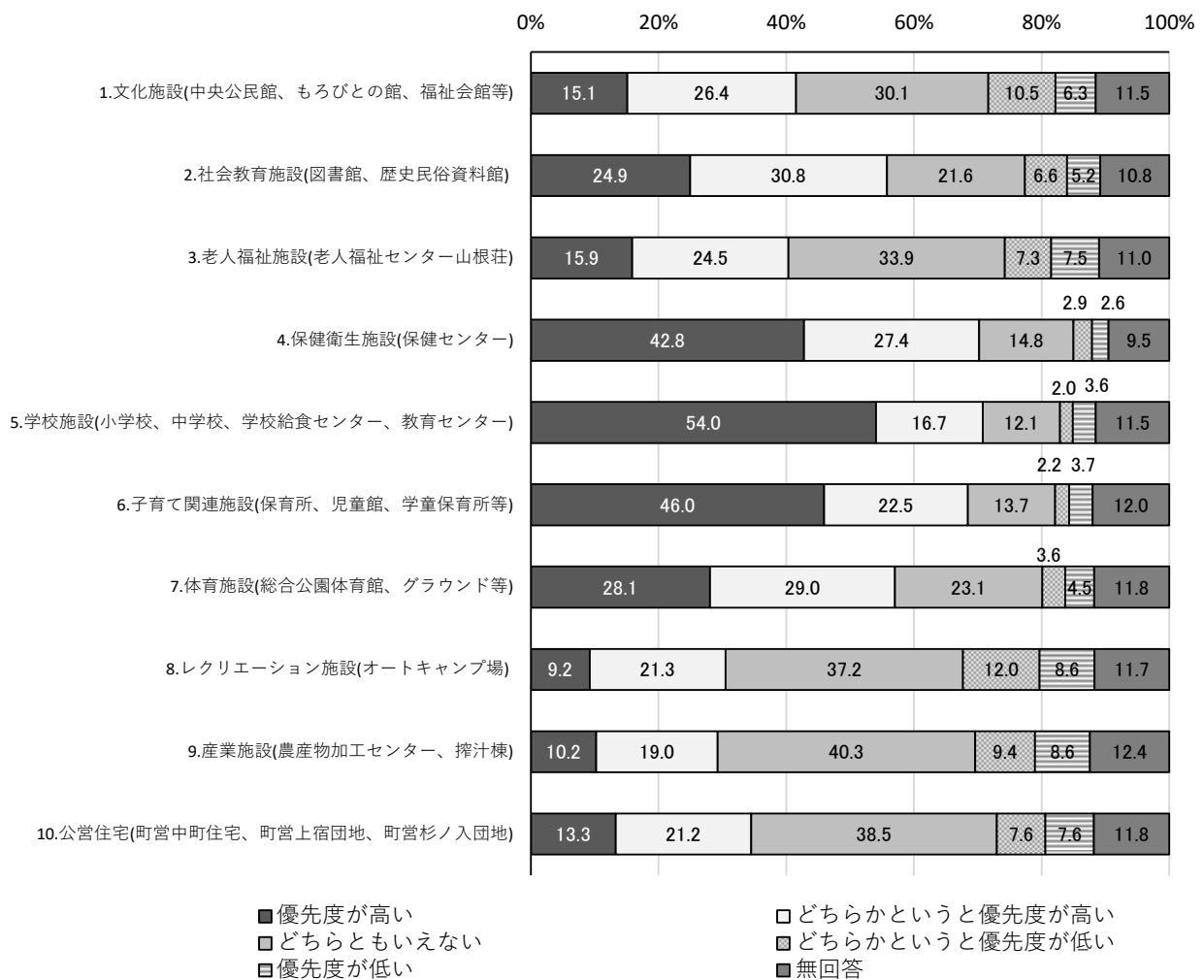
(あてはまるものすべてに○)

利用しない理由としては、全ての施設において「利用する機会や必要性がないため」が最も高く50%前後、「利用したいと思わないため」が20%前後、「サービスの内容を知らないため」では中央公民館や東公民館、もろびとの館、大類館、福祉会館の割合が比較的高く、「施設の存在自体を知らない」は、もろびとの館、大類館、弓道場で比較的高くなっています。

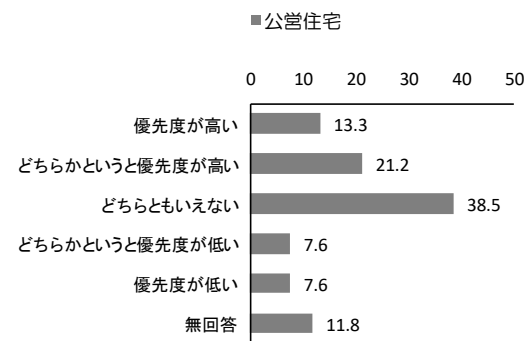
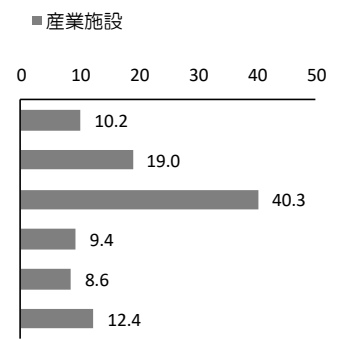
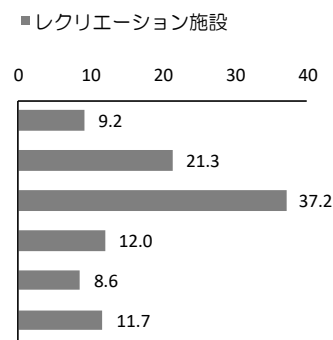
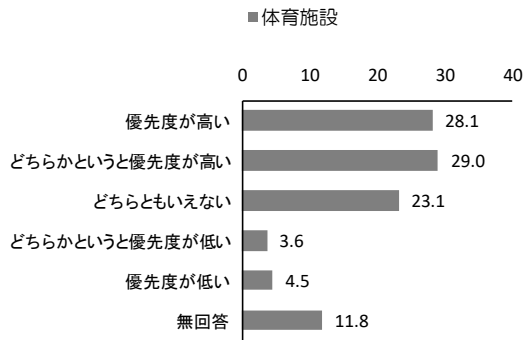
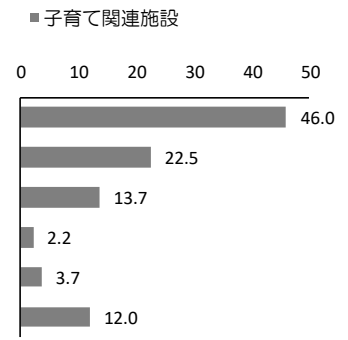
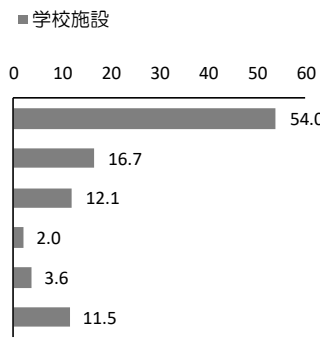
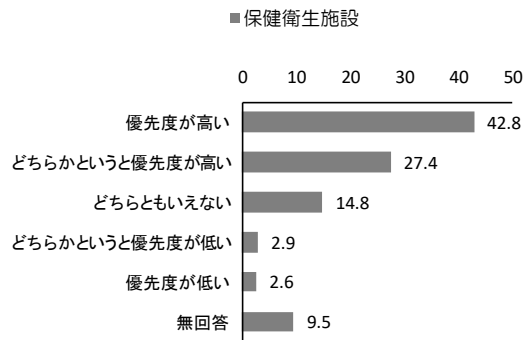
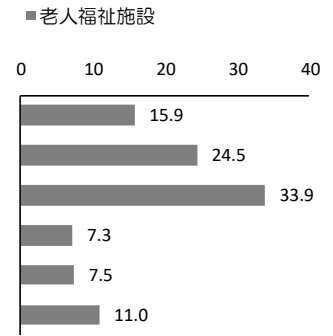
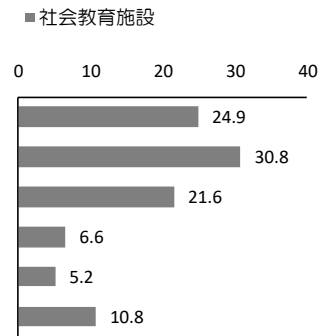
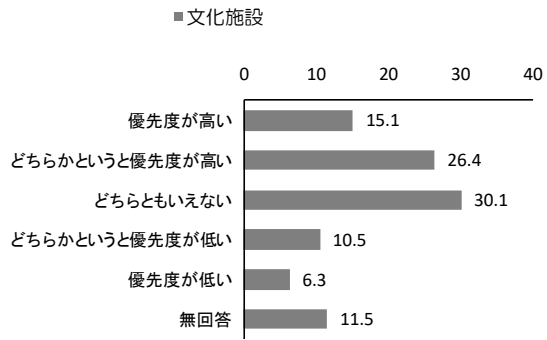


問22 毛呂山町が将来にわたって、公共施設を存続していくにあたり、あなたは、それぞれの施設の存続させるべき優先度（高い・低い）をどのように考えますか。  
対象施設分類ごとに、あなたの考えに近いものを1つ選び、番号に〇をつけてください。

「どちらかというと優先度が高い」を含めた「優先度が高い」公共施設としては、「5.学校施設(小学校、中学校、学校給食センター、教育センター)」が70.7%で最も高く、次いで「4.保健衛生施設(保健センター)」(70.2%)、「6.子育て関連施設(保育所、児童館、学童保育所等)」(68.5%)となっています。「どちらかというと優先度が低い」を含めた「優先度が低い」施設としては「8.レクリエーション施設(オートキャンプ場)」が20.6%で最も高く、次いで「9.産業施設(農産物加工センター、搾汁棟)」(18.0%)となっています。



## 【優先度】



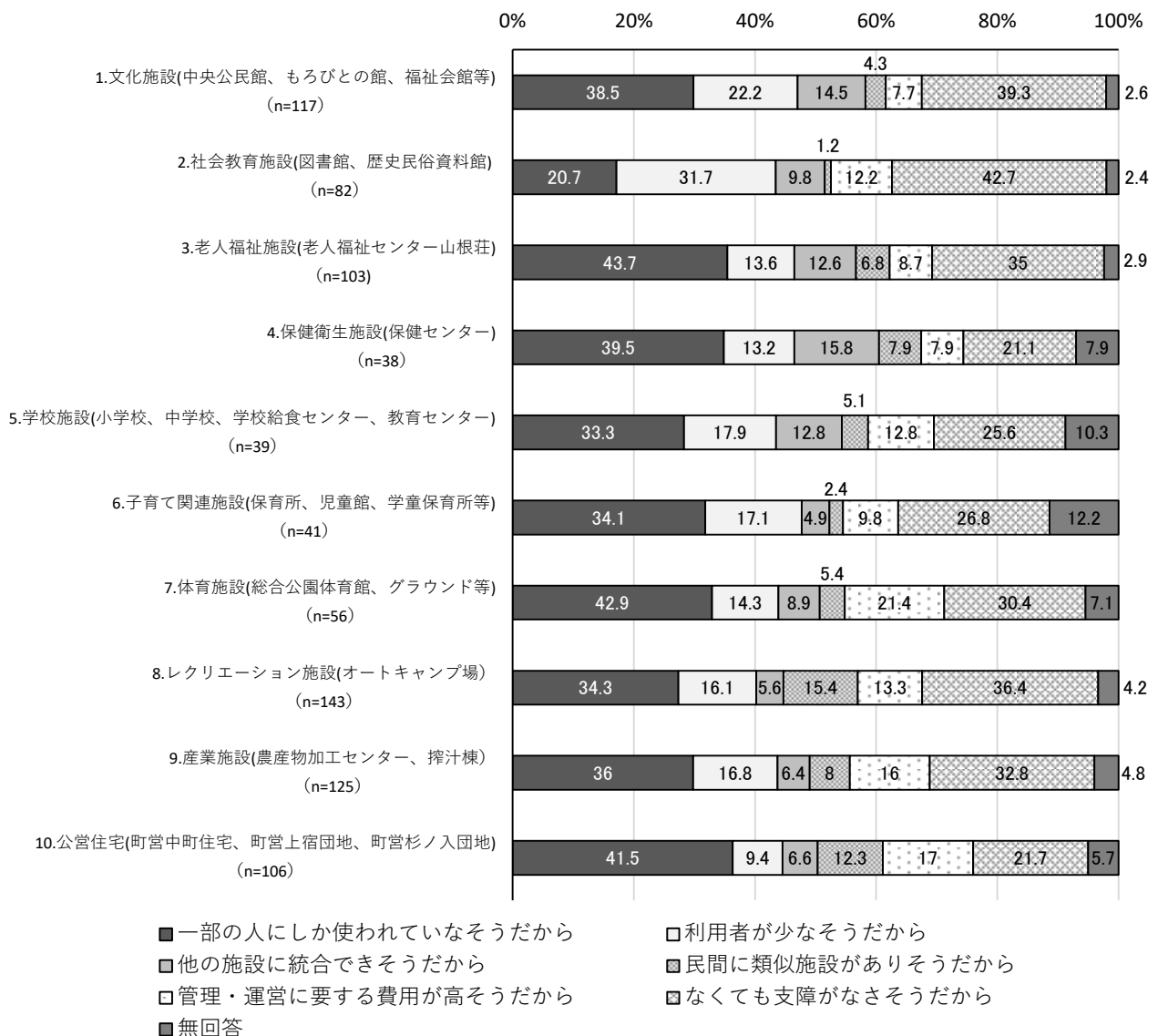
【「①優先度」で「4」または「5」を選択した方限定】

問22 ②優先度が低い理由から、その理由を2つまで選び、番号に○をつけてください。

「どちらかというと優先度が低い」「優先度が低い」と回答した人の理由としては、「一部の人にしか使われていなそうだから」や「なくても支障がなさそうだから」の割合が比較的高くなっています。

特に「一部の人にしか使われていなそうだから」では、「3.老人福祉施設(老人福祉センター山根荘)」(43.7%)や「7.体育施設(総合公園体育館、グラウンド等)」(42.9%)の割合が高く、「なくても支障がなさそうだから」では、「2.社会教育施設(図書館、歴史民俗資料館)」(42.7%)や「1.文化施設(中央公民館、もろびとの館、福祉会館等)」(39.3%)が高くなっています。

「利用者が少なそうだから」では「2.社会教育施設(図書館、歴史民俗資料館)」(31.7%)、「他の施設に統合できそうだから」では「4.保健衛生施設(保健センター)」(13.2%)、「民間に類似施設がありそうだから」では「8.レクリエーション施設(オートキャンプ場)」(13.3%)、「管理・運営に要する費用が高そうだから」では「7.体育施設(総合公園体育館、グラウンド等)」(21.4%)が高くなっています。

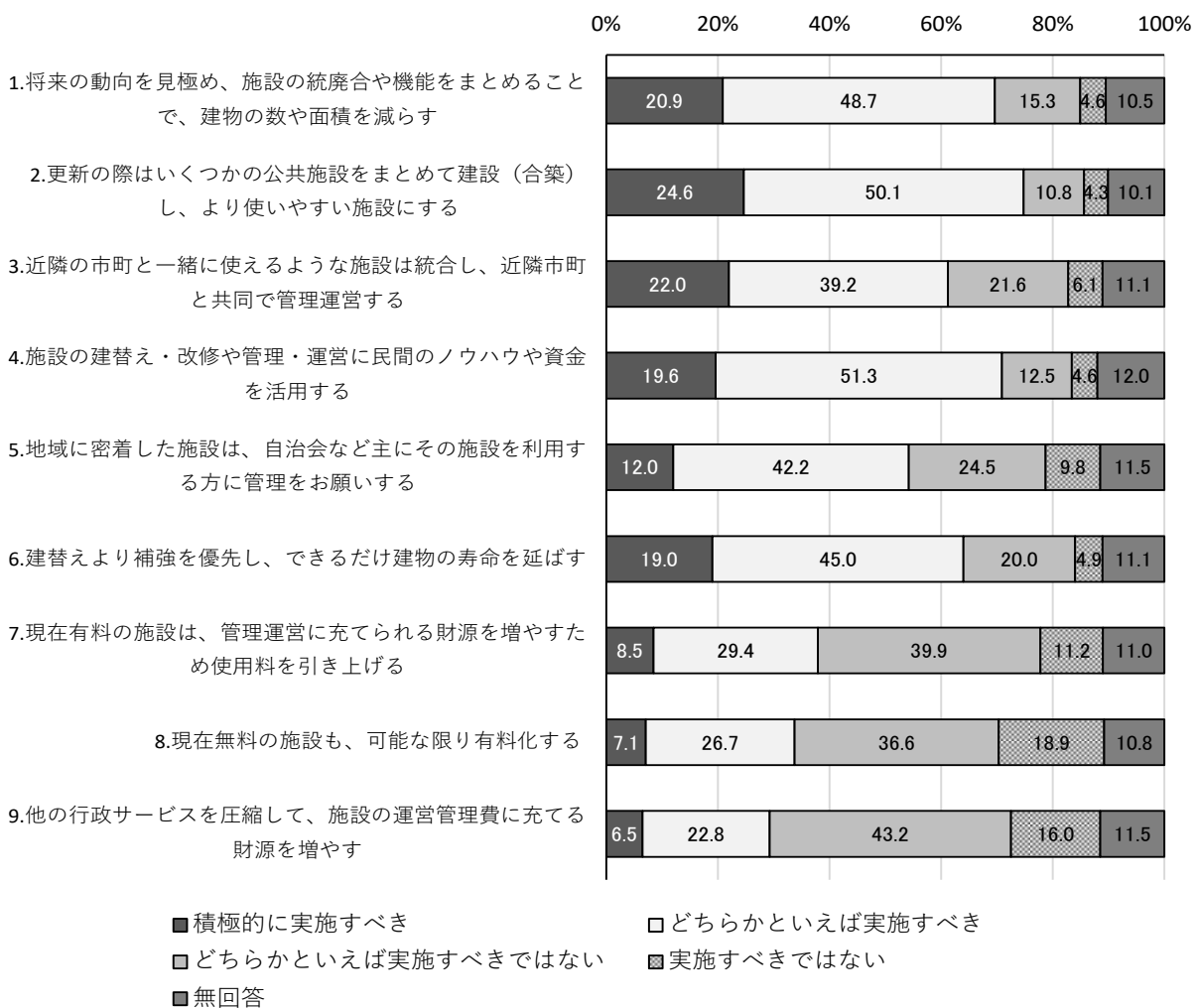


問23 将来も安全で使いやすい施設を提供していくためには、公共施設の総合的、長期的な保全・活用の方策を検討していく必要があります。下表の方策はその一例ですが、あなたは、各方針についてどのように考えますか。それぞれの方策ごとに、あなたの考えに近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

※注）統廃合：公共施設の統合と廃止。組織や施設などを廃止したり、統合したりすることです。

公共施設の総合的、長期的な保全・活用のために実施すべき方策として、「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」を合わせた「実施すべき」の割合が高い方策は「2.更新の際はいくつかの施設をまとめて建設（合築）し、より使いやすい施設にする」が最も高く74.7%、次いで「4.施設の建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する」（70.9%）となっています。

一方、「どちらかというとなしでいい」と「実施すべきでない」を合わせた「実施すべきでない」の割合が高い方策は、「9.他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を増やす」が59.2%で最も高く、次いで「8.現在無料の施設も、可能な限り有料化する」（55.5%）、「7.現在有料の施設は、管理運営に充てられる財源を増やすため使用料を引き上げる」（51.1%）となっています。





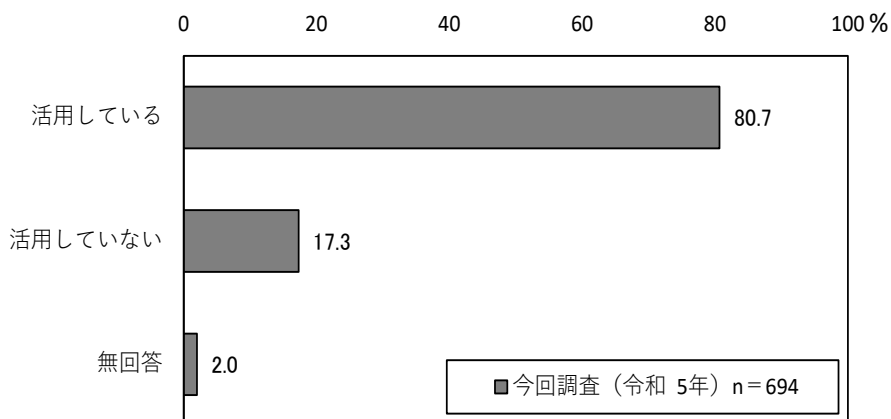
## 11. ICTの活用状況などについて

問24 あなたは、ICT（パソコンや携帯電話など）機器を活用していますか。

（1つだけに○）

ICT機器の活用状況では、活用している割合が80.7%となっています。

30歳代以下では94.2%、70歳以上でも66.4%が活用しています。

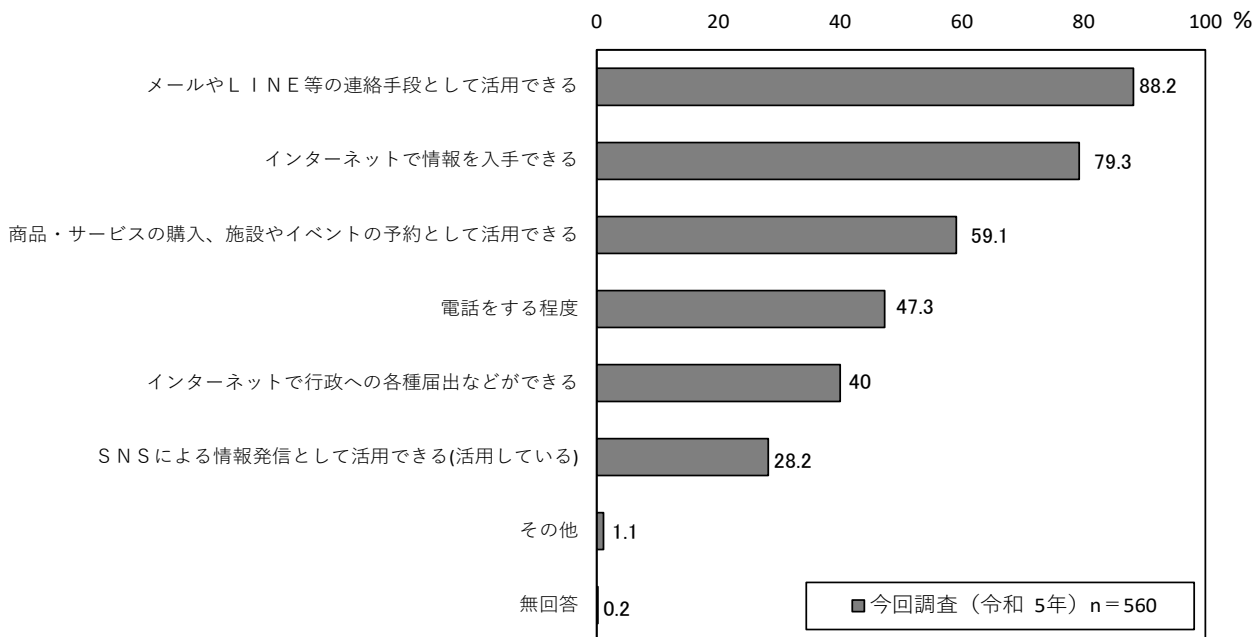


[上段:人 下段:%]		問24 ICTの活用状況			
		合計	活用して いる	活用して いない	無回答
全体		694 100.0	560 80.7	120 17.3	14 2.0
年齢	30歳代以下	156 100.0	147 94.2	8 5.1	1 0.6
	40歳代	74 100.0	68 91.9	4 5.4	2 2.7
	50歳代	78 100.0	71 91.0	6 7.7	1 1.3
	60歳代	121 100.0	99 81.8	19 15.7	3 2.5
	70歳代以上	262 100.0	174 66.4	81 30.9	7 2.7
	居住 地域	西部地域	50 100.0	40 80.0	8 16.0
中央地域		427 100.0	343 80.3	78 18.3	6 1.4
東部地域		213 100.0	176 82.6	31 14.6	6 2.8
定住 意向	住み続けたい	528 100.0	423 80.1	94 17.8	11 2.1
	転出したい	94 100.0	81 86.2	13 13.8	0 0.0
	わからない	68 100.0	53 77.9	12 17.6	3 4.4

【問24で「1」とお答えの方限定】

問24-1 あなたは、どの程度ICT機器を活用できますか。(あてはまるものすべてに○)

ICTを活用している人の活用の程度では、「メールやLINE等の連絡手段として活用できる」割合が88.2%、「インターネットで情報を入手できる」(79.3%)に対し、「インターネットで行政への各種届出などができる」は40.0%でした。若い世代で活用の程度は高くなっています。

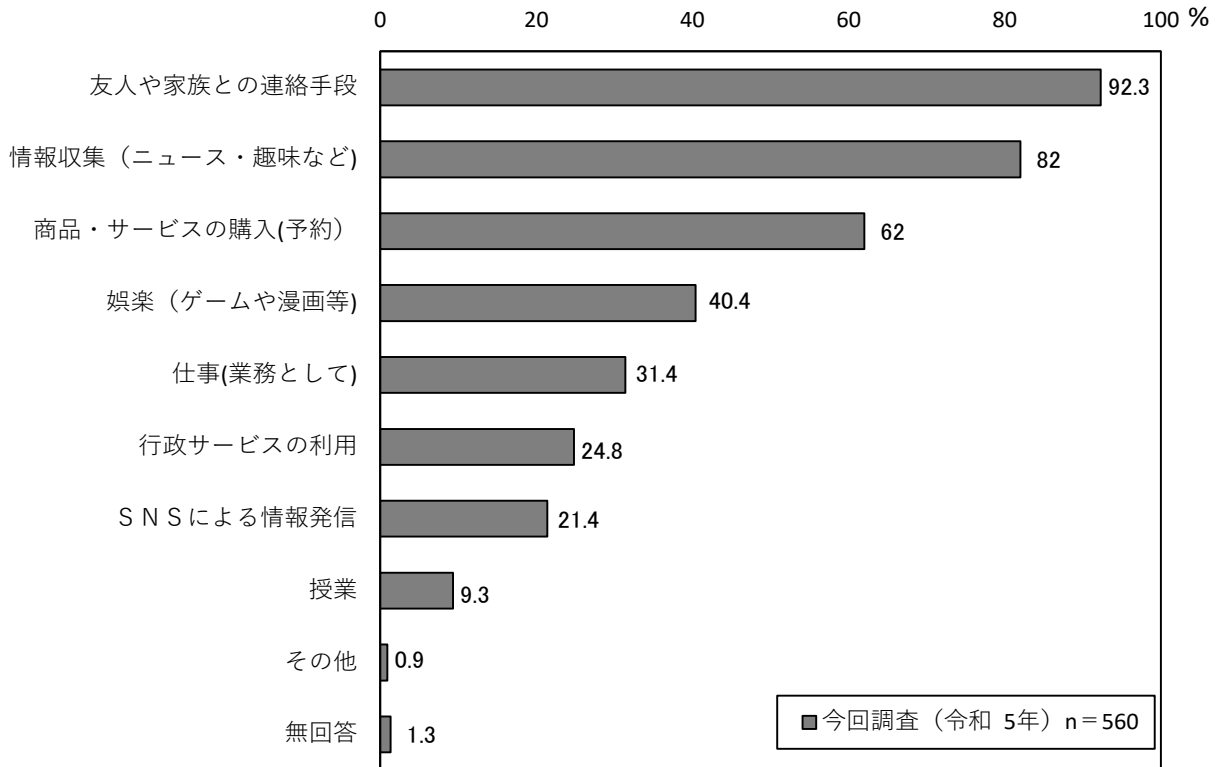


[上段:人 下段:%]		問4-1 ICTをどの程度活用できるか								
		合計	電話をする程度	メールやLINE等の連絡手段として活用できる	インターネットで情報を入手できる	インターネットで行政への各種届出などができる	商品・サービスの購入、施設やイベントの予約として活用できる	SNSによる情報発信として活用できる(活用している)	その他	無回答
全体		560 100.0	265 47.3	494 88.2	444 79.3	224 40.0	331 59.1	158 28.2	6 1.1	1 0.2
年齢	30歳代以下	147 100.0	58 39.5	141 95.9	135 91.8	81 55.1	122 83.0	86 58.5	3 2.0	0 0.0
	40歳代	68 100.0	28 41.2	64 94.1	61 89.7	34 50.0	48 70.6	17 25.0	1 1.5	0 0.0
	50歳代	71 100.0	32 45.1	63 88.7	63 88.7	34 47.9	47 66.2	22 31.0	0 0.0	0 0.0
	60歳代	99 100.0	50 50.5	85 85.9	79 79.8	35 35.4	50 50.5	17 17.2	0 0.0	0 0.0
	70歳代以上	174 100.0	96 55.2	140 80.5	105 60.3	39 22.4	64 36.8	16 9.2	2 1.1	1 0.6
	居住地域	西部地域	40 100.0	21 52.5	36 90.0	36 90.0	15 37.5	19 47.5	8 20.0	0 0.0
中央地域		343 100.0	158 46.1	297 86.6	267 77.8	141 41.1	210 61.2	107 31.2	5 1.5	1 0.3
東部地域		176 100.0	85 48.3	160 90.9	140 79.5	67 38.1	102 58.0	43 24.4	1 0.6	0 0.0
定住意向	住み続けたい	423 100.0	202 47.8	370 87.5	335 79.2	163 38.5	243 57.4	112 26.5	4 0.9	1 0.2
	転出したい	81 100.0	33 40.7	77 95.1	70 86.4	40 49.4	56 69.1	37 45.7	1 1.2	0 0.0
	わからない	53 100.0	28 52.8	45 84.9	39 73.6	21 39.6	32 60.4	9 17.0	1 1.9	0 0.0

問24-2 あなたは、特にどのような目的でICT機器を活用していますか。

(あてはまるものすべてに○)

ICTを活用している人の活用目的としては、「友人や家族との連絡手段」が最も高く92.3%、次いで「情報収集（ニュース・趣味など）」（82.0%）となっており、「行政サービスの利用」は24.8%となっています。

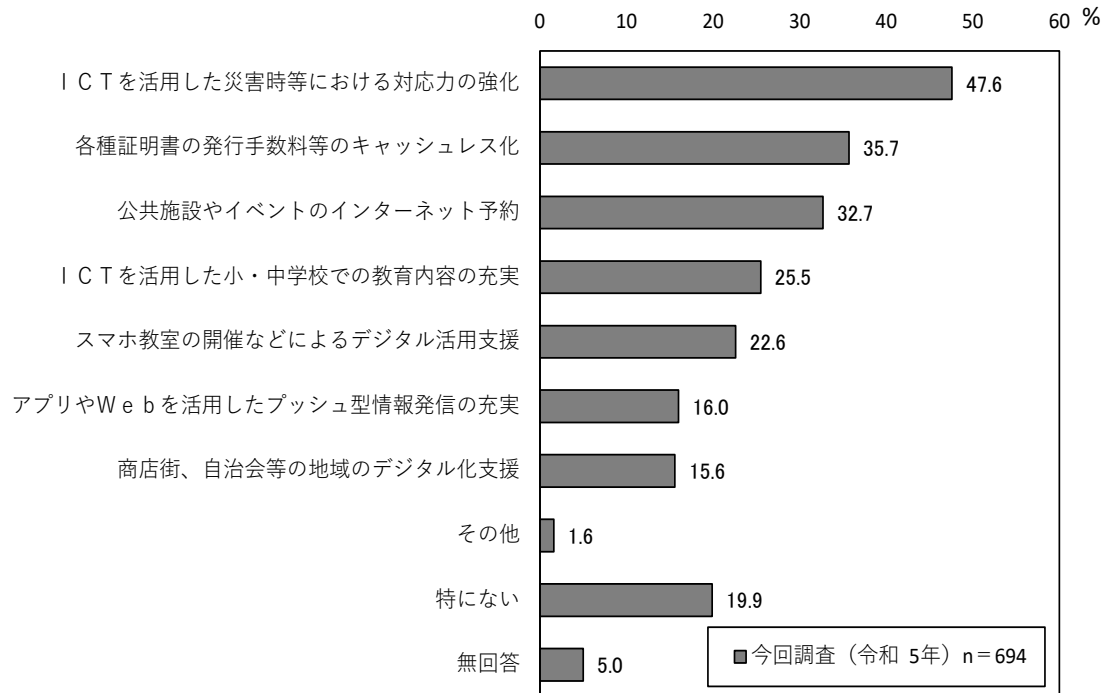


[上段:人 下段:%]		問24-2 ICTの活用目的											
		合計	友人や家族との連絡手段	情報収集（ニュース・趣味など）	商品・サービスの購入(予約)	仕事(業務として)	授業	SNSによる情報発信	娯楽（ゲームや漫画等）	行政サービスの利用	その他	無回答	
全体	人数	560	517	459	347	176	52	120	226	139	5	7	
	割合	100.0	92.3	82.0	62.0	31.4	9.3	21.4	40.4	24.8	0.9	1.3	
年齢	30歳代以下	人数	147	139	126	119	57	42	68	111	44	0	0
		割合	100.0	94.6	85.7	81.0	38.8	28.6	46.3	75.5	29.9	0.0	0.0
	40歳代	人数	68	65	63	55	36	7	15	35	22	2	0
		割合	100.0	95.6	92.6	80.9	52.9	10.3	22.1	51.5	32.4	2.9	0.0
	50歳代	人数	71	67	67	55	32	0	14	30	16	0	0
		割合	100.0	94.4	94.4	77.5	45.1	0.0	19.7	42.3	22.5	0.0	0.0
60歳代	人数	99	91	77	53	33	1	14	21	24	1	1	
	割合	100.0	91.9	77.8	53.5	33.3	1.0	14.1	21.2	24.2	1.0	1.0	
70歳代以上	人数	174	155	126	65	18	2	9	29	33	2	5	
	割合	100.0	89.1	72.4	37.4	10.3	1.1	5.2	16.7	19.0	1.1	2.9	
居住地	西部地域	人数	40	37	32	19	11	3	7	11	8	1	0
		割合	100.0	92.5	80.0	47.5	27.5	7.5	17.5	27.5	20.0	2.5	0.0
	中央地域	人数	343	316	286	213	105	30	78	132	84	3	6
割合		100.0	92.1	83.4	62.1	30.6	8.7	22.7	38.5	24.5	0.9	1.7	
東部地域	人数	176	164	141	115	60	19	35	83	47	1	0	
	割合	100.0	93.2	80.1	65.3	34.1	10.8	19.9	47.2	26.7	0.6	0.0	
定住意向	住み続けたい	人数	423	385	351	258	131	30	84	159	101	4	5
		割合	100.0	91.0	83.0	61.0	31.0	7.1	19.9	37.6	23.9	0.9	1.2
	転出したい	人数	81	79	68	58	28	19	31	45	29	1	0
割合		100.0	97.5	84.0	71.6	34.6	23.5	38.3	55.6	35.8	1.2	0.0	
わからない	人数	53	51	39	31	17	3	5	22	9	0	1	
	割合	100.0	96.2	73.6	58.5	32.1	5.7	9.4	41.5	17.0	0.0	1.9	

問25 毛呂山町では、令和4年度に策定した「毛呂山町DX推進計画」に基づき行政手続き等のオンライン化等デジタル化を推進しています。毛呂山町がデジタル化を進める上で力を入れてほしい取り組みは、次のどれですか。（あてはまるものすべてに○）

デジタル化を進める上で力を入れてほしい取り組みとしては、「ICTを活用した災害時等における対応力の強化」が47.6%で最も高く、次いで「各種証明書の発行手数料等のキャッシュレス化」（35.7%）、「公共施設やイベントのインターネット予約」（32.7%）となっています。

40歳代以下の子育て世代では「ICTを活用した小・中学校での教育内容の充実」、60歳代以上では「スマホ教室の開催などによるデジタル活用支援」の割合が比較的高くなっています。



[ 上段:人 下段:% ]	問25 デジタル化で力を入れてほしい取り組み											
	合計	各種証明書の発行手数料等のキャッシュレス化	ICTを活用した災害時等における対応力の強化	公共施設やイベントのインターネット予約	スマホ教室の開催などによるデジタル活用支援	アプリやWebを活用したプッシュ型情報発信の充実	商店街、自治会等の地域のデジタル化支援	ICTを活用した小・中学校での教育内容の充実	その他	特にない	無回答	
全体	694 100.0	248 35.7	330 47.6	227 32.7	157 22.6	111 16.0	108 15.6	177 25.5	11 1.6	138 19.9	35 5.0	
年齢	30歳代以下	156 100.0	77 49.4	84 53.8	81 51.9	23 14.7	42 26.9	37 23.7	60 38.5	2 1.3	18 11.5	2 1.3
	40歳代	74 100.0	36 48.6	44 59.5	30 40.5	13 17.6	16 21.6	14 18.9	29 39.2	2 2.7	10 13.5	1 1.4
	50歳代	78 100.0	32 41.0	46 59.0	34 43.6	11 14.1	16 20.5	12 15.4	21 26.9	2 2.6	16 20.5	2 2.6
	60歳代	121 100.0	47 38.8	59 48.8	37 30.6	27 22.3	12 9.9	15 12.4	24 19.8	2 1.7	26 21.5	7 5.8
	70歳代以上	262 100.0	56 21.4	97 37.0	45 17.2	83 31.7	25 9.5	30 11.5	43 16.4	3 1.1	66 25.2	22 8.4
	居住地域	西部地域	50 100.0	17 34.0	26 52.0	11 22.0	13 26.0	9 18.0	5 10.0	14 28.0	1 2.0	7 14.0
中央地域		427 100.0	149 34.9	202 47.3	144 33.7	96 22.5	70 16.4	65 15.2	106 24.8	6 1.4	82 19.2	25 5.9
東部地域		213 100.0	82 38.5	102 47.9	72 33.8	48 22.5	32 15.0	38 17.8	57 26.8	4 1.9	45 21.1	5 2.3
定住意向	住み続けたい	528 100.0	179 33.9	243 46.0	164 31.1	121 22.9	79 15.0	78 14.8	133 25.2	6 1.1	105 19.9	31 5.9
	転出したい	94 100.0	47 50.0	54 57.4	38 40.4	26 27.7	26 27.7	23 24.5	30 31.9	3 3.2	14 14.9	0 0.0
	わからない	68 100.0	22 32.4	32 47.1	25 36.8	10 14.7	6 8.8	7 10.3	13 19.1	2 2.9	18 26.5	2 2.9

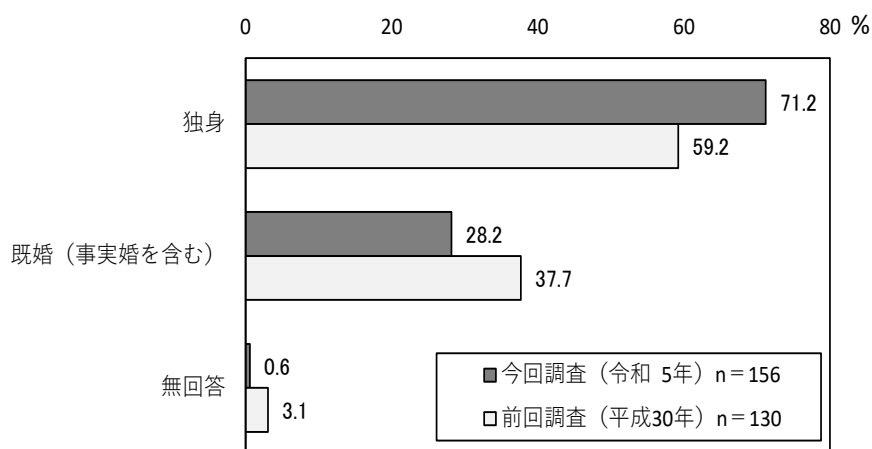
## 12. 18歳～39歳の方への設問

### 【結婚について】

問26 あなたは、現在、結婚していますか。(1つだけに〇)

18歳から39歳の方の婚姻状況では、71.2%の人が「独身」となっています。  
中央地域では76.0%、転出意向の人では87.2%が「独身」となっています。

※ (前回 10歳代： 9人、20歳代：53人、30歳代：68人、合計：130人)  
(今回 10歳代：38人、20歳代：56人、30歳代：63人、合計：157人)

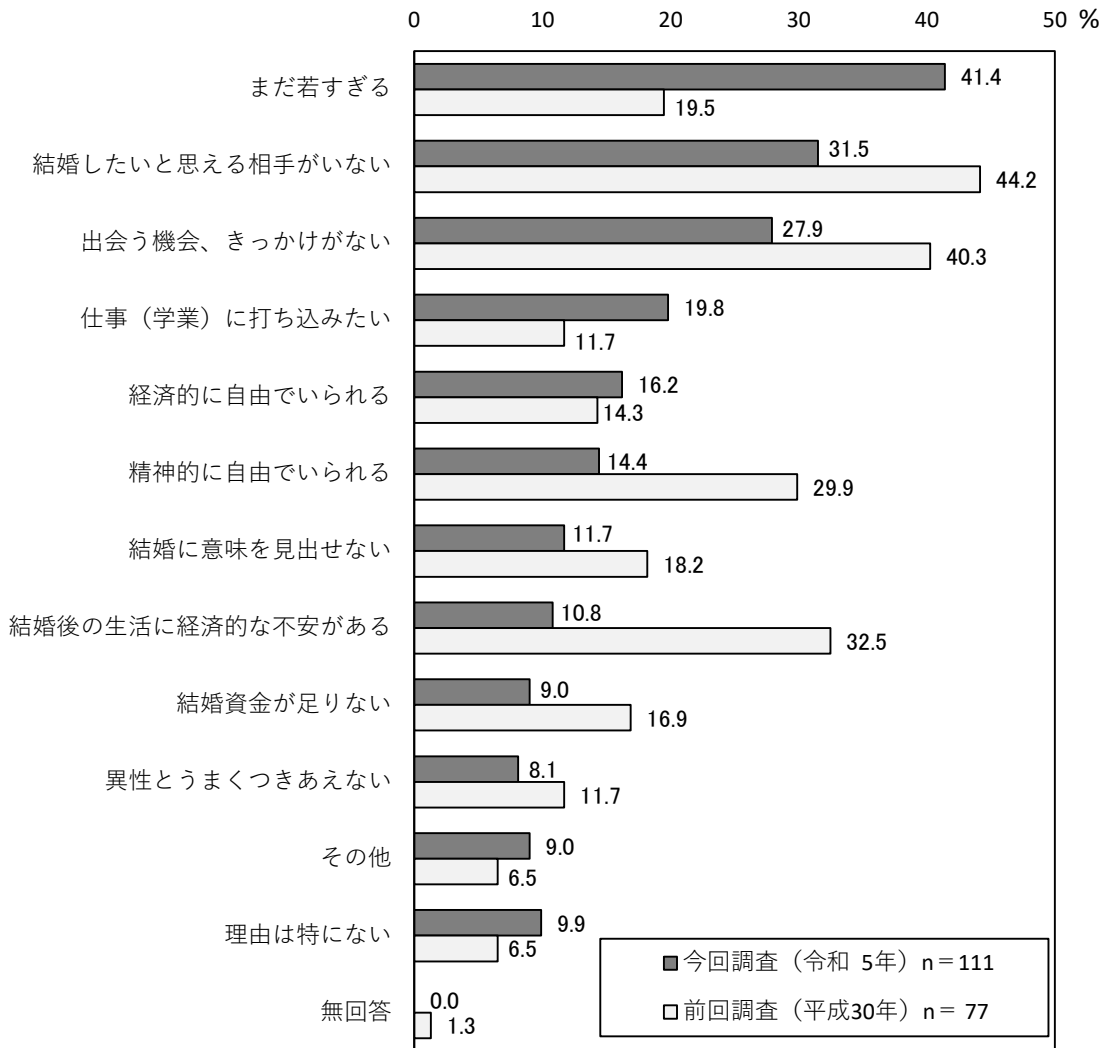


[上段:人] [下段:%]		問26 現在の結婚状況			
		合計	独身	既婚(事実婚を含む)	無回答
全体		156 100.0	111 71.2	44 28.2	1 0.6
居住地	西部地域	8 100.0	4 50.0	4 50.0	0 0.0
	中央地域	96 100.0	73 76.0	22 22.9	1 1.0
	東部地域	52 100.0	34 65.4	18 34.6	0 0.0
定住意向	住み続けたい	98 100.0	63 64.3	34 34.7	1 1.0
	転出したい	39 100.0	34 87.2	5 12.8	0 0.0
	わからない	18 100.0	13 72.2	5 27.8	0 0.0

【問26で「1」とお答えの方限定】

問26-1 現在、結婚していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「独身」と回答した人の結婚していない理由では、「まだ若すぎる」が41.4%で最も高く、次いで「結婚したいと思える相手がない」(31.5%)、「出会う機会、きっかけがない」(27.9%)となっています。

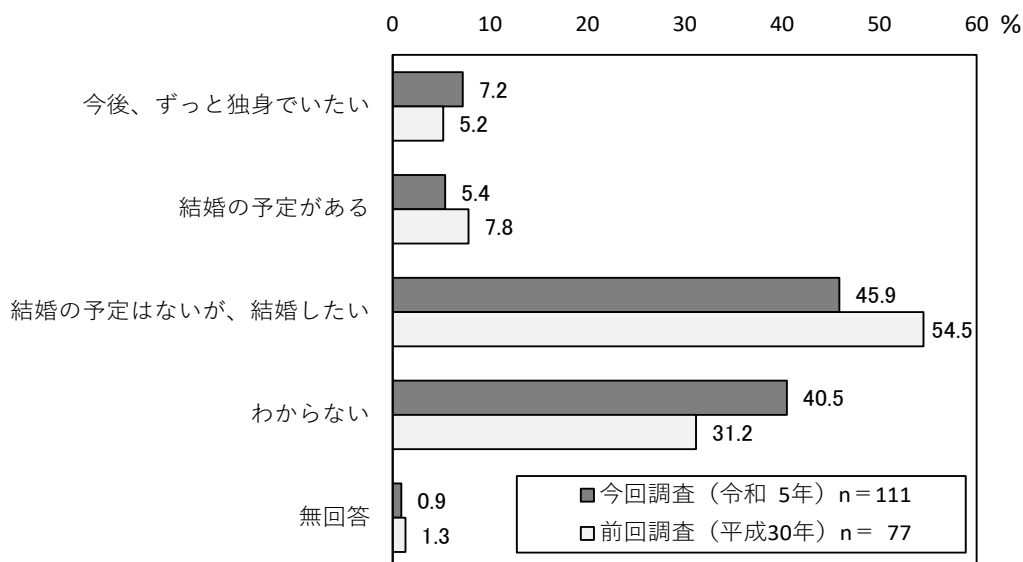


上段:人 下段:%	問26-1 結婚していない理由													
	合計	結婚したいと思える相手がない	出会う機会、きっかけがない	まだ若すぎる	結婚に意味を見出せない	異性とうまくつきあえない	精神的に自由でいられる	仕事(学業)に打ち込みたい	経済的に自由でいられる	結婚資金が足りない	結婚後の生活に経済的な不安がある	その他	理由は特にな	無回答
全体	111 100.0	35 31.5	31 27.9	46 41.4	13 11.7	9 8.1	16 14.4	22 19.8	18 16.2	10 9.0	12 10.8	10 9.0	11 9.9	0 0.0
居住地	西部地域	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	中央地域	73 100.0	26 35.6	24 32.9	26 35.6	9 12.3	9 12.3	10 13.7	12 16.4	13 17.8	6 8.2	9 12.3	7 9.6	8 11.0
	東部地域	34 100.0	8 23.5	6 17.6	18 52.9	3 8.8	0 0.0	5 14.7	9 26.5	5 14.7	3 8.8	3 8.8	3 8.8	3 8.8
定住意向	住み続けたい	63 100.0	20 31.7	17 27.0	26 41.3	7 11.1	5 7.9	9 14.3	10 15.9	8 12.7	4 6.3	6 9.5	7 11.1	6 9.5
	転出したい	34 100.0	10 29.4	7 20.6	17 50.0	4 11.8	2 5.9	4 11.8	11 32.4	7 20.6	4 11.8	2 5.9	1 2.9	2 5.9
	わからない	13 100.0	5 38.5	7 53.8	3 23.1	2 15.4	2 15.4	3 23.1	1 7.7	3 23.1	2 15.4	4 30.8	2 15.4	2 15.4

・「結婚後の生活に経済的な不安がある」、前は「家族を養うほどの収入がない」

問26-2 今後の結婚に関するあなたの希望は次のうち、どれにあてはまりますか。  
(1つだけに〇)

結婚に対する将来の希望としては、「結婚の予定はないが、結婚したい」が最も高く45.9%となっていますが、前回に比べ約9.0%低くなっています。また、「今後、ずっと独身でいたい」が2.0%増加し7.2%。「わからない」が9.3%増加し40.5%となっています。

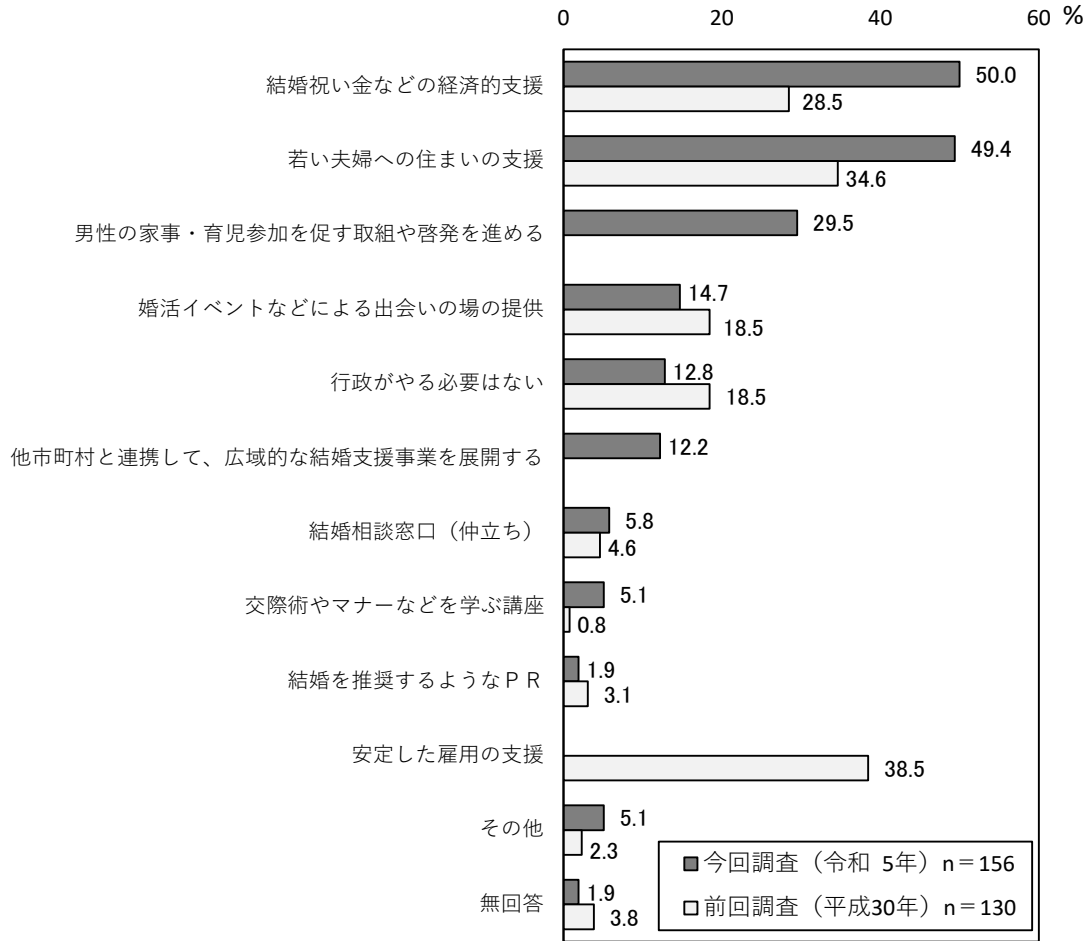


[ 上段: 人 下段: % ]		問26-2 今後の結婚に関する希望					
		合計	今後、 ずっと独 身でいた い	結婚の予 定がある	結婚の予 定はない が、結婚し たい	わから ない	無回答
全体		111 100.0	8 7.2	6 5.4	51 45.9	45 40.5	1 0.9
居住 地域	西部地域	4 100.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0
	中央地域	73 100.0	5 6.8	4 5.5	37 50.7	26 35.6	1 1.4
	東部地域	34 100.0	2 5.9	1 2.9	14 41.2	17 50.0	0 0.0
定住 意向	住み続けたい	63 100.0	2 3.2	3 4.8	31 49.2	27 42.9	0 0.0
	転出したい	34 100.0	4 11.8	2 5.9	16 47.1	12 35.3	0 0.0
	わからない	13 100.0	2 15.4	1 7.7	4 30.8	6 46.2	0 0.0

問27 行政が重点的に取り組むべき結婚支援策は何だと思えますか。(3つ以内に○)

行政が積極的に取り組むべき結婚支援策としては、「結婚祝い金などの経済的支援」が50.0%と最も高く、次いで「若い夫婦への住まいの支援」(49.4%)、「男性の家事・育児参加を促す取組や啓発を進める」(29.5%)となっています。また、「行政がやる必要はない」が12.8%となっています。

「結婚祝い金などの経済的支援」「若い夫婦への住まいの支援」ともに、前回より大きく増加しています。



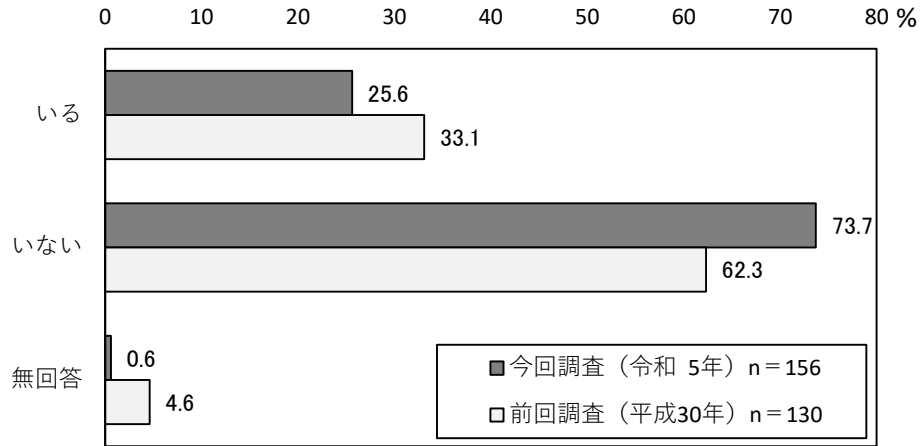
上段:人 下段:%	問27 行政が重点的に取り組むべき結婚支援策												
	合計	若い夫婦への住まいの支援	結婚祝い金などの経済的支援	婚活イベントなどによる出会いの場の提供	結婚相談窓口(仲立ち)	交際術やマナーなどを学ぶ講座	結婚を推奨するようなPR	行政がやる必要はない	男性の家事・育児参加を促す取組や啓発を進める	他市町村と連携して、広域的な結婚支援事業を展開する	その他	無回答	
全体	156 100.0	77 49.4	78 50.0	23 14.7	9 5.8	8 5.1	3 1.9	20 12.8	46 29.5	19 12.2	8 5.1	3 1.9	
居住地域	西部地域	8 100.0	4 50.0	4 50.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	5 62.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	中央地域	96 100.0	46 47.9	48 50.0	13 13.5	7 7.3	4 4.2	3 12.5	32 33.3	13 13.5	4 4.2	2 2.1	
	東部地域	52 100.0	27 51.9	26 50.0	8 15.4	2 3.8	4 7.7	0 0.0	6 11.5	9 17.3	6 11.5	4 7.7	1 1.9
定住意向	住み続けたい	98 100.0	54 55.1	56 57.1	14 14.3	7 7.1	5 5.1	3 11.2	28 28.6	10 10.2	5 5.1	1 1.0	
	転出したい	39 100.0	16 41.0	16 41.0	8 20.5	1 2.6	2 5.1	0 0.0	4 28.2	7 17.9	2 5.1	0 0.0	
	わからない	18 100.0	7 38.9	6 33.3	1 5.6	1 5.6	1 5.6	0 0.0	7 38.9	2 11.1	1 5.6	1 5.6	



【妊娠・出産・子育てについて】

問28 あなたは、現在、お子さんがいますか。(1つだけに○)

子どもが「いる」人は25.6%となっています。



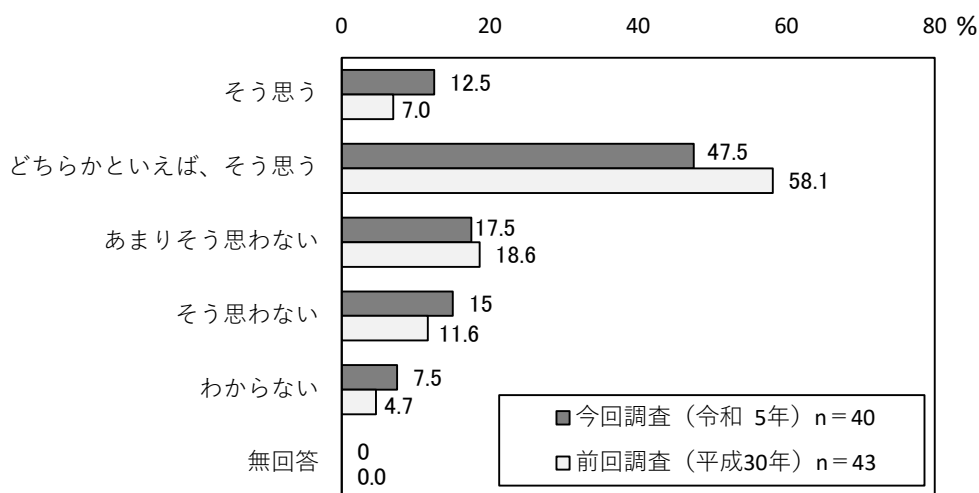
[上段:人 下段:%]		問28 子どもの有無			
		合計	いる	いない	無回答
全体		156 100.0	40 25.6	115 73.7	1 0.6
居住地	西部地域	8 100.0	3 37.5	5 62.5	0 0.0
	中央地域	96 100.0	20 20.8	75 78.1	1 1.0
	東部地域	52 100.0	17 32.7	35 67.3	0 0.0
定住意向	住み続けたい	98 100.0	30 30.6	67 68.4	1 1.0
	転出したい	39 100.0	5 12.8	34 87.2	0 0.0
	わからない	18 100.0	5 27.8	13 72.2	0 0.0

【問28で「1」とお答えの方限定】

問28-1 毛呂山町は子育てがしやすいまちだと思いますか。(1つだけに○)

子育てしやすいまちについては、「そう思う」(12.5%)と「どちらかといえば、そう思う」(47.5%)を合わせて、60.0%の人が「そう思う」となっています。

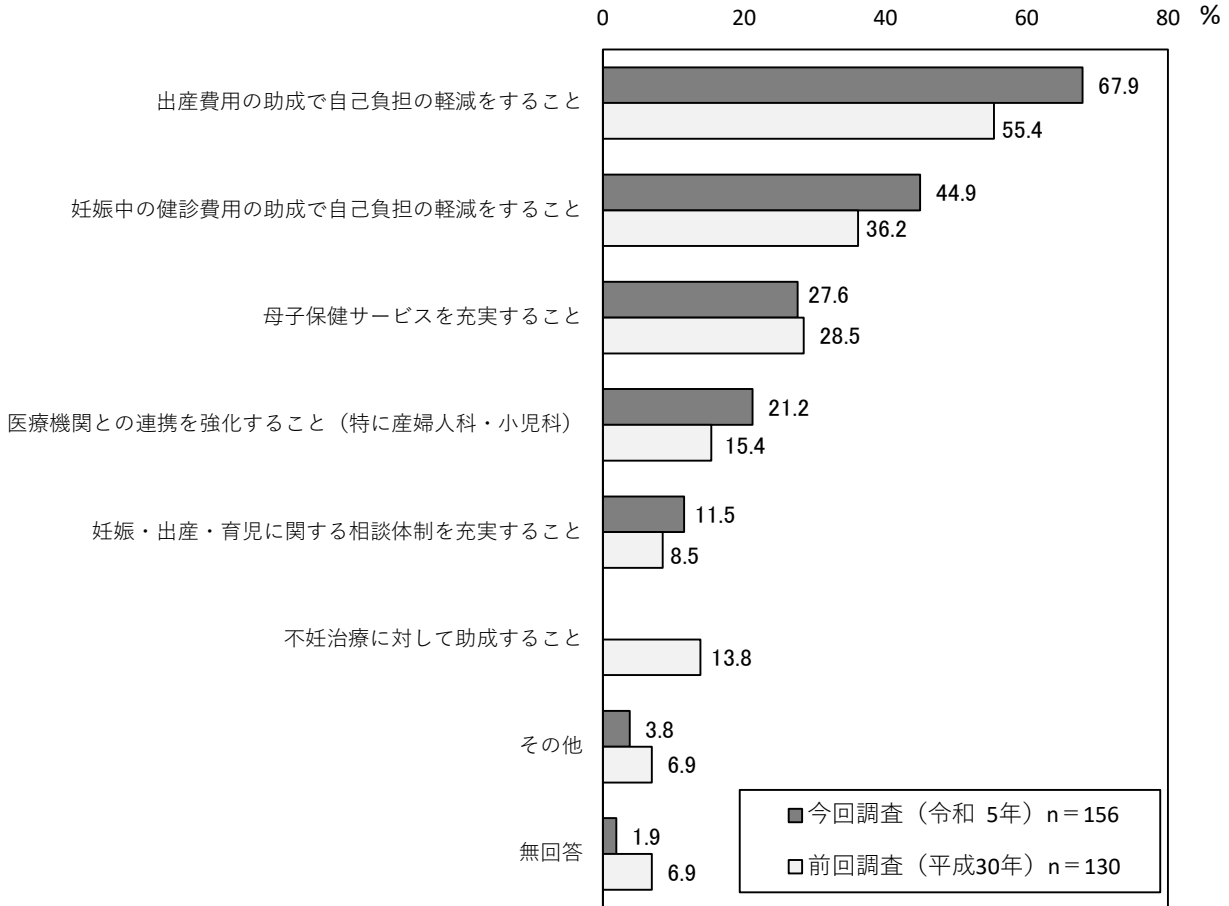
一方、「あまりそう思わない」(17.5%)、「そう思わない」(15.0%)を合わせた32.5%の人が「思わない」となっており、前回に比べやや増加しています。



[上段:人 下段:%]		問28-1 子育てがしやすいまちだと思うか						
		合計	そう思う	どちらかとい えば、そ う思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない	わからな い	無回答
全体		40	5	19	7	6	3	0
		100.0	12.5	47.5	17.5	15.0	7.5	0.0
居住 地域	西部地域	3	0	0	1	1	1	0
		100.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
	中央地域	20	1	13	3	3	0	0
		100.0	5.0	65.0	15.0	15.0	0.0	0.0
	東部地域	17	4	6	3	2	2	0
		100.0	23.5	35.3	17.6	11.8	11.8	0.0
定住 意向	住み続けたい	30	3	17	6	3	1	0
		100.0	10.0	56.7	20.0	10.0	3.3	0.0
	転出したい	5	1	1	0	3	0	0
		100.0	20.0	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0
	わからない	5	1	1	1	0	2	0
		100.0	20.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0

問29 毛呂山町で安心して妊娠・出産できるような施策として、何が重要だと思いますか。  
(2つ以内に○)

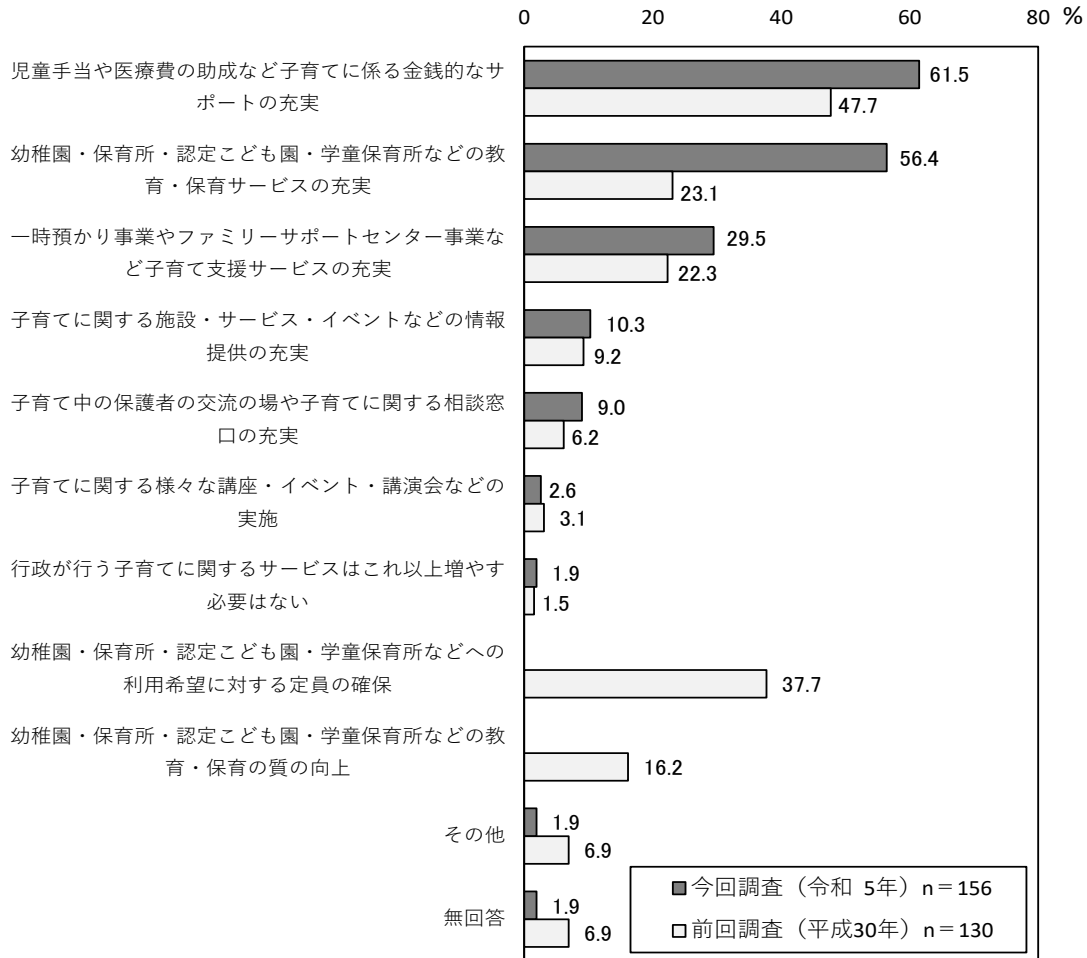
安心して妊娠・出産できるような施策として重要なこととしては、「出産費用の助成で自己負担の軽減をすること」が最も高く67.9%、次いで「妊娠中の健診費用の助成で自己負担の軽減をすること」(44.9%)となっています。



[ 上段:人 下段:% ]		問29 安心して妊娠・出産できるために重要な施策							
		合計	出産費用の助成で自己負担の軽減をすること	妊娠中の健診費用の助成で自己負担の軽減をすること	母子保健サービスを充実すること	妊娠・出産・育児に関する相談体制を充実すること	医療機関との連携を強化すること(特に産婦人科・小児科)	その他	無回答
全体		156 100.0	106 67.9	70 44.9	43 27.6	18 11.5	33 21.2	6 3.8	3 1.9
居住地	西部地域	8 100.0	5 62.5	6 75.0	2 25.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0
	中央地域	96 100.0	63 65.6	43 44.8	30 31.3	15 15.6	22 22.9	2 2.1	2 2.1
	東部地域	52 100.0	38 73.1	21 40.4	11 21.2	3 5.8	9 17.3	4 7.7	1 1.9
定住意向	住み続けたい	98 100.0	65 66.3	43 43.9	31 31.6	13 13.3	23 23.5	2 2.0	1 1.0
	転出したい	39 100.0	30 76.9	17 43.6	8 20.5	5 12.8	6 15.4	3 7.7	0 0.0
	わからない	18 100.0	11 61.1	10 55.6	4 22.2	0 0.0	4 22.2	1 5.6	1 5.6

問30 今後、子育てに関するサービスとして、毛呂山町が特に力を入れるべきだと思うのは次のうち、どれですか。(2つ以内に〇)

子育てに関して力を入れるべきサービスとしては、「児童手当や医療費の助成など子育てに係る金銭的なサポートの充実」が61.5%で最も高く、次いで「幼稚園・保育所・認定こども園・学童保育所などの教育・保育サービスの充実」(56.4%)となっています。

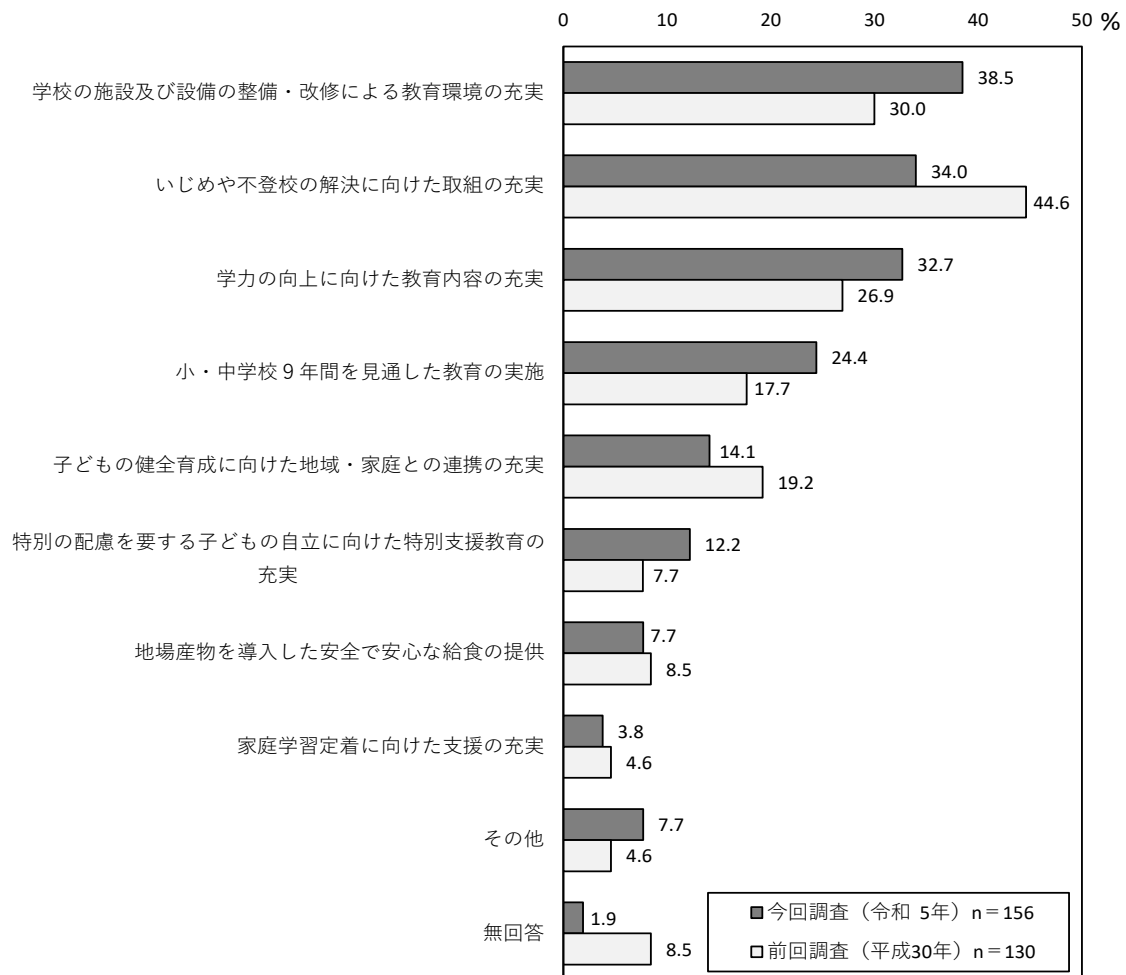


上段:人 下段:%	問30 今後力を入れるべき子育てに関するサービス									
	合計	幼稚園・保育所・認定こども園・学童保育所などの教育・保育サービスの充実	一時預かり事業やファミリーサポートセンター事業など子育て支援サービスの充実	子育て中の保護者の交流の場や子育てに関する相談窓口の充実	子育てに関する施設・サービス・イベントなどの情報提供の充実	子育てに関する様々な講座・イベント・講演会などの実施	児童手当や医療費の助成など子育てに係る金銭的なサポートの充実	行政が行う子育てに関するサービスはこれ以上増やす必要はない	その他	無回答
全体	156 100.0	88 56.4	46 29.5	14 9.0	16 10.3	4 2.6	96 61.5	3 1.9	3 1.9	3 1.9
居住地域	西部地域	8 100.0	4 50.0	5 62.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	5 62.5	0 0.0	0 0.0
	中央地域	96 100.0	53 55.2	29 30.2	11 11.5	11 11.5	1 1.0	61 63.5	1 1.0	1 1.0
	東部地域	52 100.0	31 59.6	12 23.1	3 5.8	5 9.6	2 3.8	30 57.7	2 3.8	2 3.8
定住意向	住み続けたい	98 100.0	54 55.1	30 30.6	10 10.2	12 12.2	1 1.0	66 67.3	2 2.0	1 1.0
	転出したい	39 100.0	21 53.8	13 33.3	4 10.3	2 5.1	2 5.1	21 53.8	1 2.6	1 2.6
	わからない	18 100.0	13 72.2	3 16.7	0 0.0	2 11.1	1 5.6	9 50.0	0 0.0	1 5.6

## 【小・中学校の教育について】

問31 今後、教育に関することで、毛呂山町が特に力を入れるべきだと思うのは次のうち、どれですか。（2つ以内に○）

教育に関して力を入れるべきことについては、「学校の施設及び設備の整備・改修による教育環境の充実」が最も高く38.5%、次いで「いじめや不登校の解決に向けた取組の充実」（34.0%）となっています。

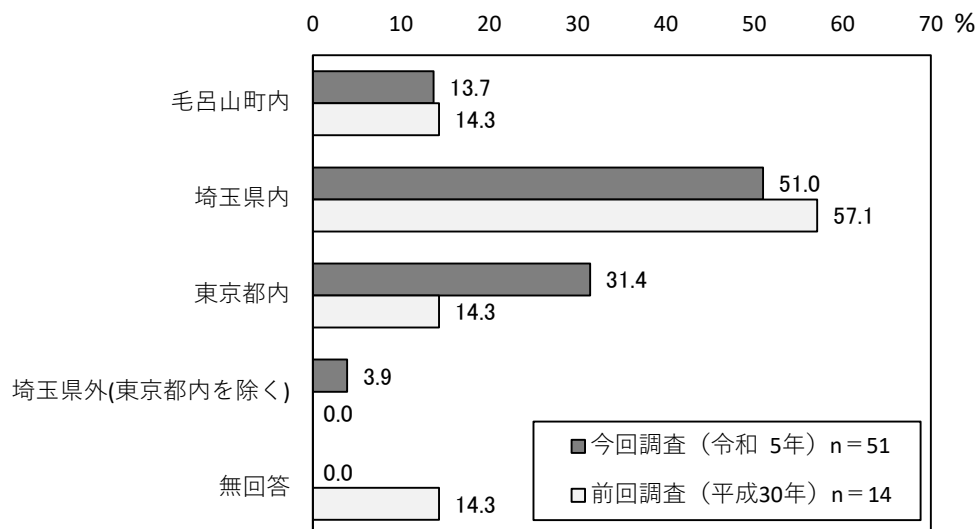


上段：人 下段：%	問31 今後力を入れるべき小・中教育に関するサービス										
	合計	学校の施設及び設備の整備・改修による教育環境の充実	学力の向上に向けた教育内容の充実	小・中学校9年間を見通した教育の実施	いじめや不登校の解決に向けた取組の充実	家庭学習定着に向けた支援の充実	子どもの健全育成に向けた地域・家庭との連携の充実	特別の配慮を要する子どもの自立に向けた特別支援教育の充実	地場産物を導入した安全で安心な給食の提供	その他	無回答
全体	156 100.0	60 38.5	51 32.7	38 24.4	53 34.0	6 3.8	22 14.1	19 12.2	12 7.7	12 7.7	3 1.9
居住地域	西部地域	8 100.0	2 25.0	4 50.0	2 25.0	5 62.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	2 25.0	0 0.0
	中央地域	96 100.0	39 40.6	33 34.4	27 28.1	33 34.4	6 6.3	13 13.5	11 11.5	6 6.3	2 2.1
	東部地域	52 100.0	19 36.5	14 26.9	9 17.3	15 28.8	0 0.0	8 15.4	8 15.4	4 7.7	1 1.9
定住意向	住み続けたい	98 100.0	38 38.8	34 34.7	25 25.5	35 35.7	5 5.1	15 15.3	10 10.2	7 7.1	1 1.0
	転出したい	39 100.0	14 35.9	13 33.3	9 23.1	11 28.2	1 2.6	5 12.8	6 15.4	4 10.3	0 0.0
	わからない	18 100.0	8 44.4	4 22.2	4 22.2	7 38.9	0 0.0	2 11.1	3 16.7	1 5.6	1 5.6

### 13. 学生の方への設問

問32 あなたは、現在、どこに通学していますか（学校の種類は問いません）。（1つだけに○）

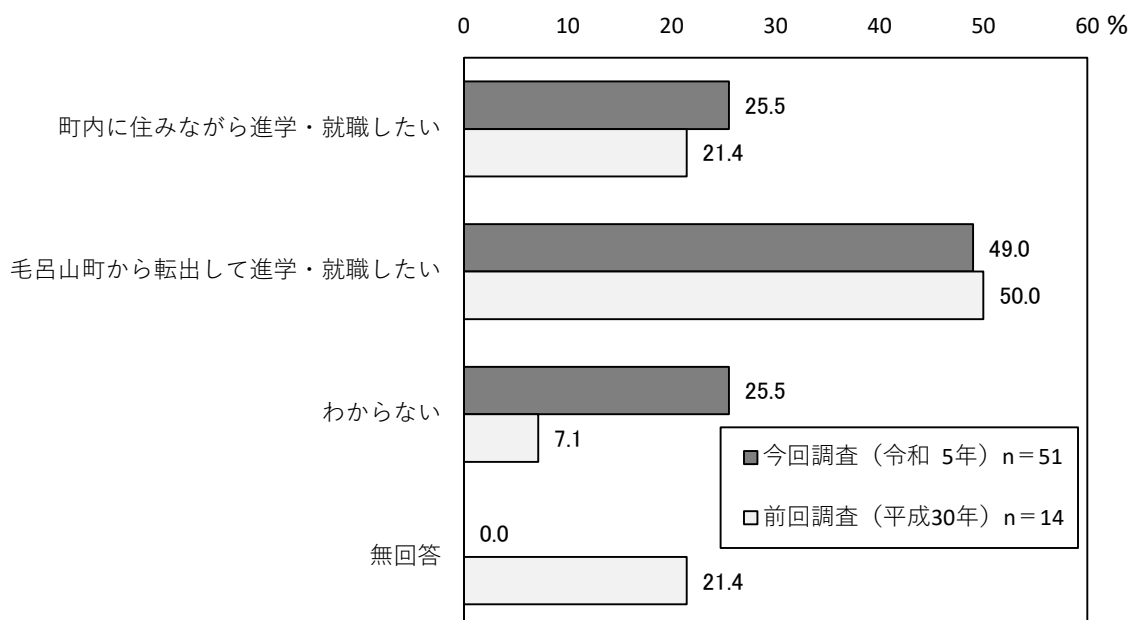
学生の通学先としては、「埼玉県内」が51.0%で最も高く、「毛呂山町内」は13.7%、「東京都内」が31.4%となっています。



[ 上段:人 下段:% ]		問32 現在の通学先					
		合計	毛呂山町内	埼玉県内	東京都内	埼玉県外 (東京都内を除く)	無回答
全体		51 100.0	7 13.7	26 51.0	16 31.4	2 3.9	0 0.0
居住地域	西部地域	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	中央地域	28 100.0	3 10.7	18 64.3	6 21.4	1 3.6	0 0.0
	東部地域	21 100.0	4 19.0	6 28.6	10 47.6	1 4.8	0 0.0
定住意向	住み続けたい	28 100.0	4 14.3	14 50.0	10 35.7	0 0.0	0 0.0
	転出したい	20 100.0	2 10.0	10 50.0	6 30.0	2 10.0	0 0.0
	わからない	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問33 あなたは、今後進学や就職したときの住まいの希望は次のうちどれですか。  
(1つだけに○)

今後、進学や就職後の住まいの希望としては、「毛呂山町から転出して進学・就職したい」が49.0%と約半数となり、「町内に住みながら進学・就職したい」は25.5%となっています。

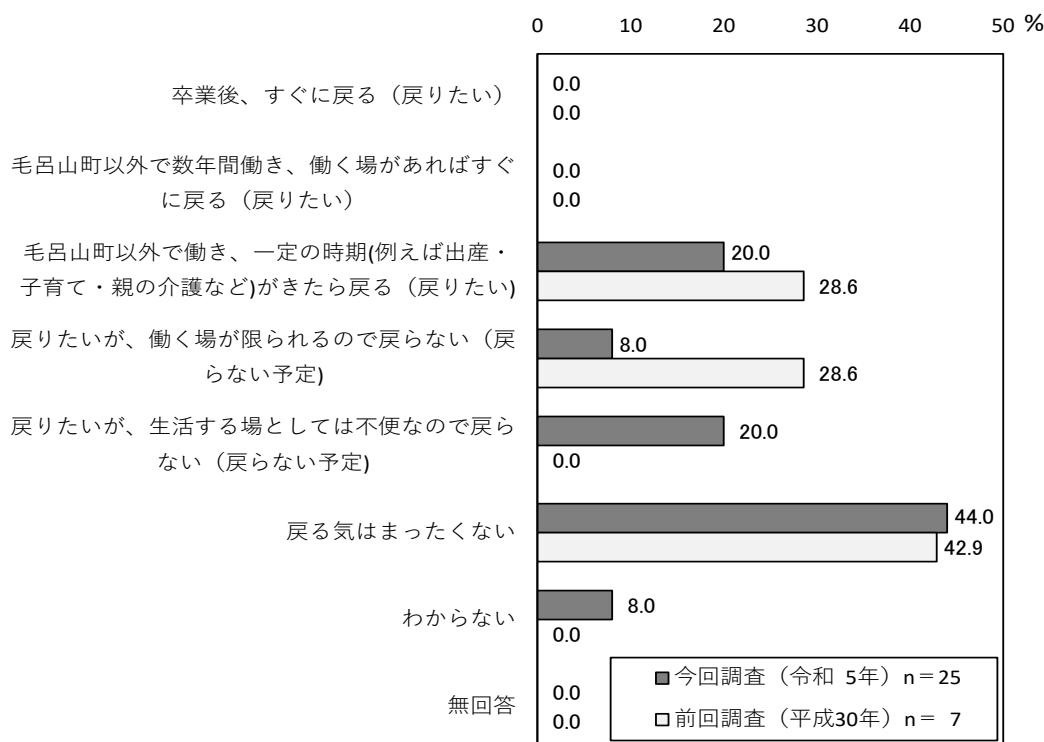


[上段:人] [下段:%]		問33 今後、進学や就職したときの住まいの希望				
		合計	町内に住みながら進学・就職したい	毛呂山町から転出して進学・就職したい	わからない	無回答
全体		51 100.0	13 25.5	25 49.0	13 25.5	0 0.0
居住地域	西部地域	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	中央地域	28 100.0	8 28.6	13 46.4	7 25.0	0 0.0
	東部地域	21 100.0	3 14.3	12 57.1	6 28.6	0 0.0
定住意向	住み続けたい	28 100.0	10 35.7	7 25.0	11 39.3	0 0.0
	転出したい	20 100.0	2 10.0	17 85.0	1 5.0	0 0.0
	わからない	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0

【問33で「2」とお答えの方限定】

問33-1 あなたが（将来的に）毛呂山町から転出して進学・就職後、将来毛呂山町に戻って暮らしたいと思いますか。（1つだけに○）

今後、毛呂山町から転出して進学・就職したいと回答した人が、将来毛呂山町に戻って暮らしたいかについては、「戻る気はまったくない」が44.0%と最も高く、次いで「毛呂山町以外で働き、一定の時期がきたら戻る（戻りたい）」と「戻りたいが、生活する場としては不便なので戻らない（戻らない予定）」がともに20.0%となっています。「戻る気はまったくない」と「戻りたいが、生活する場としては不便なので戻らない（戻らない予定）」「戻りたいが、働く場が限られるので戻らない（戻らない予定）」を合わせると72.0%の人が戻らないとなっています。

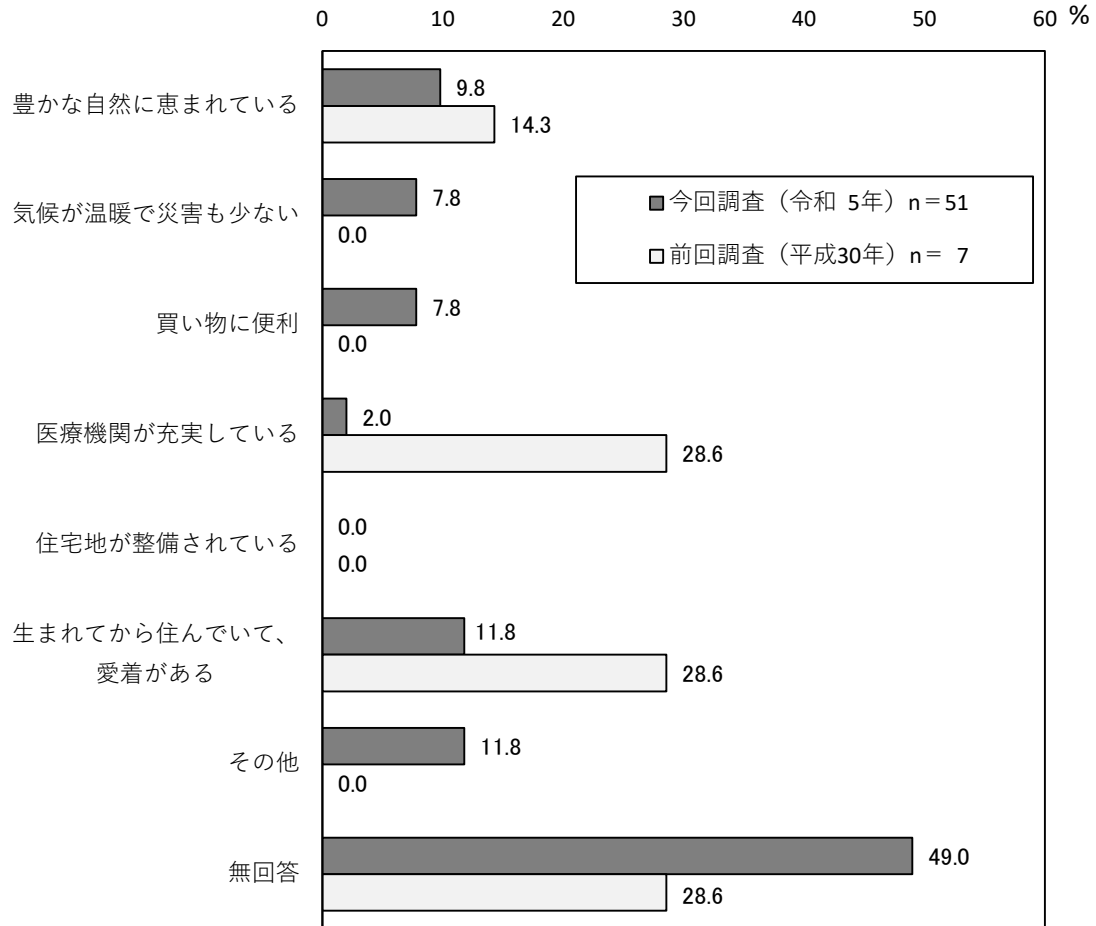


[ 上段: 人 下段: % ]		問33-1 将来、毛呂山町に戻って暮らしたいか								
		合計	卒業後、 すぐに戻る (戻りたい)	毛呂山町 以外で数年間働 き、働く場 があれば すぐに戻る (戻りたい)	毛呂山町 以外で働 き、一定 の時期(例 えば出 産・子育 て・親の 介護など) がきたら 戻る (戻 りたい)	戻りたい が、働く場 が限られ るので戻 らない予 定)	戻りたい が、生活 する場と しては不 便なので 戻らない (戻 らない予 定)	戻る気は まったく ない	わから ない	無回答
全体		25 100.0	0 0.0	0 0.0	5 20.0	2 8.0	5 20.0	11 44.0	2 8.0	0 0.0
居住 地域	西部地域	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	中央地域	13 100.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	1 7.7	3 23.1	7 53.8	1 7.7	0 0.0
	東部地域	12 100.0	0 0.0	0 0.0	4 33.3	1 8.3	2 16.7	4 33.3	1 8.3	0 0.0
定住 意向	住み続けたい	7 100.0	0 0.0	0 0.0	3 42.9	1 14.3	0 0.0	2 28.6	1 14.3	0 0.0
	転出したい	17 100.0	0 0.0	0 0.0	2 11.8	0 0.0	5 29.4	9 52.9	1 5.9	0 0.0
	わからない	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0



問33-2 あなたが(将来的に)毛呂山町から転出して進学・就職後、将来毛呂山町に戻って暮らそうとする理由はどれですか。(1つだけに○)

毛呂山町から転出後、将来町に戻って暮らそうとする理由としては、「生まれてから住んでいて愛着がある」が最も高く11.8%、次いで「豊かな自然に恵まれている」(9.8%)となっています。



[上段:人 下段:%]		問33-2 将来、毛呂山町に戻って暮らしたい理由								
		合計	豊かな自然に恵まれている	気候が温暖で災害も少ない	買い物に便利	医療機関が充実している	住宅地が整備されている	生まれてから住んでいて、愛着がある	その他	無回答
全体		51 100.0	5 9.8	4 7.8	4 7.8	1 2.0	0 0.0	6 11.8	6 11.8	25 49.0
居住地	西部地域	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
	中央地域	28 100.0	1 3.6	2 7.1	3 10.7	1 3.6	0 0.0	3 10.7	4 14.3	14 50.0
	東部地域	21 100.0	4 19.0	2 9.5	1 4.8	0 0.0	0 0.0	3 14.3	2 9.5	9 42.9
定住意向	住み続けたい	28 100.0	3 10.7	1 3.6	2 7.1	1 3.6	0 0.0	3 10.7	1 3.6	17 60.7
	転出したい	20 100.0	2 10.0	3 15.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	3 15.0	5 25.0	6 30.0
	わからない	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7

## 第2編

### 転入者・転出者アンケート

## 1. 調査の概要

### (1) 調査の目的

第六次毛呂山町総合振興計画及び定住促進施策を立案するにあたり、町外からの転入者及び町外への転出者の転出入の理由等を把握することで、定住促進施策の検討並びに計画策定時の基礎資料とするため、転入者及び転出者アンケートを実施しました。

### (2) 調査の方法

- (1) 調査対象 令和5年8月1日から令和5年10月31日までの間に、毛呂山町へ転入または毛呂山町から転出された方
- (2) 標本数 転入者 333人 転出者 235人
- (3) 抽出方法 全数調査
- (4) 調査方法 窓口での配布・回収
- (5) 調査期間 令和5年8月1日（火）～10月31日（火）

### (3) 回収結果

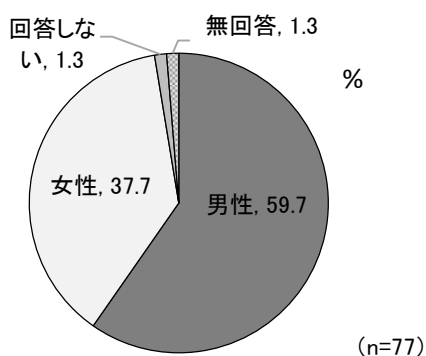
- (1) 配布数 転入者 333件 転出者 235件
- (2) 有効回収数 転入者 77件 転出者 35件
- (3) 有効回収率 転入者 23.1% 転出者 14.9%

## 2. 転入者アンケート結果

### 1. 回答者の属性

#### 問1 あなたの性別について

性別は、「男性」59.7%、「女性」37.7%となっています。

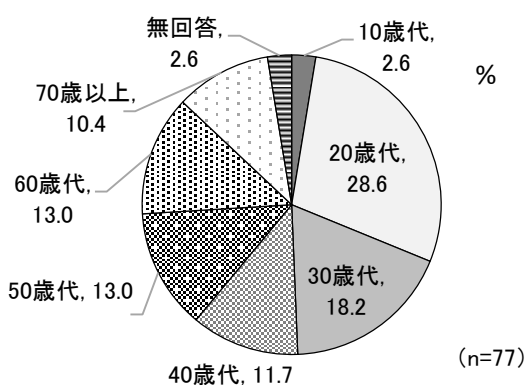


	回答数	割合 (%)
男性	46	59.7
女性	29	37.7
回答しない	1	1.3
無回答	1	1.3
合計	77	100.0

選択肢は「男性」「女性」「無回答」ですが、表では、「無回答」を「回答しない」と表記し、何も選択しなかった人を「無回答」としています。

#### 問2 あなたの年齢について

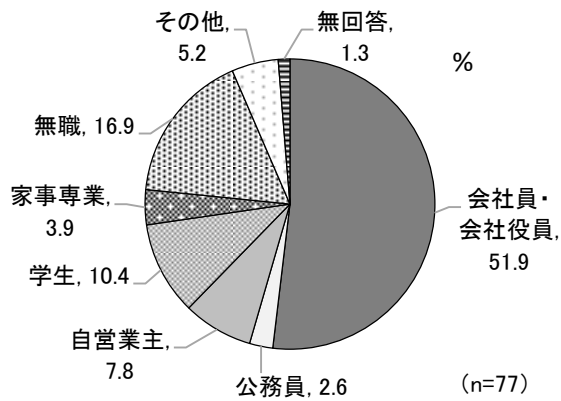
年齢は、「20歳代」が最も高く28.6%、次いで「30歳代」18.2%となっています。



	回答数	割合 (%)
10歳代	2	2.6
20歳代	22	28.6
30歳代	14	18.2
40歳代	9	11.7
50歳代	10	13.0
60歳代	10	13.0
70歳以上	8	10.4
無回答	2	2.6
合計	77	100.0

### 問3 あなたのご職業等について

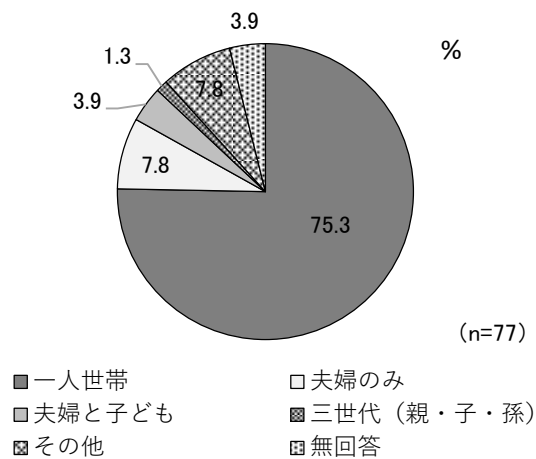
職業等は、「会社員・会社役員」が半数を越える51.9%、次いで「無職」が16.9%、「学生」が10.4%となっています。



	回答数	割合 (%)
会社員・会社役員	40	51.9
公務員	2	2.6
自営業主	6	7.8
学生	8	10.4
家事専業	3	3.9
無職	13	16.9
その他	4	5.2
無回答	1	1.3
合計	77	100.0

### 問4 転入される家族の構成

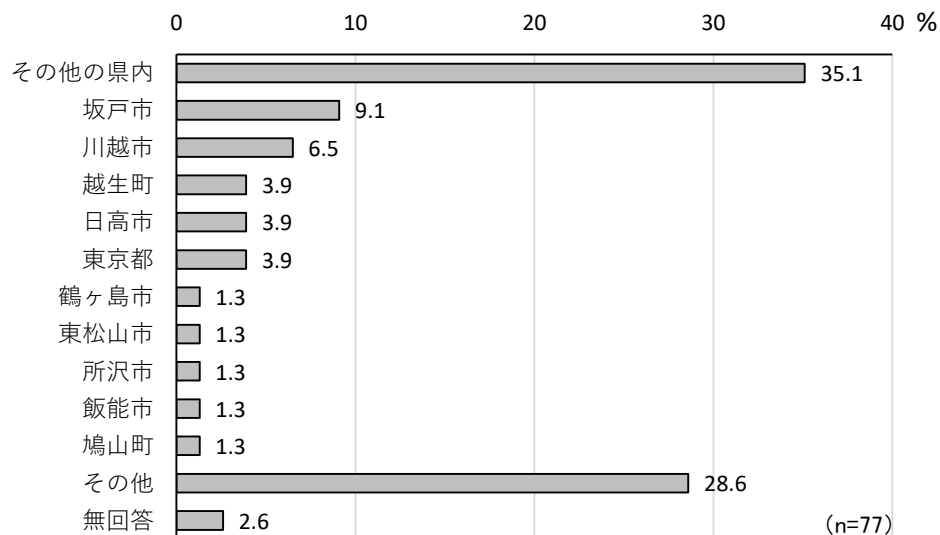
家族構成では、全体の75.3%が「一人世帯」となっており、大半が単身世帯であり、「夫婦と子ども」世帯は3.9%となっています。



	回答数	割合 (%)
一人世帯	58	75.3
夫婦のみ	6	7.8
夫婦と子ども	3	3.9
三世代(親・子・孫)	1	1.3
その他	6	7.8
無回答	3	3.9
合計	77	100.0

問5 どちらから転入されましたか。(転入してきた自治体)

転入前の居住地は、「その他の県内」が35.1%で最も高く、次いで「坂戸市」(9.1%)、「川越市」(6.5%)となっています。選択肢以外の自治体からの転入者が28.6%となりました。

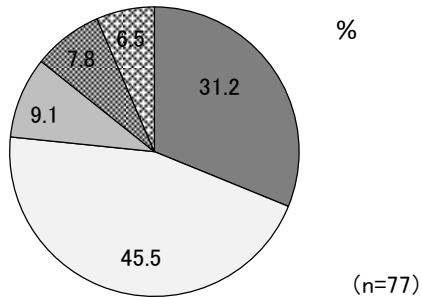


	回答数	割合 (%)
坂戸市	7	9.1
川越市	5	6.5
鶴ヶ島市	1	1.3
越生町	3	3.9
日高市	3	3.9
東松山市	1	1.3
所沢市	1	1.3
飯能市	1	1.3
鳩山町	1	1.3
その他の県内	27	35.1
東京都	3	3.9
その他	22	28.6
無回答	2	2.6
合計	77	100.0

問6 転入されてお住まいになるのは、次のどれですか。

転入後の住まいは、「借家（戸建・マンション等）」が45.5%で最も高く、次いで「自宅（戸建・マンション等）」（31.2%）等となっており、約3割の人が自己所有ということになります。

なお、「その他」6件の内、「実家」が3件、「ケアハウス」が2件となっています。



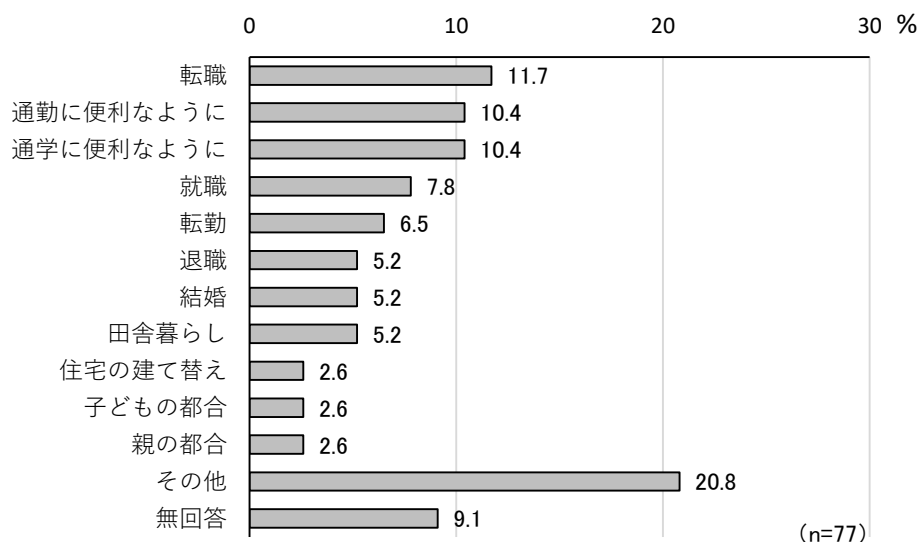
- 自宅（戸建・マンション等）
- 借家（戸建・マンション等）
- ▣ 社宅・寮
- ▤ その他
- ▥ 無回答

	回答数	割合(%)
自宅(戸建・マンション等)	24	31.2
借家(戸建・マンション等)	35	45.5
社宅・寮	7	9.1
その他	6	7.8
無回答	5	6.5
合計	77	100.0

## 2. 転入理由

問7 転入することになった最も大きなきっかけは何ですか。(1つに〇)

転入のきっかけは「転職」が11.7%で最も高く、次いで「通勤に便利なように」と「通学に便利なように」がともに10.4%となっています。また、「就職」「転勤」「退職」など、仕事に関する理由が多くなっています。

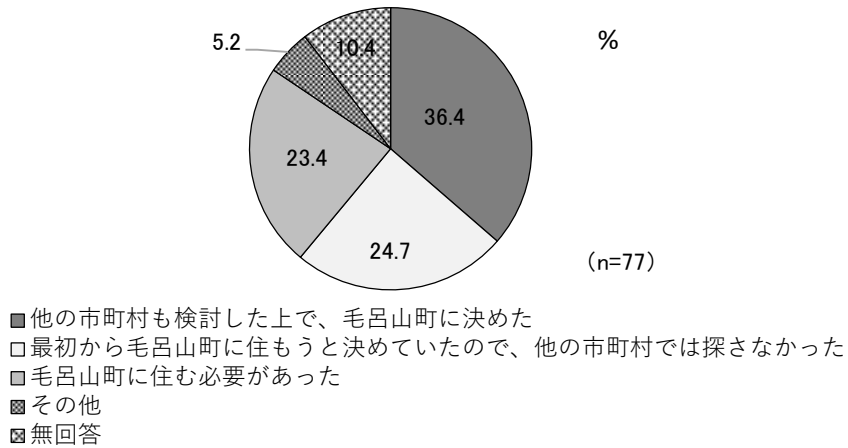


	回答数	割合 (%)
就職	6	7.8
転職	9	11.7
転勤	5	6.5
退職	4	5.2
結婚	4	5.2
田舎暮らし	4	5.2
住宅の建て替え	2	2.6
通勤に便利なように	8	10.4
通学に便利なように	8	10.4
子どもの都合	2	2.6
親の都合	2	2.6
その他	16	20.8
無回答	7	9.1
合計	77	100.0



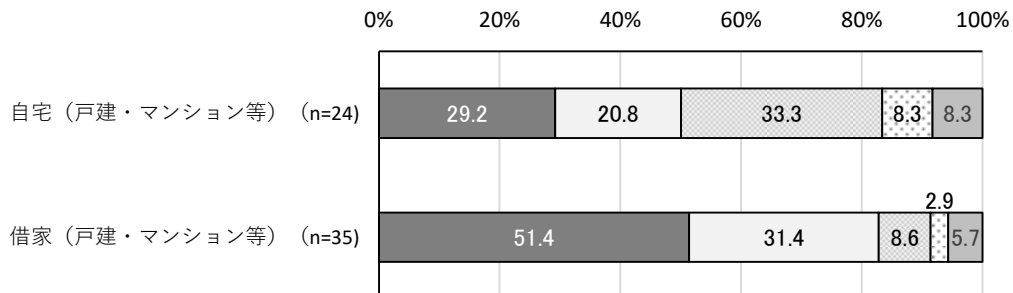
問8 毛呂山町以外でも住まいを探されましたか。(1つに〇)

毛呂山町以外でも住まいを探したかについては、「他の市町村も検討した上で、毛呂山町に決めた」が36.4%で最も高く、次いで「最初から毛呂山町に住もうと決めていたため、他の市町村では探さなかった」(24.7%)などとなっています。



	回答数	割合 (%)
他の市町村も検討した上で、毛呂山町に決めた	28	36.4
最初から毛呂山町に住もうと決めていたため、他の市町村では探さなかった	19	24.7
毛呂山町に住む必要があった	18	23.4
その他	4	5.2
無回答	8	10.4
合計	77	100.0

転入した際の住まい別に確認したところ、「他の市町村も検討した上で、毛呂山町に決めた」と回答した人は、「自宅」と回答した人で29.2%、「借家」と回答した人では51.4%と半数に上っています。

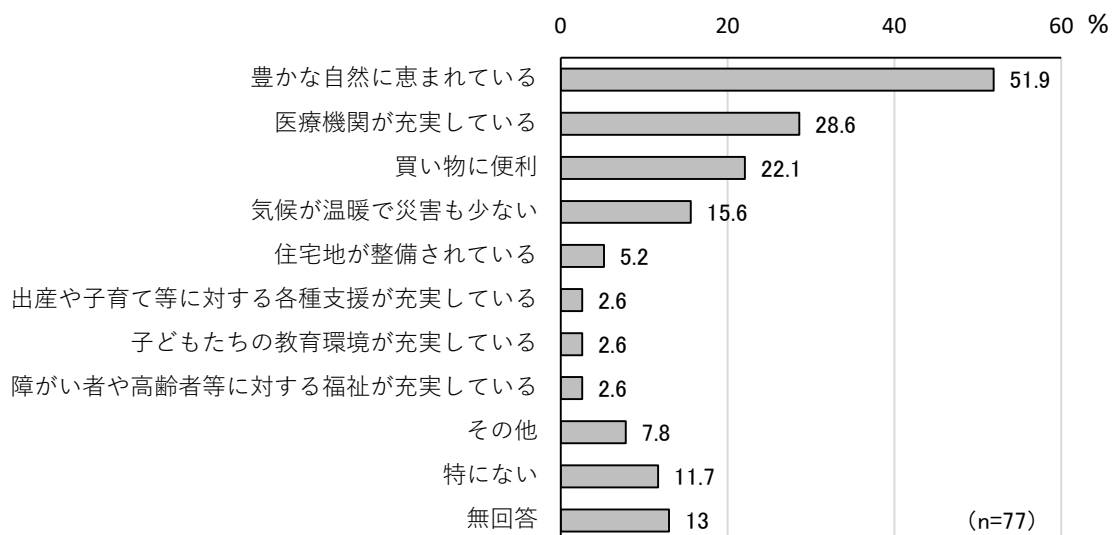


- 他の市町村も検討した上で、毛呂山町に決めた
- 最初から毛呂山町に住もうと決めていたため、他の市町村では探さなかった
- 毛呂山町に住む必要があった
- その他
- 無回答

問9 毛呂山町にはどのような魅力があると思われますか。(あてはまるものすべてに○)

毛呂山町の魅力としては「豊かな自然に恵まれている」が51.9%と最も高く、次いで「医療機関が充実している」(28.6%)、「買い物に便利」(22.1%)などとなっています。

「出産や子育て等に対する各種支援が充実している」や「子どもたちの教育環境が充実している」との回答は少ない状況です。



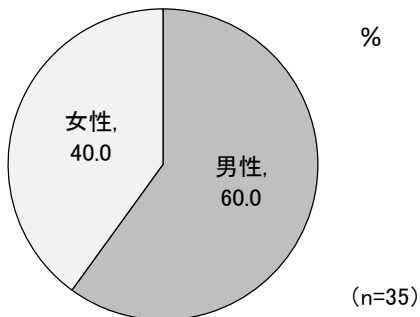
	回答数	割合 (%)
豊かな自然に恵まれている	40	51.9
気候が温暖で災害も少ない	12	15.6
買い物に便利	17	22.1
医療機関が充実している	22	28.6
出産や子育て等に対する各種支援が充実している	2	2.6
子どもたちの教育環境が充実している	2	2.6
障がい者や高齢者等に対する福祉が充実している	2	2.6
住宅地が整備されている	4	5.2
その他	6	7.8
特にない	9	11.7
無回答	10	13
合計	77	100.0

### 3. 転出者アンケート結果

#### 1. 回答者の属性

##### 問1 あなたの性別について

性別は、「男性」60.0%、「女性」40.0%となっています。

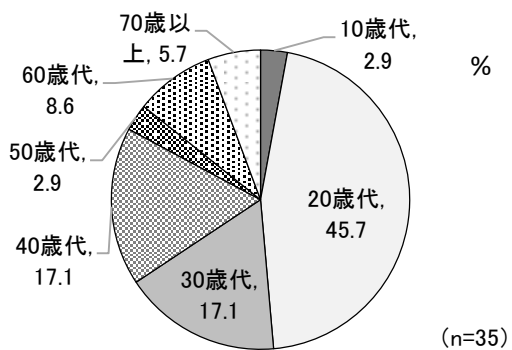


	回答数	割合%
男性	21	60.0
女性	14	40.0
回答しない	0	0.0
無回答	0	0.0
合計	35	100.0

選択肢は「男性」「女性」「無回答」ですが、表では、「無回答」を「回答しない」と表記し、何も選択しなかった人を「無回答」としています。

##### 問2 あなたの年齢について

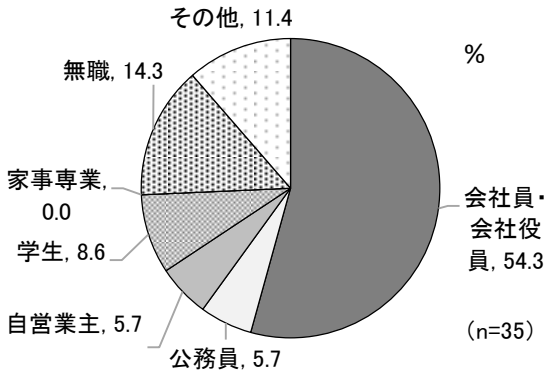
年齢は、「20歳代」が最も高く45.7%、次いで「30歳代」と「40歳代」がともに17.1%となっています。転出者の82.8%が「40歳代」以下となっています。



	回答数	割合%
10歳代	1	2.9
20歳代	16	45.7
30歳代	6	17.1
40歳代	6	17.1
50歳代	1	2.9
60歳代	3	8.6
70歳以上	2	5.7
無回答	0	0.0
合計	35	100.0

問3 あなたのご職業等について

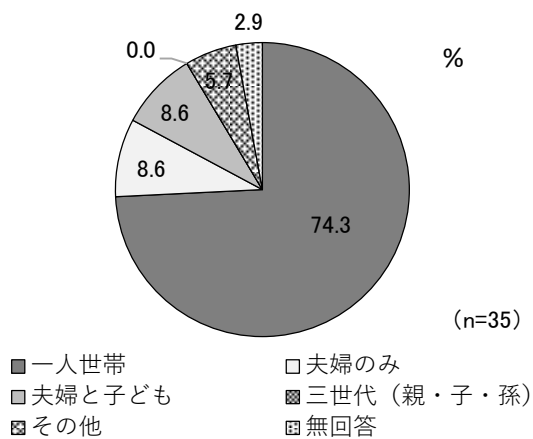
職業等は、「会社員・会社役員」が半数を越える54.3%、次いで「無職」が14.3%、「学生」は8.6%となっています。



	回答数	割合%
会社員・会社役員	19	54.3
公務員	2	5.7
自営業主	2	5.7
学生	3	8.6
家事専業	0	0.0
無職	5	14.3
その他	4	11.4
無回答	0	0
合計	35	100.0

問4 転出される家族の構成

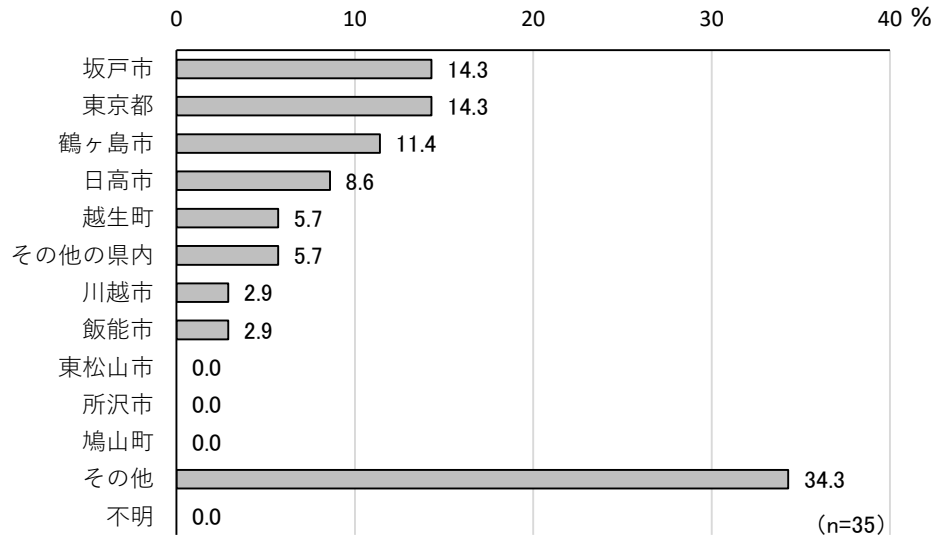
家族構成では、全体の74.3%が「一人世帯」となっており、大半が単身世帯であり、「夫婦と子ども」世帯は8.6%となっています。



	回答数	割合%
一人世帯	26	74.3
夫婦のみ	3	8.6
夫婦と子ども	3	8.6
三世帯(親・子・孫)	0	0.0
その他	2	5.7
無回答	1	2.9
合計	35	100.0

問5 どちらに転出されますか。(転出した自治体)

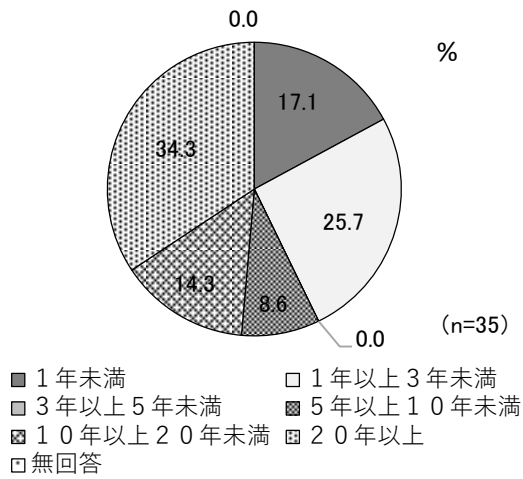
転出先の居住地は、「その他」が34.3%で最も高く、様々な地域に転出しています。次いで「坂戸市」と「東京都」がともに14.3%、「鶴ヶ島市」(11.4%)となっています。



	回答数	割合%
坂戸市	5	14.3
川越市	1	2.9
鶴ヶ島市	4	11.4
越生町	2	5.7
日高市	3	8.6
東松山市	0	0.0
所沢市	0	0.0
飯能市	1	2.9
鳩山町	0	0.0
その他の県内	2	5.7
東京都	5	14.3
その他	12	34.3
無回答	0	0.0
合計	35	100.0

問6 毛呂山町での居住年数は、何年でしたか。(通算の居住年数を合わせて、一つに〇)

毛呂山町での居住年数は、「20年以上」が34.3%と最も高く、次いで「1年以上3年未満」が25.7%、「1年未満」も17.1%となっています。

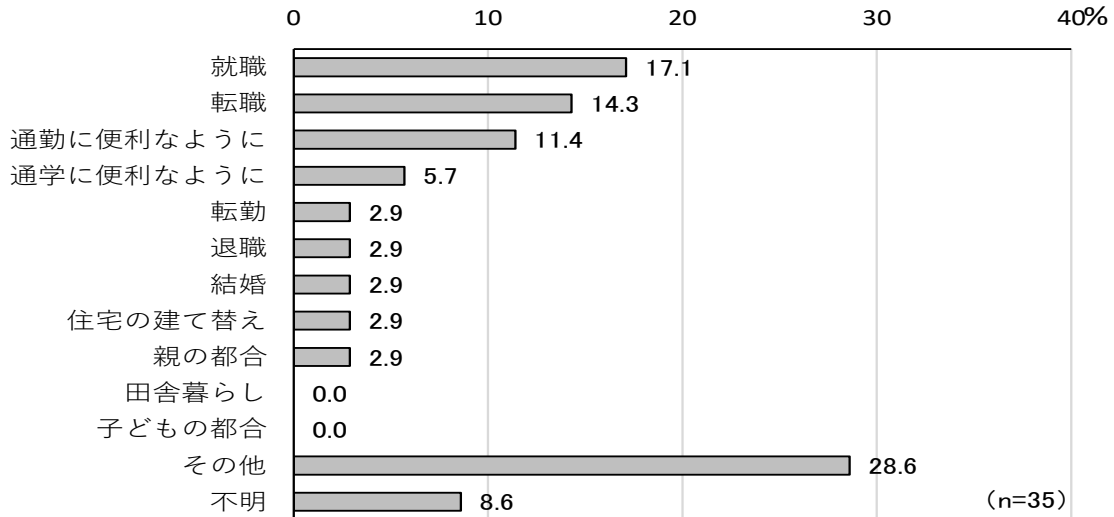


	回答数	割合%
1年未満	6	17.1
1年以上3年未満	9	25.7
3年以上5年未満	0	0.0
5年以上10年未満	3	8.6
10年以上20年未満	5	14.3
20年以上	12	34.3
無回答	0	0.0
合計	35	100.0

## 2. 転出理由

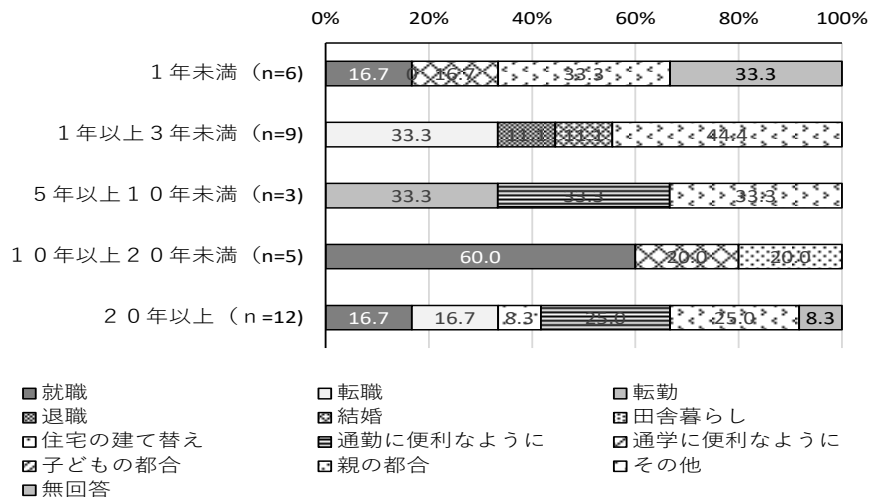
問7 転出することになった最も大きなきっかけは何ですか。(1つに〇)

転出のきっかけは「就職」が17.1%で最も高く、次いで「転職」(14.3%)、「通勤に便利  
なように」(11.4%)となっており、仕事に関する理由が多くなっています。



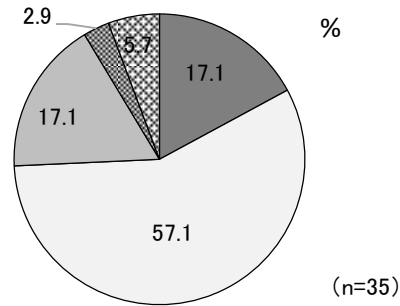
	回答数	割合%
就職	6	17.1
転職	5	14.3
転勤	1	2.9
退職	1	2.9
結婚	1	2.9
田舎暮らし	0	0.0
住宅の建て替え	1	2.9
通勤に便利(11.4)	4	11.4
通学に便利(5.7)	2	5.7
子どもの都合	0	0.0
親の都合	1	2.9
その他	10	28.6
無回答	3	8.6
合計	35	100.0

居住年数別に転出理由を確認したところ、「20年以上」の人でも仕事に関する理由が高くなっ  
ています。



問8 毛呂山町内でも住まいを探されましたか。(1つに〇)

毛呂山町内でも住まいを探したかについては、「毛呂山町内も探した上で、他市町村に決めた」人は17.1%に対し、「最初から他市町村に住もうと決めていたので、毛呂山町内は探さなかった」が57.1%で半数を超えています。



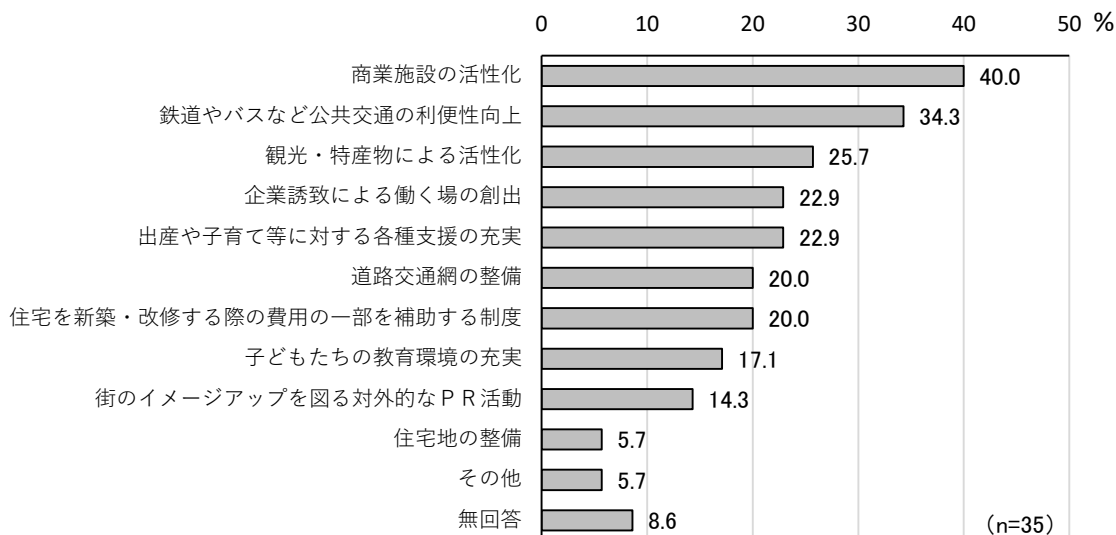
- 毛呂山町内も探した上で、他市町村に決めた
- 最初から他市町村に住もうと決めていたので、毛呂山町内は探さなかった
- 転出先の自治体に住む必要があった
- その他
- 無回答

	回答数	割合%
毛呂山町内も探した上で、他市町村に決めた	6	17.1
最初から他市町村に住もうと決めていたので、毛呂山町内は探さなかった	20	57.1
転出先の自治体に住む必要があった	6	17.1
その他	1	2.9
無回答	2	5.7
合計	35	100.0



問9 毛呂山町への居住者を増やすため、今後どのような定住支援策に取り組んだらいいと思われますか。(あてはまるものすべてに○)

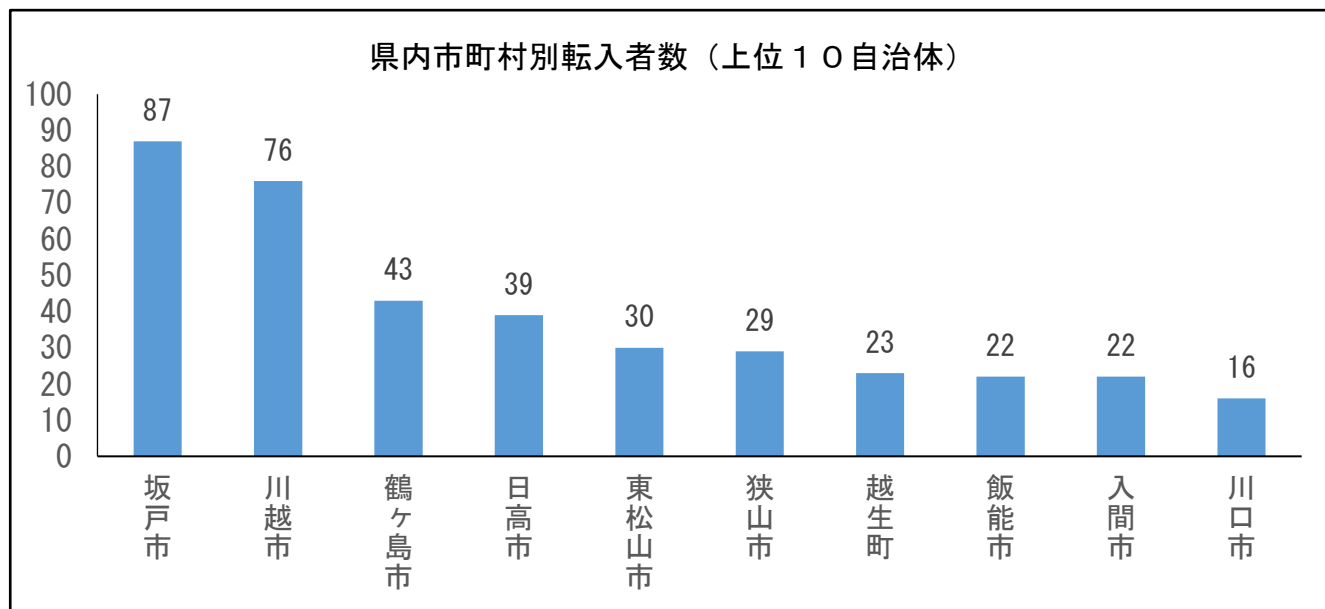
毛呂山町に必要な定住支援策としては、「商業施設の活性化」が40.0%と最も高く、次いで「鉄道やバスなど公共交通の利便性向上」(34.3%)、「観光・特産物による活性化」(25.7%)などとなっています。



	回答数	割合%
鉄道やバスなど公共交通の利便性向上	12	34.3
道路交通網の整備	7	20.0
企業誘致による働く場の創出	8	22.9
商業施設の活性化	14	40.0
出産や子育て等に対する各種支援の充実	8	22.9
子どもたちの教育環境の充実	6	17.1
住宅地の整備	2	5.7
住宅を新築・改修する際の費用の一部を補助する制度	7	20.0
観光・特産物による活性化	9	25.7
街のイメージアップを図る対外的なPR活動	5	14.3
その他	2	5.7
不明	3	8.6
合計	35	100.0

## 1 県内市町村別転入者数について

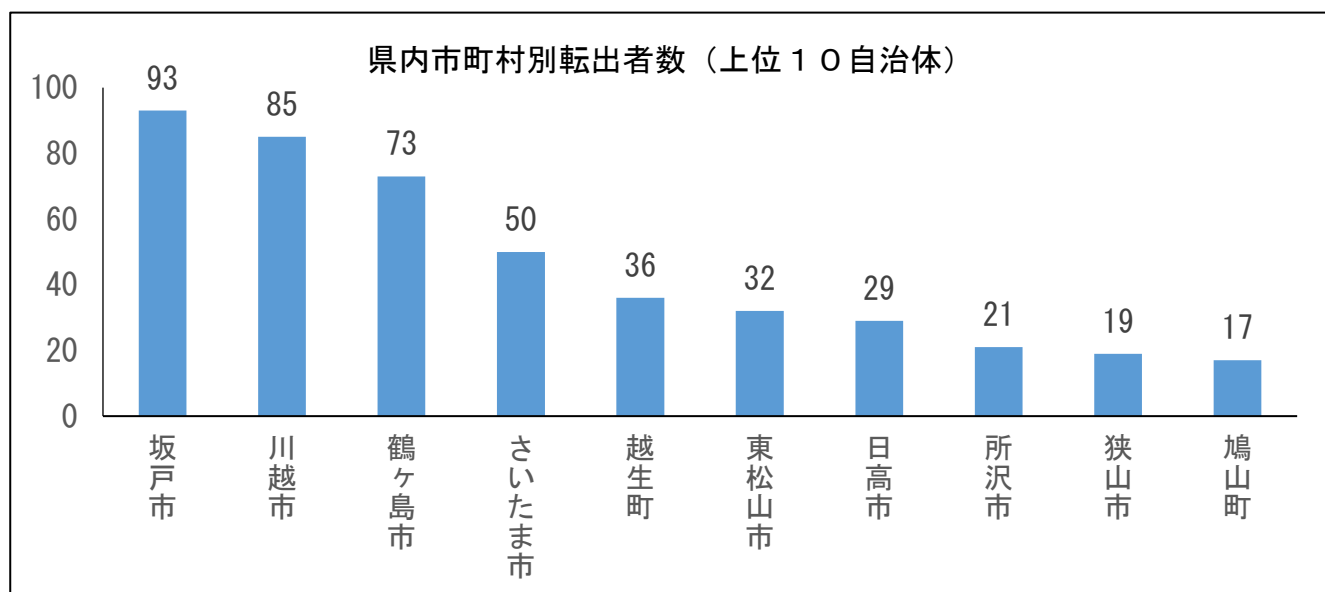
毛呂山町への転入者数をみると、坂戸市、川越市、鶴ヶ島市、日高市といった近隣自治体からの転入者が多い状況です。川口市など毛呂山町から地理的に離れている地域からの転入者も一定程度います。



※ 埼玉県住民異動月報（住民課提供）から作成  
 ※ 時点は、2023年1月～11月

## 2 県内市町村別転出者数について

毛呂山町からの転出者数をみると、坂戸市、川越市、鶴ヶ島市、越生町といった近隣自治体への転出者が多い状況です。さいたま市や所沢市など都市部または都市部に近い自治体への転出者も一定程度います。



※ 埼玉県住民異動月報（住民課提供）から作成  
 ※ 時点は、2023年1月～11月

## 第3編

### 子育て世帯アンケート調査

## 1. 調査の概要

令和7年度を計画始期とする第六次毛呂山町総合振興計画（基本構想・前期基本計画）の策定にあたり、町の重要課題である人口減少や少子化対策のメインターゲットである子育て世代の意見を施策に反映することを目的として実施しました。

実施にあたっては、「町内4小学校に就学予定の保護者」及び「町内小中学校6校のPTA役員」に対してアンケート調査の対象としました。

### （1）町内4小学校に就学予定の保護者を対象としたアンケート

#### ア 調査方法

- （1）調査対象 町内4小学校の就学前検診と同日に開催される親の学習講座に来場された方
- （2）調査方法 親の学習講座に来場された方に対して、アンケートを配布
- （3）調査期間 令和5年10月4日（水）、6日（金）、11日（水）、13日（金）

#### イ 回収結果

- （1）有効回収数 132件

### （2）町内小中学校6校のPTA役員を対象としたアンケート

#### ア 調査の方法

- （1）調査対象 町内小中学校6校のPTA役員
- （2）調査方法 PTA役員に対してアンケートを配布
- （3）調査期間 町内小中学校6校のPTA役員の会議日等に併せて実施

#### イ 回収結果

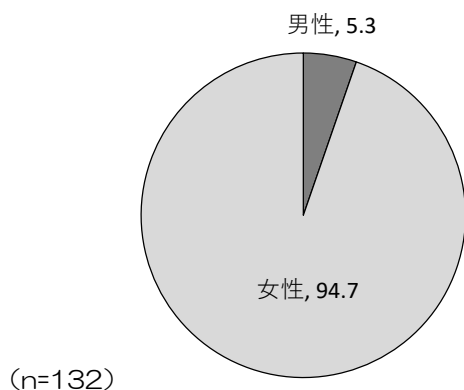
- （1）有効回答数 100件

## 2. 調査結果

### (1) 町内4小学校に就学予定の保護者を対象としたアンケート

#### 問1 あなたの性別について

性別は、「男性」5.3%、「女性」94.7%となっています。

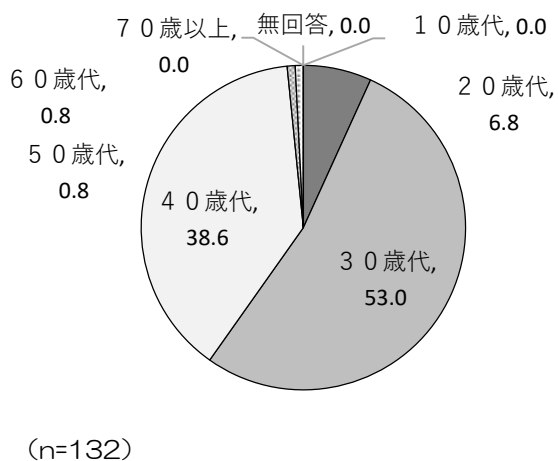


	回答数	割合 (%)
男性	7	5.3
女性	125	94.7
回答しない	0	0
無回答	0	0
合計	132	100

選択肢は「男性」「女性」「無回答」ですが、表では、「無回答」を「回答しない」と表記し、何も選択しなかった人を「無回答」としています。

#### 問2 あなたの年齢について

年齢は、「30歳代」が最も高く53.0%、次いで「40歳代」が38.6%となっています。

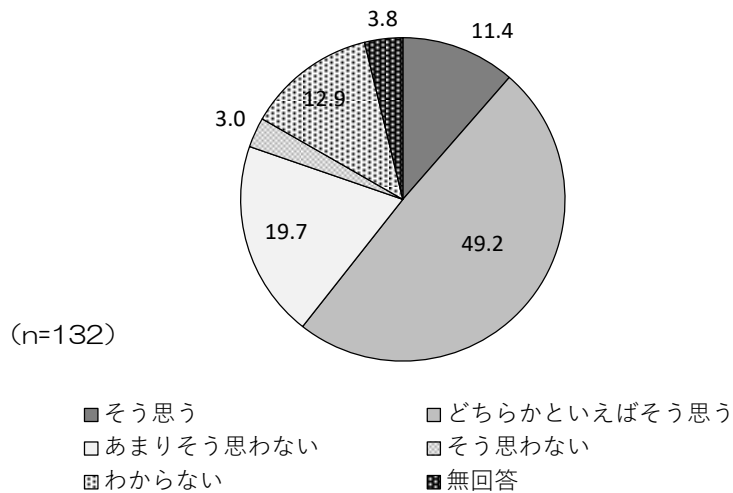


	回答数	割合 (%)
10歳代	0	0.0
20歳代	9	6.8
30歳代	70	53.0
40歳代	51	38.6
50歳代	1	0.8
60歳代	1	0.8
70歳以上	0	0.0
無回答	0	0.0
合計	132	100

問3 毛呂山町は子育てがしやすいまちだと思いますか。(1つだけに○)

子育てしやすいまちだと思うかについては、「そう思う」が11.4%、「どちらかといえばそう思う」が49.2%となっており、合わせて60.6%の人が子育てしやすいと感じています。

一方、「あまりそう思わない」が19.7%、「そう思わない」が3.0%となっており、合わせて22.7%の人は子育てしやすいとは感じていません。

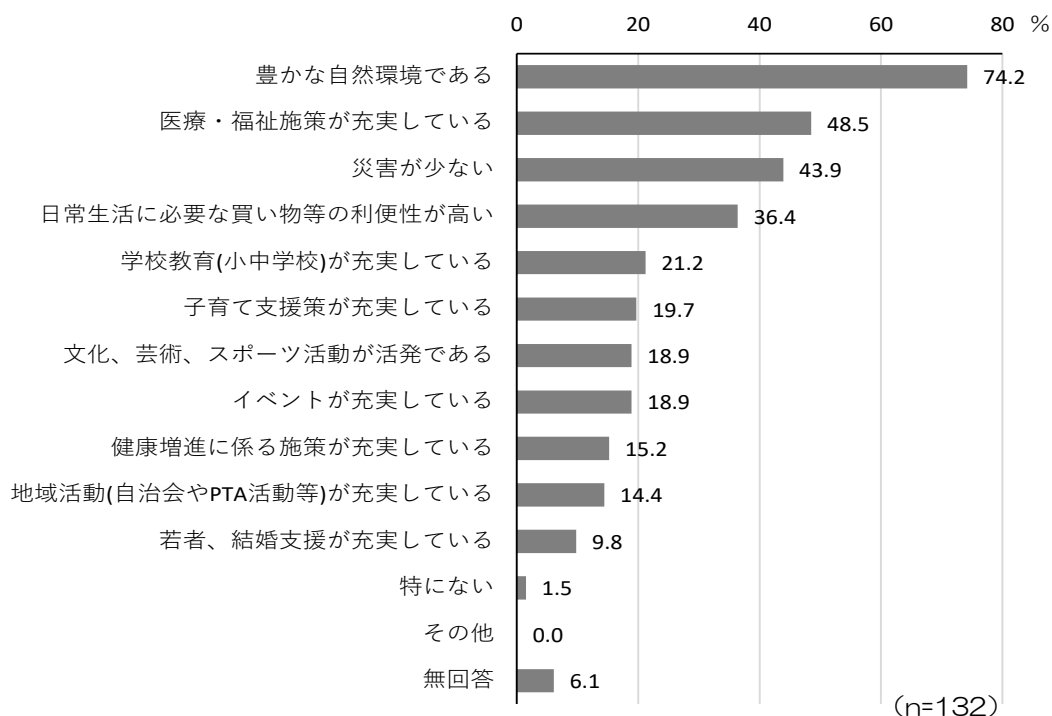


	回答数	割合 (%)
そう思う	15	11.4
どちらかといえばそう思う	65	49.2
あまりそう思わない	26	19.7
そう思わない	4	3.0
わからない	17	12.9
無回答	5	3.8
合計	132	100.0

問4 あなたが考える子育て世帯から見た毛呂山町の強みや魅力と考えられる項目、反対に改善やさらなる取組が必要と思われる項目についてお答えください。(それぞれ2つまでに〇)

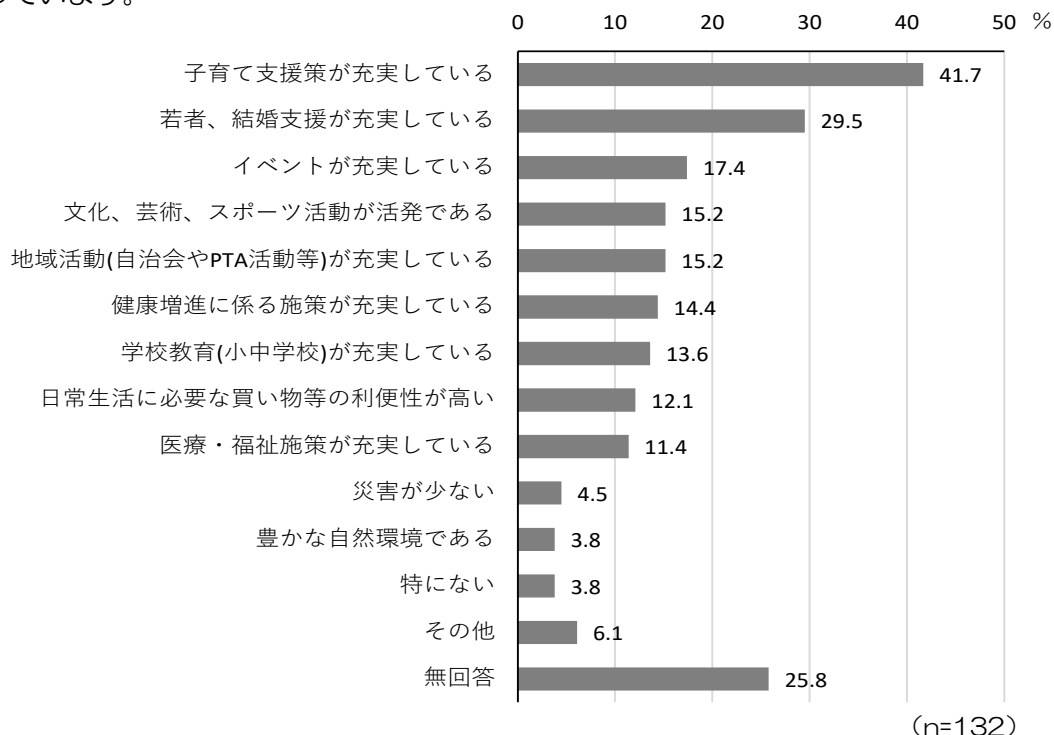
【町の魅力・強みである】

町の魅力や強みと感じていることは、「豊かな自然がある」が74.2%で最も高く、次いで「医療・福祉施策が充実している」(48.5%)、「災害が少ない」(43.9%)となっています。



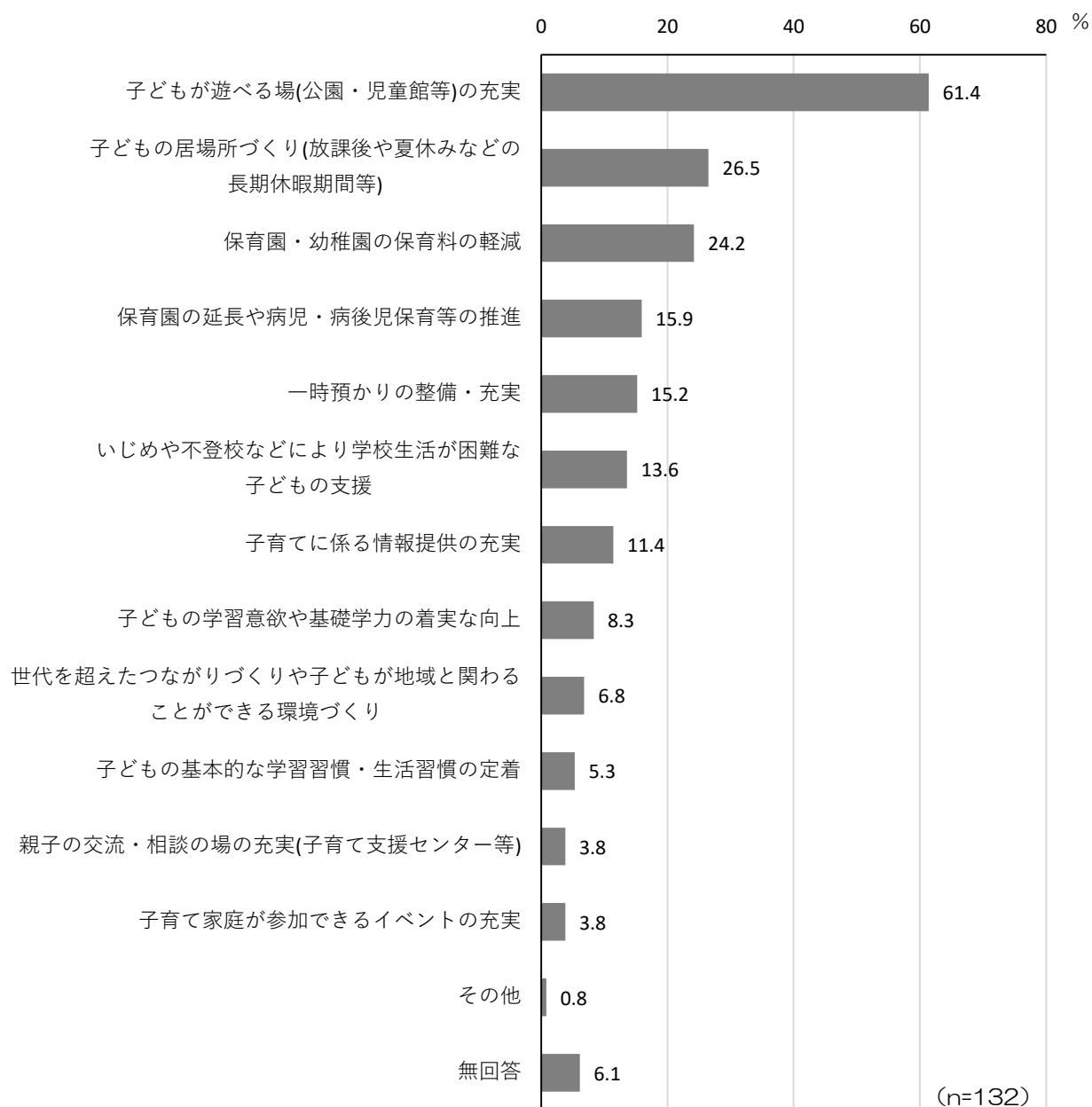
【改善等が必要である】

改善が必要であると感じていることは「子育て支援策が充実している」が41.7%で最も高く、次いで「若者、結婚支援が充実している」(29.5%)、「イベントが充実している」(17.4%)となっています。



問5 毛呂山町が行っている子育て支援・教育に関する取組のうち、今後どの取組を強化すべきだと思いますか。(2つまでに○)

今後強化が必要と考える施策としては「子どもが遊べる場(公園・児童館等)の充実」が61.4%と最も高く、次いで「子どもの居場所づくり(放課後や夏休みなどの長期休暇期間等)」(26.5%)、「保育園・幼稚園の保育料の軽減」(24.2%)となっています。

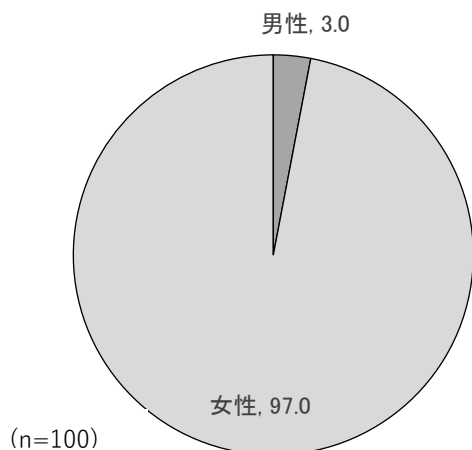




## (2) 町内小中学校6校のPTA 役員を対象としたアンケート

### 問1 あなたの性別について

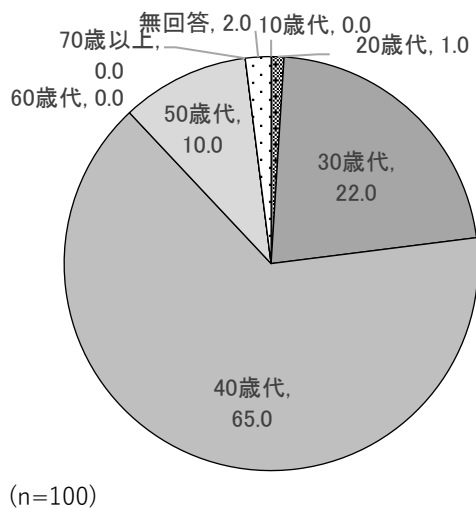
性別は、「男性」3.0%、「女性」97.0%となっています。



	回答数	割合 (%)
男性	3	3.0
女性	97	97.0
無回答	0	0.0
合計	100	100

### 問2 あなたの年齢について

年齢は、「40歳代」が最も高く65.0%、次いで「30歳代」が22.0%となっています。

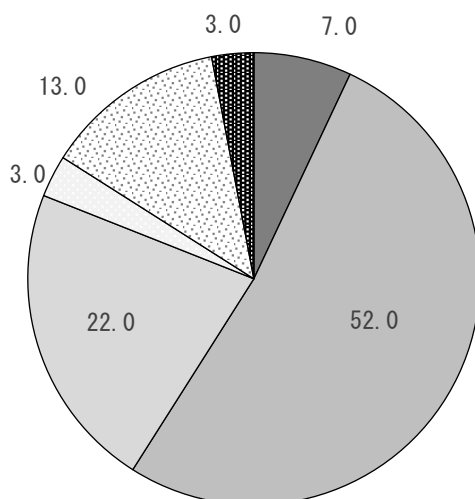


	回答数	割合 (%)
10歳代	0	0.0
20歳代	1	1.0
30歳代	22	22.0
40歳代	65	65.0
50歳代	10	10.0
60歳代	0	0.0
70歳以上	0	0.0
無回答	2	2.0
合計	100	100

問3 毛呂山町は子育てがしやすいまちだと思いますか。(1つだけに○)

子育てしやすいまちだと思うかについては、「そう思う」が7.0%、「どちらかといえばそう思う」が52.0%となっており、合わせて59.0%の人が子育てしやすいと感じています。

一方、「あまりそう思わない」が22.0%、「そう思わない」が3.0%となっており、合わせて25.0%の人は子育てしやすいとは感じていません。



(n=100)

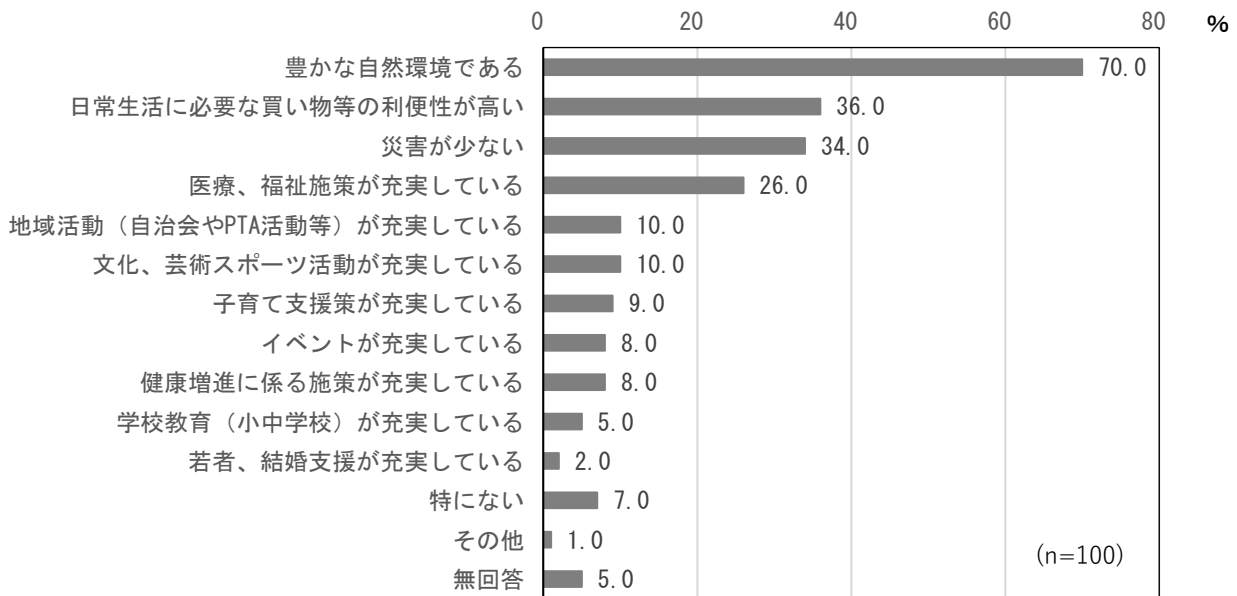
- そう思う
- あまりそう思わない
- わからない
- どちらかといえばそう思う
- そう思わない
- 無回答

	回答数	割合 (%)
そう思う	7	7.0
どちらかといえばそう思う	52	52.0
あまりそう思わない	22	22.0
そう思わない	3	3.0
わからない	13	13.0
無回答	3	3.0
合計	100	100

問4 あなたが考える子育て世帯から見た毛呂山町の強みや魅力と考えられる項目、反対に改善やさらなる取組が必要と思われる項目についてお答えください。(それぞれ2つまでに〇)

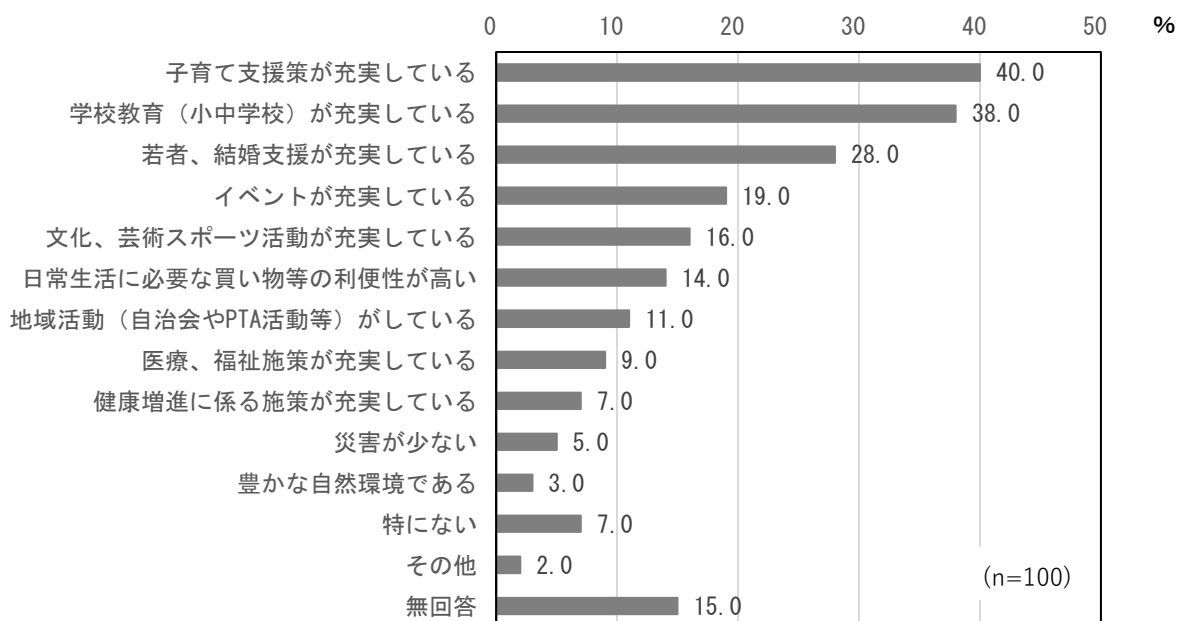
**【町の魅力・強みである】**

町の魅力や強みと感じていることは、「豊かな自然がある」が70.0%で最も高く、次いで「日常生活に必要な買い物等の利便性が高い」(36.0%)、「災害が少ない」(34.0%)となっています。



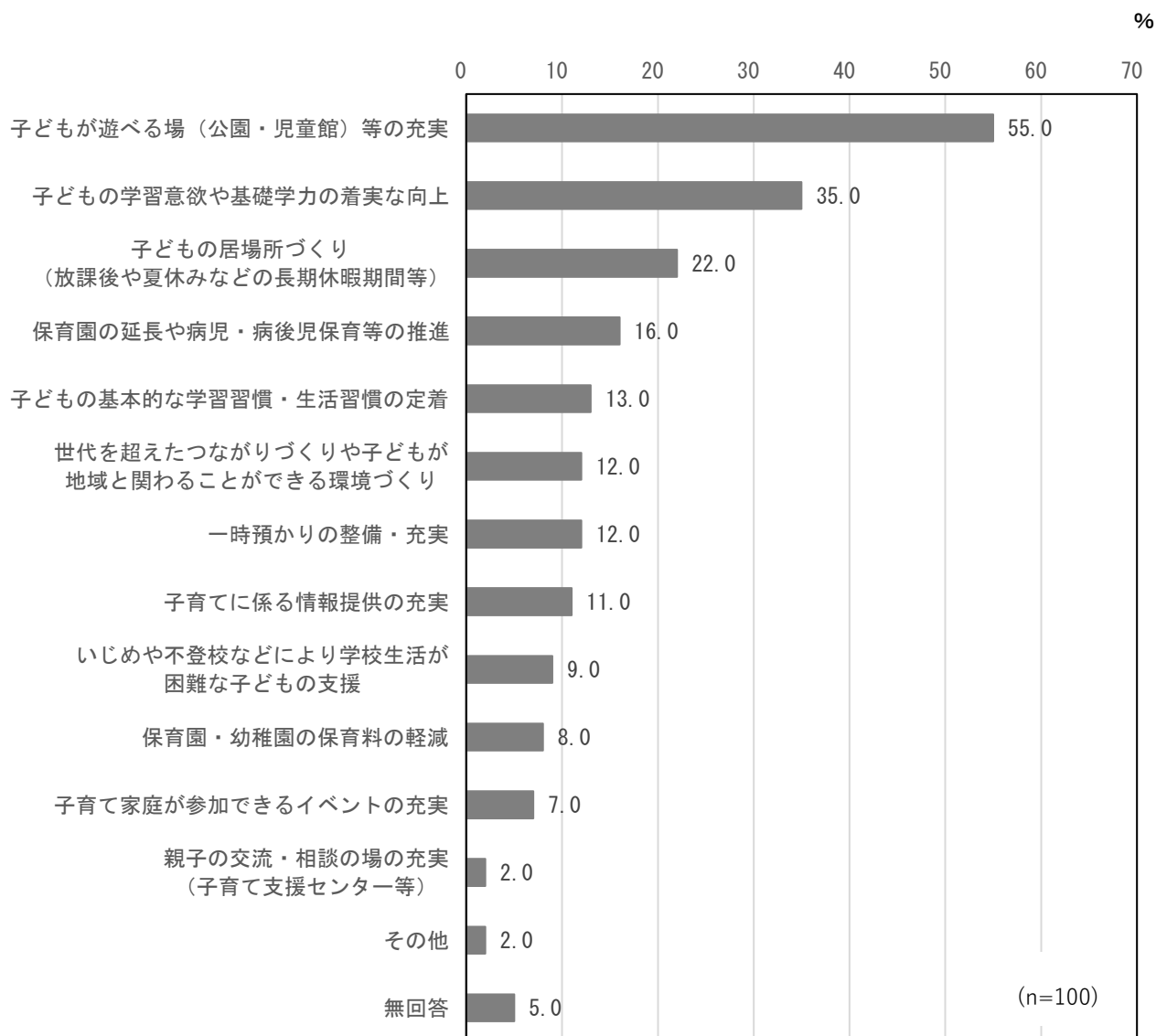
**【改善等が必要である】**

改善が必要であると感じていることは「子育て支援策が充実している」が40.0%で最も高く、次いで「学校教育（小中学校）が充実している」(38.0%)、「若者、結婚支援が充実している」(28.0%)となっています。



問5 毛呂山町が行っている子育て支援・教育に関する取組のうち、今後どの取組を強化すべきだと思いますか。(2つまでに〇)

今後強化が必要と考える施策としては「子どもが遊べる場（公園・児童館等）の充実」が55.0%と最も高く、次いで「子どもの学習意欲や基礎学力の着実な向上」（35.0%）、「子どもの居場所づくり（放課後や夏休みなどの長期休暇期間等）」（22.0%）となっています。



## 資料編（調査票）

# 毛呂山町総合振興計画

## ～住民意向調査へのご協力のお願い～

町民の皆様には、日頃から町政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。  
毛呂山町では、平成27年10月に策定された第五次毛呂山町総合振興計画に基づき、計画的なまちづくりを進めており、令和6年度に計画期間が終了します。このたび第六次毛呂山町総合振興計画を策定するにあたり、町民の皆様の日常生活や今後のまちづくりの方向性などについてのお考えを把握するために、アンケート調査を行わせていただくこととしました。

このアンケートは、毛呂山町内在住の18歳以上の方から、2,000人を無作為に選ばせていただいたものです。調査は無記名で行い、回答は統計的に処理されますので、プライバシーに関わる内容が公表されることは、一切ございません。ぜひ、率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年9月

毛呂山町長 井上健次

### 《ご記入にあたってのお願い》

- 1 封筒の宛名のご本人様がお答えください。なお、ご自身での記入が難しい場合には、ご家族等がご本人の意向をうかがい代筆をお願いします。
- 2 問1から質問の順に、最後までお答えください。
- 3 お答えは、あてはまる回答の番号に○をつけてください。
- 4 「その他（）」とお答えの場合は、（）の中に具体的にご記入ください。
- 5 本調査はインターネット等で回答することも可能です。インターネット等で回答をご希望の方は、別紙「インターネット回答のご案内」を参照いただいてご回答ください。
- 6 この調査につきましてご不明な点やご質問などがございましたら、下記までお問い合わせください。

毛呂山町役場 企画財政課企画係

電話 049-295-2112（内線321）

FAX 049-295-0771

※ ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒により、  
9月29日（金）までにご投函ください。（切手不要）  
なお、住所、氏名をお書きになる必要はありません。

インターネット回答用ID

あなたご自身についてうかがいます。

問1 あなたの性別をお答えください。(1つだけに○)

- |      |      |         |
|------|------|---------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 回答しない |
|------|------|---------|

問2 あなたの年齢は次のどれですか。(1つだけに○)

- |        |        |           |         |
|--------|--------|-----------|---------|
| 1 10歳代 | 2 20歳代 | 3 30歳代    | 4 40歳代  |
| 5 50歳代 | 6 60歳代 | 7 70歳～74歳 | 8 75歳以上 |

問3 あなたの職業は次のどれですか。(1つだけに○)

- |                   |            |
|-------------------|------------|
| 1 農林業             | 2 自営業・自由業  |
| 3 会社員             | 4 派遣社員     |
| 5 パートタイマー、アルバイト   | 6 公務員・団体職員 |
| 7 学生              | 8 家事専業     |
| 9 無職(年金のみでの生活も含む) | 10 その他( )  |

問4 あなたが住んでいる地域は次のどれですか。(1つだけに○)

- |        |         |         |       |         |
|--------|---------|---------|-------|---------|
| 1 旭台   | 2 阿諏訪   | 3 市場    | 4 岩井  | 5 岩井西   |
| 6 岩井東  | 7 大谷木   | 8 大類    | 9 川角  | 10 小田谷  |
| 11 権現堂 | 12 西戸   | 13 下川原  | 14 宿谷 | 15 滝ノ入  |
| 16 中央  | 17 葛貫   | 18 長瀬   | 19 苦林 | 20 西大久保 |
| 21 平山  | 22 前久保  | 23 前久保南 | 24 南台 | 25 箕和田  |
| 26 目白台 | 27 毛呂本郷 | 28 若山   |       |         |

問5 あなたは毛呂山町に何年お住まいですか。(1つだけに○)

- |         |              |            |
|---------|--------------|------------|
| 1 5年未満  | 2 5～10年未満    | 3 10～20年未満 |
| 4 20年以上 | 5 生まれた時からずっと |            |

問6 あなたを含め、現在、同居されているご家族の構成は次のうちどれにあたりますか。

(1つだけに○)

- |              |          |           |
|--------------|----------|-----------|
| 1 一人暮らし      | 2 夫婦だけ   | 3 親子(2世代) |
| 4 親と子と孫(3世代) | 5 その他( ) |           |

まちの暮らしやすさについてうかがいます。

問7 あなたがお住まいの「地域」の住み心地はどうですか。(1つだけに○)

- |            |            |
|------------|------------|
| 1 非常に住みやすい | 2 やや住みよい   |
| 3 やや住みにくい  | 4 非常に住みにくい |

問8 あなたは、今後も毛呂山町に住み続けたいとお考えですか。(1つだけに○)

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1 ずっと住み続けたい | 2 当分の間住み続けたい |
| 3 できれば転出したい | 4 転出したい      |
| 5 わからない     |              |

問8で「1 ずっと住み続けたい」あるいは「2 当分の間住み続けたい」とお答えの方にお聞きします。

問8-1 毛呂山町に住み続けたいと思う理由は何ですか。(2つ以内に○)

- |                         |
|-------------------------|
| 1 豊かな自然に恵まれている          |
| 2 気候が温暖で災害も少ない          |
| 3 公害のない生活環境が保たれている      |
| 4 開発と自然のバランスがとれた発展をしている |
| 5 道路・歩道が整備されている         |
| 6 公共施設が整備されている          |
| 7 下水道、公園などの都市施設が整備されている |
| 8 祭りなど昔ながらの伝統文化が残されている  |
| 9 親戚や知人・友人が近くにいる        |
| 10 隣近所の人情味あるつきあいがある     |
| 11 自分にあった就業の場がある        |
| 12 買い物に便利               |
| 13 通勤・通学に便利             |
| 14 医療機関が充実している          |
| 15 教育環境が充実している          |
| 16 子育て環境が充実している         |
| 17 介護施設・サービスが充実している     |
| 18 行政サービス全般が充実している      |
| 19 治安が良い                |
| 20 生まれてから住んでいて、愛着がある    |
| 21 その他 ( )              |



問8で「3 できれば転出したい」あるいは「4 転出したい」とお答えの方にお聞きします。

問8-2 毛呂山町から転出したいと思う理由は何ですか。(2つ以内に○)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1 人口が少なく活気がない                  |
| 2 隣近所などのつきあいがわずらわしい            |
| 3 就業にあたり希望する業種や職種が見つからない       |
| 4 遊ぶところや買い物に不便である              |
| 5 道路・歩道整備が遅れている                |
| 6 電車やバスの便が悪く、通勤・通学に不便である       |
| 7 生活環境(下水道、公園などの都市施設)が整備されていない |
| 8 医療機関が少ない                     |
| 9 教育環境が充実していない                 |
| 10 子育て環境が充実していない               |
| 11 介護施設・サービスが充実していない           |
| 12 行政サービス全般が充実していない            |
| 13 その他( )                      |

問8-3 どこに転出したいと思いますか。(1つだけに○)

- |       |          |        |           |
|-------|----------|--------|-----------|
| 1 坂戸市 | 2 川越市    | 3 鶴ヶ島市 | 4 越生町     |
| 5 日高市 | 6 東松山市   | 7 所沢市  | 8 飯能市     |
| 9 鳩山町 | 10 その他県内 | 11 東京都 | 12 その他( ) |

すべての方にお聞きします。

問9 あなたは、次のどれにあてはまりますか。(1つだけに○)

- |        |        |                |
|--------|--------|----------------|
| 1 Iターン | 2 Uターン | 3 どちらにもあてはまらない |
|--------|--------|----------------|

※ここでいう「Iターン」とは、都市部で生まれ育った人が、毛呂山町に移住すること。「Uターン」とは、毛呂山町で生まれ育った人が、都市部へ転出してから再び戻ってくることを指す。

問9で「1 Iターン」とお答えの方にお聞きします。

問9-1 毛呂山町に移住を決める上で、最も重要視した点はどれですか。(1つだけに○)

- |           |          |            |
|-----------|----------|------------|
| 1 仕事      | 2 住宅の取得  | 3 自然環境     |
| 4 医療サービス  | 5 福祉サービス | 6 教育環境     |
| 7 子育てサービス | 8 交通の利便性 | 9 趣味を楽しむ環境 |
| 10 その他( ) |          |            |

問9で「2 Uターン」とお答えの方にお聞きします。

問9-2 毛呂山町以外に転出した後に、再び毛呂山町に戻ってきた理由は何ですか。  
(1つだけに○)

1 進学	2 仕事	3 結婚
4 出産・子育て	5 住宅の取得	6 親の世話や介護
7 実家の都合(親の世話や介護以外)	8 親族や友人が多い	
9 地域への愛着	10 その他( )	

毛呂山町の現状についてうかがいます。

問10 毛呂山町では令和2年3月に「第五次毛呂山町総合振興計画後期基本計画・第2期総合戦略」を策定し、「輝く緑 輝く瞳 輝くまち もろやま」の実現に向けて、6つの基本方向に基づいて各種施策を推進しています。現在、皆様が日常的にお感じになっていることで、これらの施策について「現在の状況に満足しているか」という満足度と、「重要と考えるか」という重要度の評価をお願いします。

(満足度、重要度それぞれ1つだけに○)

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない
(記入例) ○○○○○	1	2	③	4	5	1	②	3	4	5

1 里山の環境を活かした都市基盤を創る

ア 市街地や駅周辺の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
イ 都市計画道路・県道などの主要道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ウ 身近な生活道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
エ もろバスの利便性向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
オ 鉄道の利便性向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
カ 民間バスの利便性向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
キ 町営住宅の維持管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ク 空き家の適正管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ケ 公園・緑地の整備及び管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない

## 2 安全で快適なまちを創る

ア 自然環境の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
イ 騒音・振動や悪臭などの公害対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ウ 河川などの水質汚染対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
エ 防災対策（意識啓発や防災訓練の実施、避難路や避難場所の周知・確保、防災行政無線など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
オ 河川水路などの整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
カ 消防・救急体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
キ 防犯対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ク 消費生活相談などの消費者対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ケ 交通安全対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
コ 上・下水道の整備状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
サ し尿の収集・処理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
シ ごみの減量化や再資源化の促進及びごみ処理体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

## 3 健やかで安心に暮らせるまちを創る

ア 住民同士の支え合いの仕組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
イ 高齢者の生きがいづくりや生活支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ウ 介護予防事業の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
エ 子育て支援サービスの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
オ 保育所、学童保育所などの保育施設サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
カ ひとり親家庭などへの福祉サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
キ 障害者（児）への福祉サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ク 公共施設などの障害者（児）への配慮	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない
ケ 救急医療体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
コ 各種健康診査などの保健サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>4 活力と夢のある産業のまちを創る</b>										
ア 農地の保全と農業の担い手育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
イ 商店街を中心とした町内産業の活性化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ウ 企業誘致の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
エ 観光PR及び観光施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
オ 特産品開発や地場産業の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>5 豊かな心と学びのあるまちを創る</b>										
ア 幼児教育（幼稚園等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
イ 小・中学校の教育施設	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ウ 小・中学校の教育の内容	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
エ 公民館講座などによる生涯学習活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
オ 青少年の健全育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
カ スポーツ、レクリエーション活動（軽スポーツ教室など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
キ 伝統の保存継承・活用（流鏝馬・鎌倉街道など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>6 みんなで築くまちを創る</b>										
ア 人権に関する教育・啓発活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
イ 男女共同参画社会の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ウ 区（自治会）など地域活動の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
エ 地域間交流や国際交流の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
オ 住民参画のまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
カ 広報紙やホームページなどの広報活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
キ 住民要望を聴く活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない
ク ICT <sup>(※)</sup> を活用した住民サービスの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ケ 町役場のサービス（職員の対応）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

(※) ICT：Information and Communication Technology の略。パソコンや携帯電話など情報や通信に関する技術の総称。以下同じ。

### まちづくりや行政サービス等についてうかがいます。

問11 あなたは、現在の町行政は住民の声を反映していると思いますか。(1つだけに○)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1 よく反映している   | 2 やや反映している    |
| 3 あまり反映していない | 4 ほとんど反映していない |
| 5 わからない      |               |

問12 あなたは、町行政に対する意見や要望、相談がある場合、どのような方法で伝えるのがよいと思いますか。(2つ以内に○)

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1 タウンミーティング（町長との懇談会） | 2 区長へ伝える             |
| 3 投書または書面郵送          | 4 直接役場に伝える（窓口・電話）    |
| 5 電子メール              | 6 SNS <sup>(※)</sup> |
| 7 その他（ ）             |                      |

(※) SNS：LINE・X（旧 Twitter）など。以下同じ。

問13 まちづくりの役割分担に関して、どう思いますか。(1つだけに○)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1 まちづくりは住民が自ら行うものであり、住民が中心で行う  |
| 2 町と住民の役割分担を定め、住民参加を進めながら協働で行う |
| 3 まちづくりは行政が主体となっていく            |
| 4 わからない                        |
| 5 その他（ ）                       |

問14 現在、毛呂山町を含め、日本全体で急速に少子高齢化が進み、税を負担する人が減る一方、行政サービスを受ける人は今後も増えていくことが予想されます。このような状況の中、あなたは毛呂山町の行政サービスのあり方として、どのような方法がふさわしいと考えますか。あなたのお考えに最も近いものをお答えください。

(1つだけに○)

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1 住民の負担が増えてもよいので、行政サービスをもっと拡大してほしい   |
| 2 ある程度の負担増はやむを得ないので、行政サービスを維持してほしい   |
| 3 住民の負担は現状維持とし、その分行政サービスが縮小してもやむを得ない |
| 4 住民の負担はできるだけ軽減し、行政サービスは必要最低限としてほしい  |
| 5 その他 ( )                            |

問15 あなたは、毛呂山町の行政情報をどのような手段で入手したいと思いますか。

(1つだけに○)

- |          |           |          |
|----------|-----------|----------|
| 1 広報もろやま | 2 回覧板     | 3 ホームページ |
| 4 SNS    | 5 その他 ( ) |          |

日常の買い物等についてうかがいます。

問16 あなたのご家庭で、日常生活に必要なもの（食料品等）の買い物等の便利さはどう感じますか。(1つだけに○)

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1 便利である   | 2 特に不便を感じない |
| 3 少し不便である | 4 不便である     |

問16で「3 少し不便である」あるいは「4 不便である」とお答えの方にお聞きします。

問16-1 特に不便に感じていることは何ですか。(2つ以内に○)

- |                           |
|---------------------------|
| 1 近くにお店がない                |
| 2 車や自転車などの移動手段がない         |
| 3 車や自転車の運転が困難になってきた       |
| 4 公共交通（もろバス含む）の利便性が悪い     |
| 5 体の調子が悪いため移動が大変である       |
| 6 家族の協力がないと行きたいときに買い物できない |
| 7 買い物を手伝ってくれる家族等がない       |
| 8 その他 ( )                 |

地域活動についてうかがいます。

問17 あなたは日頃、どのような地域活動に参加していますか。

(あてはまるものすべてに○)

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1 自治会・町内会活動   | 2 小中学校の教育支援活動 |
| 3 子育て支援活動     | 4 スポーツ団体活動    |
| 5 福祉支援活動      | 6 地域のボランティア活動 |
| 7 その他 ( )     |               |
| 8 参加しているものはない |               |

健幸づくりについてうかがいます。

問18 毛呂山町では、住民一人ひとりが世代や障害の有無に関わらず、健康で幸せに暮らせるまち(=健幸づくりのまち)の推進を目指すため、令和5年3月27日に「健幸づくりのまち」宣言を行いました。現在、この宣言に基づき、住民一人ひとりが健康で幸せに暮らせるまちづくりを推進するための各種施策を展開しています。住民が心身ともに健康で生き生きと暮らせるまちづくりを推進していくために、毛呂山町が取り組むべきサービスは何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1 ウォーキングや軽スポーツ事業などの運動機会の充実    |
| 2 各種健(検)診や健康相談の充実             |
| 3 健康増進のための情報提供                |
| 4 高齢者の介護予防や自立支援事業の充実          |
| 5 生活習慣病予防の取組                  |
| 6 高齢者の社会参加の促進                 |
| 7 生涯学習関連講座など学びの場の充実           |
| 8 町内での各種イベントの充実               |
| 9 地域(行政区)イベントへの助成や地域活性化のための支援 |
| 10 子どもたちの心身の健康を育む学校教育の充実      |
| 11 子育て期における親子の交流・相談の場の充実      |
| 12 子どもたちが安全に遊べる場所や公園の充実       |
| 13 その他 ( )                    |
| 14 特にない                       |

超高齢社会への取り組みについてうかがいます。

問19 あなたは、超高齢社会を支えていくために、毛呂山町が特に取り組むべきことは何だと思いますか。(1つだけに○)

- |                    |                          |
|--------------------|--------------------------|
| 1 相談窓口の充実          | 2 高齢者の就労機会の充実            |
| 3 介護予防や健康づくり事業の推進  | 4 自宅や地元で受けられる介護保険サービスの充実 |
| 5 介護をしている家族への支援    | 6 地域の見守りネットワークの構築        |
| 7 認知症の人や家族への支援     | 8 自宅で最期を迎えられる環境づくり       |
| 9 高齢者の生きがいづくりや生活支援 | 10 その他( )                |

スポーツ・レクリエーション活動についてうかがいます。

問20 あなたは、過去1年間に、スポーツ・レクリエーション活動をする機会がどのくらいありましたか。(1つだけに○)

※スポーツ・レクリエーション活動には、球技や武道のほか以下の活動も含めます。[散歩・ウォーキング、ジョギング・ランニング、水泳、体操(軽い体操・ラジオ体操を含む)、登山(トレッキングを含む)、ハイキング、ボウリング、ゴルフ、筋カトレニング、釣り、サイクリング、ゲートボール、フォークダンス、民謡踊りなど]

- |            |          |          |
|------------|----------|----------|
| 1 週に3回以上   | 2 週に2回程度 | 3 週に1回程度 |
| 4 月に1~3回程度 | 5 年に数回程度 | 6 ない     |

問20で「6 ない」とお答えの方にお聞きします。

問20-1 あなたが、スポーツをしなかった理由(障壁になっていること)はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                            |
|----------------------------|
| 1 仕事や家事・育児で忙しくて時間の余裕がないから  |
| 2 費用がかかる(金銭的な余裕がない)から      |
| 3 身近に施設や場所がないから            |
| 4 予約が取れないなど、施設や場所が利用しにくいから |
| 5 つきあいが面倒だから               |
| 6 スポーツが苦手だから               |
| 7 その他( )                   |
| 8 特に理由はない                  |



公共施設についてうかがいます。

問21 あなたは、下表に示す公共施設をどのくらい利用していますか。対象施設ごとに「①利用頻度」から1つ選び、番号に○をつけてください。

「①利用頻度」で「過去に利用したことがある」または「利用したことがない」を選択した場合は、②利用しない理由からその理由を選んで、番号に○をつけてください。

(あてはまるものすべてに○)

対象施設 ※以下の1～17の施設ごとに、①・②についてお答えください。	①利用頻度 (○は1つ)					②利用しない理由 (○はいくつでも)								
	よく利用している (週一回以上)	たまに利用している (月数回程度)	ごくたまに利用している (年数回)	過去に利用したことがある ↓この場合は②へ	利用したことがない ↓この場合は②へ	場所が不便で行きにくい ため	利用できる時間が合わない ため	設備に不満があるため	他市の類似施設を利用する ため	民間の類似施設を利用する ため	利用する機会や必要性がない ため	サービスの内容を知らない ため	利用したいと思わないため	施設の存在自体を知らない
(記入例) ○○○○○	1	2	3	4	⑤	①	2	3	④	5	6	7	8	9
1 中央公民館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2 東公民館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
3 もろびとの館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4 大類館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5 福社会館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6 図書館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7 歴史民俗資料館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8 総合公園 (体育館、グラウンド、テニスコート)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
9 岩井グラウンド	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10 大類グラウンド	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
11 大類ソフトボールパーク	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
12 川角グラウンド	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
13 川角公園テニスコート	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
14 西戸グラウンド	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
15 弓道場	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
16 ゆずの里オートキャンプ場	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
17 老人福祉センター山根荘	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9

問22 毛呂山町が将来にわたって、公共施設を存続していくにあたり、あなたは、それぞれの施設の存続させるべき優先度（高い・低い）をどのように考えますか。

対象施設分類ごとに、あなたの考えに近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

なお、①で「どちらかというと優先度が低い」、または「優先度が低い」を選ばれた場合は、②優先度が低い理由から、その理由を2つまで選び、番号に○をつけてください。

対象施設分類  ※以下の1～10の分類ごとに、①・②についてお答えください。 ※施設分類は、毛呂山町公共施設個別施設計画に基づいています。	①優先度 (○は1つ)					②優先度が低い理由 (○は2つまで)					
	優先度が高い	どちらかという と優先度が高い	どちらともい えない	どちらかという と優先度が低い	優先度が低い	一部の 人にしか使 われていな そうだから	利用者が 少なそうだ から	他の施設 に統合でき そうだから	民間に類 似施設があ りそうだから	管理・運 営に要する 費用が高 そうだから	なくとも 支障がなさ そうだから
(記入例) ○○○○○	1	2	3	④	5	1	2	③	4	⑤	6
1 文化施設 (中央公民館、もろびとの館、福社会館 等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
2 社会教育施設 (図書館、歴史民俗資料館)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
3 老人福祉施設 (老人福祉センター山根荘)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
4 保健衛生施設 (保健センター)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
5 学校施設 (小学校、中学校、学校給食センター、教育センター)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
6 子育て関連施設 (保育所、児童館、学童保育所 等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
7 体育施設 (総合公園体育館、グラウンド 等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
8 レクリエーション施設 (オートキャンプ場)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
9 産業施設 (農産物加工センター、搾汁棟)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
10 公営住宅 (町営中町住宅、町営上宿団地、町営杉ノ入団地)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6

問23 将来も安全で使いやすい施設を提供していくためには、公共施設の総合的、長期的な保全・活用の方策を検討していく必要があります。下表の方策はその一例ですが、あなたは、各方策についてどのように考えますか。それぞれの方策ごとに、あなたの考えに近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

公共施設の総合的、長期的な保全・活用の方策例	方策の実施 (○は1つ)			
	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない
※以下の1～9の方策例ごとにお答えください。				
(記入例) ○○○○の方策	1	②	3	4
1 将来の動向を見極め、施設の統廃合*や機能をまとめることで、建物の数や面積を減らす。	1	2	3	4
2 更新の際はいくつかの公共施設をまとめて建設(合築)し、より使いやすい施設にする。	1	2	3	4
3 近隣の市町と一緒に使えるような施設は統合し、近隣市町と共同で管理運営する。	1	2	3	4
4 施設の建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する。	1	2	3	4
5 地域に密着した施設は、自治会など主にその施設を利用する方に管理をお願いする。	1	2	3	4
6 建替えより補強を優先し、できるだけ建物の寿命を延ばす。	1	2	3	4
7 現在有料の施設は、管理運営に充てられる財源を増やすため使用料を引き上げる。	1	2	3	4
8 現在無料の施設も、可能な限り有料化する。	1	2	3	4
9 他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を増やす。	1	2	3	4

※統廃合：公共施設の統合と廃止。組織や施設などを廃止したり、統合したりすること。

ICTの活用状況などについてうかがいます。

問24 あなたは、ICT(パソコンや携帯電話など)機器を活用していますか。

(1つだけに○)

1 活用している	2 活用していない
----------	-----------

問24で「1 活用している」とお答えの方にお聞きします。

問24-1 あなたは、どの程度ICT機器を活用できますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 電話をする程度
- 2 メールやLINE等の連絡手段として活用できる
- 3 インターネットで情報入手できる
- 4 インターネットで行政への各種届出などができる
- 5 商品・サービスの購入、施設やイベントの予約として活用できる
- 6 SNSによる情報発信として活用できる(活用している)
- 7 その他( )

問24-2 あなたは、特にどのような目的でICT機器を活用していますか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1 友人や家族との連絡手段    | 2 情報収集(ニュース・趣味など) |
| 3 商品・サービスの購入(予約) | 4 仕事(業務として)       |
| 5 授業             | 6 SNSによる情報発信      |
| 7 娯楽(ゲームや漫画等)    | 8 行政サービスの利用       |
| 9 その他( )         |                   |

すべての方にお聞きします。

問25 毛呂山町では、令和4年度に策定した「毛呂山町DX推進計画」に基づき行政手続き等のオンライン化等デジタル化を推進しています。毛呂山町がデジタル化を進める上で力を入れてほしい取り組みは、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 各種証明書の発行手数料等のキャッシュレス化
- 2 ICTを活用した災害時等における対応力の強化
- 3 公共施設やイベントのインターネット予約
- 4 スマホ教室の開催などによるデジタル活用支援
- 5 アプリやWebを活用したプッシュ型情報発信の充実
- 6 商店街、自治会等の地域のデジタル化支援
- 7 ICTを活用した小・中学校での教育内容の充実
- 8 その他( )
- 9 特になし

まちづくりに関するご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

なお、子育て支援や定住促進について、特に若い世代の皆様にご質問がございます。  
18歳～39歳の方は次ページ以降もお答えくださいますようお願い申し上げます。

40歳以上の方につきましてはこれで終了です。

ご協力いただきましてありがとうございました。

まことに恐縮ですが、9月29日（金）までに返信用封筒に入れて  
返送して下さるようお願いいたします。

18歳～39歳の方にかかいます。

【結婚について】

問26 あなたは、現在、結婚していますか。(1つだけに○)

- |      |              |
|------|--------------|
| 1 独身 | 2 既婚(事実婚を含む) |
|------|--------------|

問26で「1 独身」とお答えの方にお聞きします。

問26-1 現在、結婚していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1 結婚したいと思える相手がいない | 2 出会う機会、きっかけがない     |
| 3 まだ若すぎる          | 4 結婚に意味を見出せない       |
| 5 異性とうまくつきあえない    | 6 精神的に自由でいられる       |
| 7 仕事(学業)に打ち込みたい   | 8 経済的に自由でいられる       |
| 9 結婚資金が足りない       | 10 結婚後の生活に経済的な不安がある |
| 11 その他( )         | 12 理由は特にない          |

問26-2 今後の結婚に関するあなたの希望は次のうち、どれにあてはまりますか。

(1つだけに○)

- |                   |            |
|-------------------|------------|
| 1 今後、ずっと独身でいたい    | 2 結婚の予定がある |
| 3 結婚の予定はないが、結婚したい | 4 わからない    |

すべての方にお聞きします。

問27 行政が重点的に取り組むべき結婚支援策は何だと思えますか。(3つ以内に○)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1 若い夫婦への住まいの支援              |
| 2 結婚祝い金などの経済的支援             |
| 3 婚活イベントなどによる出会いの場の提供       |
| 4 結婚相談窓口(仲立ち)               |
| 5 交際術やマナーなどを学ぶ講座            |
| 6 結婚を推奨するようなPR              |
| 7 行政がやる必要はない                |
| 8 男性の家事・育児参加を促す取組や啓発を進める    |
| 9 他市町村と連携して、広域的な結婚支援事業を展開する |
| 10 その他( )                   |

【妊娠・出産・子育てについて】

問28 あなたは、現在、お子さんがいますか。(1つだけに○)

- |      |       |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

問28で「1 いる」とお答えの方にお聞きします。

問28-1 毛呂山町は子育てがしやすいまちだと思いますか。(1つだけに○)

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 1 そう思う      | 2 どちらかといえば、そう思う |
| 3 あまりそう思わない | 4 そう思わない        |
| 5 わからない     |                 |

すべての方にお聞きします。

問29 毛呂山町で安心して妊娠・出産できるような施策として、何が重要だと思いますか。(2つ以内に○)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1 出産費用の助成で自己負担の軽減をすること        |
| 2 妊娠中の健診費用の助成で自己負担の軽減をすること    |
| 3 母子保健サービスを充実すること             |
| 4 妊娠・出産・育児に関する相談体制を充実すること     |
| 5 医療機関との連携を強化すること(特に産婦人科・小児科) |
| 6 その他( )                      |

問30 今後、子育てに関するサービスとして、毛呂山町が特に力を入れるべきだと思うのは次のうち、どれですか。(2つ以内に○)

- |   |
|---|
| 1 幼稚園・保育所・認定こども園・学童保育所などの教育・保育サービスの充実   |
| 2 一時預かり事業やファミリーサポートセンター事業など子育て支援サービスの充実 |
| 3 子育て中の保護者の交流の場や子育てに関する相談窓口の充実          |
| 4 子育てに関する施設・サービス・イベントなどの情報提供の充実         |
| 5 子育てに関する様々な講座・イベント・講演会などの実施            |
| 6 児童手当や医療費の助成など子育てに係る金銭的なサポートの充実        |
| 7 行政が行う子育てに関するサービスはこれ以上増やす必要はない         |
| 8 その他( )                                |

【小・中学校の教育について】

問31 今後、教育に関することで、毛呂山町が特に力を入れるべきだと思うのは次のうち、どれですか。(2つ以内に○)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1 学校の施設及び設備の整備・改修による教育環境の充実    |
| 2 学力の向上に向けた教育内容の充実             |
| 3 小・中学校9年間を見通した教育の実施           |
| 4 いじめや不登校の解決に向けた取組の充実          |
| 5 家庭学習定着に向けた支援の充実              |
| 6 子どもの健全育成に向けた地域・家庭との連携の充実     |
| 7 特別の配慮を要する子どもの自立に向けた特別支援教育の充実 |
| 8 地場産物を導入した安全で安心な給食の提供         |
| 9 その他 ( )                      |

学生の方にうかがいます。(問3で「7 学生」とお答えの方にお聞きします。)

問32 あなたは、現在、どこに通学していますか(学校の種類は問いません)。

(1つだけに○)

- |         |                 |
|---------|-----------------|
| 1 毛呂山町内 | 2 埼玉県内          |
| 3 東京都内  | 4 埼玉県外(東京都内を除く) |

問33 あなたは、今後進学や就職したときの住まいの希望は次のうちどれですか。

(1つだけに○)

- |                      |
|----------------------|
| 1 町内に住みながら進学・就職したい   |
| 2 毛呂山町から転出して進学・就職したい |
| 3 わからない              |

問33で「2 毛呂山町から転出して進学・就職したい」とお答えの方にお聞きします。

問33-1 あなたが(将来的に)毛呂山町から転出して進学・就職後、将来毛呂山町に戻って暮らしたいと思いますか。(1つだけに○)

- |   |
|---|
| 1 卒業後、すぐに戻る(戻りたい)                               |
| 2 毛呂山町以外で数年間働き、働く場があればすぐに戻る(戻りたい)               |
| 3 毛呂山町以外で働き、一定の時期(例えば出産・子育て・親の介護など)がきたら戻る(戻りたい) |
| 4 戻りたいが、働く場が限られるので戻らない(戻らない予定)                  |
| 5 戻りたいが、生活する場としては不便なので戻らない(戻らない予定)              |
| 6 戻る気はまったくない                                    |
| 7 わからない   |



問33-2 あなたが(将来的に)毛呂山町から転出して進学・就職後、将来毛呂山町に戻って暮らそうとする理由はどれですか。(1つだけに○)

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1 豊かな自然に恵まれている | 2 気候が温暖で災害も少ない      |
| 3 買い物に便利       | 4 医療機関が充実している       |
| 5 住宅地が整備されている  | 6 生まれてから住んでいて、愛着がある |
| 7 その他 (        | )                   |

ご協力いただきましてありがとうございました。まことに恐縮ですが、

9月29日(金)までに返信用封筒に入れて

返送して下さるようお願いいたします。

## 転入者アンケートのお願い

このたびは、毛呂山町にお住まいいただき、ありがとうございます。

毛呂山町では、毛呂山町に転入される皆様のご意見を、今後の町政運営に役立てたいと考え、転入者アンケートを行っています。

お答えいただいた内容は、現在策定中の第六次毛呂山町総合振興計画や定住促進のための施策立案の基礎資料として活用させていただき、他の目的に使用することはありません。また、答えたくない質問に対しては無理にお答えいただかなくてもかまいません。このアンケートは無記名で行い、ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理されます。

お忙しい中、大変恐れ入りますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、アンケートの記入にご協力いただきますようお願いいたします。

毛呂山町長 井上健次

### 1. あなたご自身や、ご家族のことについておたずねします。

注) ご家族で転入される場合は、あなたとは「生計の中心となる人」のことをお書きください。

お一人だけで転入される場合は、あなたとは「ご自身」のことをお書きください。

問1 あなたの性別について

- |       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 無回答 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢について

- |         |         |          |         |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代  | 4. 40歳代 |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳代 | 7. 70歳以上 |         |

問3 あなたのご職業等について

- |             |        |            |       |
|-------------|--------|------------|-------|
| 1. 会社員・会社役員 | 2. 公務員 | 3. 自営業主    | 4. 学生 |
| 5. 家事専業     | 6. 無職  | 7. その他 ( ) |       |

問4 転入される家族の構成

- |               |            |           |
|---------------|------------|-----------|
| 1. 一人世帯       | 2. 夫婦のみ    | 3. 夫婦と子ども |
| 4. 三世代(親・子・孫) | 6. その他 ( ) |           |

問5 どちらから転入されましたか。(あてはまる市町名に○、または( )に記入)

- |         |             |         |        |            |
|---------|-------------|---------|--------|------------|
| 1. 坂戸市  | 2. 川越市      | 3. 鶴ヶ島市 | 4. 越生町 | 5. 日高市     |
| 6. 東松山市 | 7. 所沢市      | 8. 飯能市  | 9. 鳩山町 | 10. その他の県内 |
| 11. 東京都 | 12. その他 ( ) |         |        |            |

**うら面にも、ご記入ください**

問6 転入されてお住まいになるのは、次のどれですか。

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 自宅（戸建・マンション等） | 2. 借家（戸建・マンション等） |
| 3. 社宅・寮          | 4. その他（ ）        |

2. 転入の理由について、おたずねします。

問7 転入することとなった最も大きなきっかけは何ですか。（1つに○）

- |            |              |              |       |       |          |
|------------|--------------|--------------|-------|-------|----------|
| 1. 就職      | 2. 転職        | 3. 転勤        | 4. 退職 | 5. 結婚 | 6. 田舎暮らし |
| 7. 住宅の建て替え | 8. 通勤に便利のように | 9. 通学に便利のように |       |       |          |
| 10. 子どもの都合 | （理由：         |              |       |       | ）        |
| 11. 親の都合   | （理由：         |              |       |       | ）        |
| 12. その他    | （理由：         |              |       |       | ）        |

問8 毛呂山町以外でも住まいを探されましたか。（1つに○）

- |                                       |            |   |
|---------------------------------------|------------|---|
| 1. 他の市町村も検討した上で、毛呂山町に決めた              | （検討した自治体名⇒ | ） |
| 2. 最初から毛呂山町に住もうと決めていたので、他の市町村では探さなかった |            |   |
| 3. 毛呂山町に住む必要があった                      |            |   |
| 4. その他（                               |            | ） |

問9 毛呂山町にはどのような魅力があると思われますか。（あてはまるものすべてに○）

- |                           |                 |
|---------------------------|-----------------|
| 1. 豊かな自然に恵まれている           | 2. 気候が温暖で災害も少ない |
| 3. 買い物に便利                 | 4. 医療機関が充実している  |
| 5. 出産や子育て等に対する各種支援が充実している |                 |
| 6. 子どもたちの教育環境が充実している      |                 |
| 7. 障がい者や高齢者等に対する福祉が充実している |                 |
| 8. 住宅地が整備されている            |                 |
| 9. その他（                   | ）               |
| 10. 特にない                  |                 |

◆以上でアンケートは終わりです。  
ご記入いただいたアンケートは、住民課窓口の回収箱にお入れください。ご協力ありがとうございました。

【問い合わせ】毛呂山町 企画財政課 企画係



## 転出者アンケートのお願い

これまで毛呂山町にお住まいいただき、ありがとうございました。

さて毛呂山町では、町内に住んでおられた皆様のご意見を、今後の町政運営に役立てていきたいと考え、転出者アンケートを行っています。

お答えいただいた内容は、現在策定中の第六次毛呂山町総合振興計画や定住促進のための施策立案の基礎資料として活用させていただき、他の目的に使用することはありません。また、答えたくない質問に対しては無理にお答えいただかなくてもかまいません。このアンケートは無記名で行い、ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理されます。

お忙しい中、大変恐れ入りますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、アンケートの記入にご協力いただきますようお願いいたします。

毛呂山町長 井上健次

### 1. あなたご自身や、ご家族のことについておたずねします。

注) ご家族で転出される場合は、あなたとは「生計の中心となる人」のことをお書きください。

お一人だけで転出される場合は、あなたとは「ご自身」のことをお書きください。

問1 あなたの性別について

- |       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 無回答 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢について

- |         |         |          |         |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代  | 4. 40歳代 |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳代 | 7. 70歳以上 |         |

問3 あなたのご職業等について

- |             |        |            |       |
|-------------|--------|------------|-------|
| 1. 会社員・会社役員 | 2. 公務員 | 3. 自営業主    | 4. 学生 |
| 5. 家事専業     | 6. 無職  | 7. その他 ( ) |       |

問4 転出される家族構成について

- |               |            |           |
|---------------|------------|-----------|
| 1. 一人世帯       | 2. 夫婦のみ    | 3. 夫婦と子ども |
| 4. 三世帯(親・子・孫) | 6. その他 ( ) |           |

問5 どちらに転出されますか。(あてはまる市町名に○、または( )に記入)

- |         |             |         |        |            |
|---------|-------------|---------|--------|------------|
| 1. 坂戸市  | 2. 川越市      | 3. 鶴ヶ島市 | 4. 越生町 | 5. 日高市     |
| 6. 東松山市 | 7. 所沢市      | 8. 飯能市  | 9. 鳩山町 | 10. その他の県内 |
| 11. 東京都 | 12. その他 ( ) |         |        |            |

**うら面にも、ご記入ください**

問6 毛呂山町での居住年数は、何年でしたか。(通算の居住年数を合わせて、1つに○)

- |              |               |             |
|--------------|---------------|-------------|
| 1. 1年未満      | 2. 1年以上3年未満   | 3. 3年以上5年未満 |
| 4. 5年以上10年未満 | 5. 10年以上20年未満 | 6. 20年以上    |

2. 転出の理由について、おたずねします。

問7 転出することとなった最も大きなきっかけは何ですか。(1つに○)

- |                   |              |              |       |       |          |
|-------------------|--------------|--------------|-------|-------|----------|
| 1. 就職             | 2. 転職        | 3. 転勤        | 4. 退職 | 5. 結婚 | 6. 田舎暮らし |
| 7. 住宅の建て替え        | 8. 通勤に便利のように | 9. 通学に便利のように |       |       |          |
| 10. 子どもの都合 (理由: ) |              |              |       |       |          |
| 11. 親の都合 (理由: )   |              |              |       |       |          |
| 12. その他 (理由: )    |              |              |       |       |          |

問8 毛呂山町内でも住まいを探されましたか。(1つに○)

- |                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| 1. 毛呂山町内も探した上で、他市町村に決めた              |  |
| 2. 最初から他市町村に住もうと決めていたので、毛呂山町内は探さなかった |  |
| 3. 転出先の自治体に住む必要があった                  |  |
| 4. その他 ( )                           |  |

問9 毛呂山町への居住者を増やすため、今後どのような定住支援策に取り組んだらいいと思われますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                       |                             |
|-----------------------|-----------------------------|
| 1. 鉄道やバスなど公共交通の利便性向上  | 2. 道路交通網の整備                 |
| 3. 企業誘致による働く場の創出      | 4. 商業施設の活性化                 |
| 5. 出産や子育て等に対する各種支援の充実 | 6. 子どもたちの教育環境の充実            |
| 7. 住宅地の整備             | 8. 住宅を新築・改修する際の費用の一部を補助する制度 |
| 9. 観光、特産物による活性化       | 10. 町のイメージアップを図る対外的なPR活動    |
| 11. その他 ( )           |                             |

◆以上でアンケートは終わりです。

ご記入いただいたアンケートは、住民課窓口の回収箱にお入れください。ご協力ありがとうございました。

【問い合わせ】毛呂山町 企画財政課 企画係





問5 毛呂山町が行っている子育て支援・教育に関する取組のうち、今後どの取組を強化すべきだと思いますか。(2つまでに○)

1. 子育てに係る情報提供の充実
2. 親子の交流・相談の場の充実(子育て支援センター等)
3. 子どもが遊べる場(公園・児童館等)の充実
4. 子育て家庭が参加できるイベントの充実
5. 一時預かりの整備・充実
6. 保育園の延長や病児・病後児保育等の推進
7. 保育園・幼稚園の保育料の軽減
8. 子どもの学習意欲や基礎学力の着実な向上
9. 子どもの基本的な学習習慣・生活習慣の定着
10. 子どもの居場所づくり(放課後や夏休みなどの長期休暇期間等)
11. いじめや不登校などにより学校生活が困難な子どもの支援
12. 世代を超えたつながりづくりや子どもが地域と関わることができる環境づくり
13. その他( )

問6 その他、子育てや教育に関する施策やまちづくり全般についてのご意見がありましたらご記入ください。